

アジア最大級の分析・科学機器専門展示会

未来
発見。

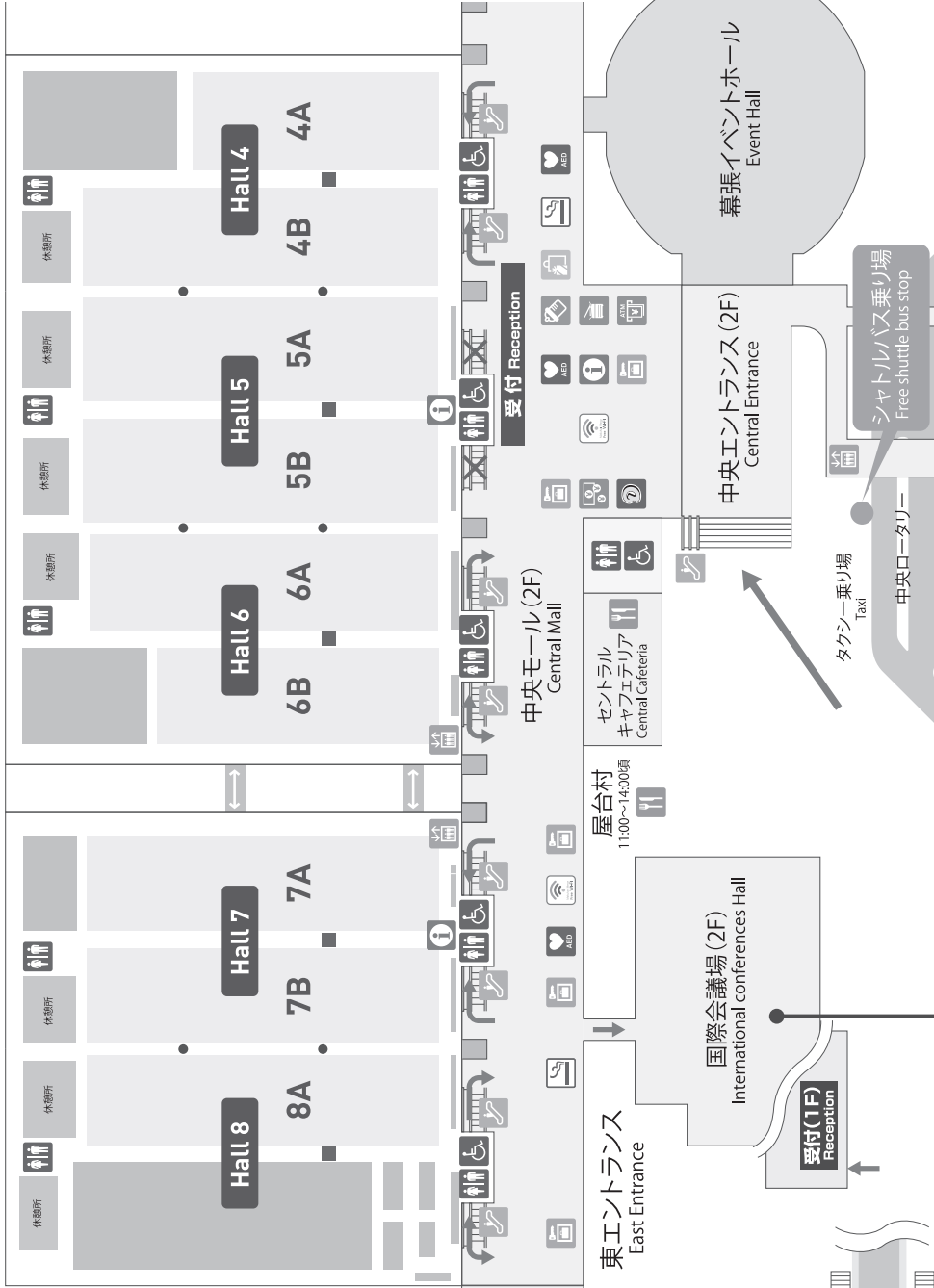
JASIS
Japan Analytical & Scientific Instruments Show
2018

結果報告書

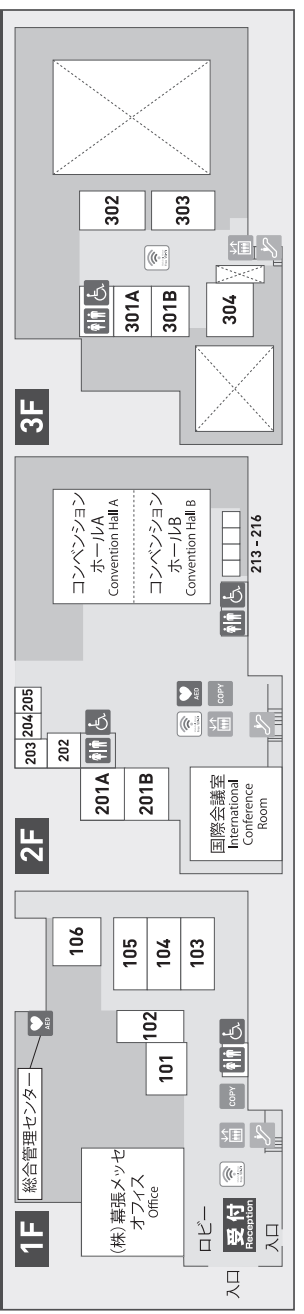
一般社団法人日本分析機器工業会 / 一般社団法人日本科学機器協会

JASIS 全会場図

展示会場 Exhibition Halls



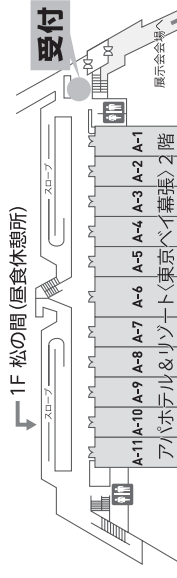
JASISコンファレンス会場 JASIS conferences



新技術説明会 New Technology Seminars

A会場 Venue A

アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)
 APA Hotel & Resorts Tokyo Bay Makuhari
 ●ホール1室～11室 (A-1～A-11)



N会場 Venue N

ホテルニューオータニ幕張
 Hotel New Otani Makuhari

●ステラ (N-1)、ラピス (N-2)、翔 (N-3)、舞 (N-4)、悠 (N-5)、囀 (N-6)

メッセ大通り Messe-odori St.

インフォメーション	レストラン・カフェ	ATM	ATM
トイレ	コンビニ	両替機	両替機
身障者用トイレ	売店	コピー	コピー
エレベーター	喫煙所	コインロッカー	コインロッカー
WiFiエリア	コインロッカー	授乳室	授乳室
AED	授乳室		

↓ 海浜幕張駅
 JR Kaihin
 Makuhari Sta.

目次

	ページ
1. 開催要綱	1
2. 広報・PR活動	3
3. 来場者数	4
4. 来場者プロフィール	5
5. 来場者アンケート	9
6. 展示規模	11
7. 出展社アンケート	12
8. 小間割り図	13
9. 出展社一覧	15
10. 新技術説明会	21
11. ライフサイエンスイノベーションゾーン	32
12. オープンソリューションフォーラム	37
13. JASIS WebExpo® 2018	39
14. JASIS コンファレンス	43
15. 日本薬局方セミナー	45
16. サイエンスセミナー	46
17. 科学実験ショー / やさしい科学機器入門 / DVD 上映	47
18. 「科学・分析機器総覧 2018」、「分析機器の手引き」の配布	48
19. スマートデバイス向けアプリ	48

1. 開催要綱

1. **名称** JASIS 2018
2. **主催** 一般社団法人日本分析機器工業会 / 一般社団法人日本科学機器協会
3. **テーマ** 「未来発見。」(Discover the Future.)
4. **会期** 2018年9月5日(水)～9月7日(金)
※ JASIS コンファレンスのみ 2018年9月4日(火)～9月7日(金)
5. **開催時間** 10:00～17:00
6. **出展社・機関数、出展小間数** (詳細は p.11)
494社・機関 1,462小間 (内海外42社・機関44小間 / 16ヶ国)
7. **総登録来場者数** (詳細は p.4) 23,697人 (うち海外より527名)
前日 149人 (JASIS コンファレンスのみ開催)
第1日目 7,663人
第2日目 8,024人
第3日目 7,861人
8. **会場**
 - ・幕張メッセ国際展示場4～8ホール
 - ・幕張メッセ国際会議場
 - ・アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>
 - ・ホテルニューオータニ幕張
9. **後援** 経済産業省 / 文部科学省 / 農林水産省 / 環境省 / 国立研究開発法人科学技術振興機構 / 国立研究開発法人産業技術総合研究所 / 独立行政法人製品評価技術基盤機構 / 国立研究開発法人理化学研究所 / 独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ) / 米国大使館 商務部 / 英国大使館 貿易・対英投資部 / 公益社団法人計測自動制御学会 / 公益社団法人高分子学会 / 公益社団法人石油学会 / 公益財団法人日本科学技術振興財団 / 一般社団法人日本環境化学会 / 一般社団法人日本機械学会 / 日本機械輸出組合 / 公益社団法人日本気象学会 / 公益社団法人日本金属学会 / 公益社団法人日本生物工学会 / 公益財団法人日本発明振興協会 / 一般社団法人日本物理学会 / 一般社団法人発明推進協会 / 一般社団法人日本医療機器学会 / 公益社団法人日本分光学会 / 公益社団法人日本分析化学会 / 公益社団法人日本化学会 / 東京商工会議所 / 特定非営利活動法人 バイオチップコンソーシアム
10. **協賛** 一般社団法人次世代センサ協議会 / 一般社団法人日本医療機器工業会 / 公益社団法人日本環境技術協会 / 一般社団法人日本計量機器工業連合会 / 一般社団法人日本検査機器工業会 / 日本顕微鏡工業会 / 日本光学工業協会 / 日本光学測定機工業会 / 日本試験機工業会 / 一般社団法人日本試薬協会 / 一般社団法人日本真空工業会 / 一般社団法人日本電気計測器工業会 / 一般社団法人日本非破壊検査工業会 / 一般社団法人日本非破壊検査協会 / 日本薬科機器協会 / 一般財団法人バイオインダストリー協会
11. **出展社展示内容**

①分析機器・装置	⑥バイオ関連機器・装置
②分析機器部品・コンポーネント	⑦試験機器・装置
③理化学機器	⑧生産プロセス機器・装置
④研究設備・器具・消耗品	(電機・電子デバイス・エネルギー等関連装置)
⑤環境計測機器・工業用計測機器	⑨情報関連ソフト・サービスその他

12. 展示場内企画 ※ () は JASIS 2017 実績

- ・ ライフサイエンスイノベーションゾーン (詳細は p.32) :
一般・ポスター・特別展示 75 社 102 小間 (66 社 87 小間)
企業プレゼンテーション 45 社 48 テーマ (39 社 39 テーマ)
基調講演 29 テーマ (30 テーマ)
- ・ オープンソリューションフォーラム (詳細は p.37) :
基調講演 6 テーマ、出展社発表 18 テーマ
- ・ サイエンスステージ (詳細は p.47) :
やさしい科学機器入門: 6 タイトル
科学実験ショー: 1 タイトル
分析化学教育用 DVD: 3 タイトル
- ・ JST ブース: 16 小間 (16 小間)
- ・ 産総研ブース: 12 小間 (10 小間)
- ・ mini/ソリューションコーナー: 32 社 38 小間 (31 社 40 小間)
- ・ 研究機関コーナー: 9 機関 11 小間 (8 機関 10 小間)
- ・ 学協会コーナー: 9 社 12 小間 (7 社 9 小間)
- ・ インターナショナルオーガナイゼーションコーナー: 14 機関 14 小間 + 3 社 3 小間 (20 社・機関 20 小間)
- ・ メディア&プレスコーナー: 10 社 11 小間 (12 社 13 小間)

13. 新技術説明会 (出展社による最新機器・技術の紹介) ※ () は JASIS 2017 (詳細は p.21)

日時: 9月5日(水) ~ 9月7日(金) 10:00 ~ 17:00
場所: アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>、ホテルニューオータニ幕張
発表会社数/テーマ数: 98 社 / 352 テーマ (101 社 / 347 テーマ)
聴講者延べ人数: 16,017 人 (16,001 人)

14. JASIS コンファレンス ※ () は JASIS 2017 実績 (詳細は p.43)

日時/場所: 9月4日(火) ~ 9月7日(金) 9:30 ~ 18:30 / 幕張メッセ国際会議場
主催団体数/セッション数: 37 団体 / 52 セッション (30 団体 / 52 セッション)
参加者延べ人数: 4,219 人 (4,507 人)

15. 日本薬局方セミナー「日本薬局方の現況~第 17 改正第二追補の動向を中心として~」(詳細は p.45)

日時/場所: 9月6日(木) 14:00 ~ 16:00 / 国際会議場 2 階 コンベンションホール A
聴講者数: 406 人

16. サイエンスセミナー「料理の科学 (加工、加熱、調味、保存のメカニズムは)」(詳細は p.46)

日時/場所: 9月7日(金) 13:00 ~ 14:30 / 国際会議場 2 階 コンベンションホール A
聴講者数: 365 人

17. JASIS WebExpo[®] 2018 (詳細は p.39)

会期: 7月2日(月) 10:00 ~ 12月21日(金) 17:00 ※以下全て 11月25日現在
コンテンツ: 講演 72 タイトル (動画 57 本)、出展社 14 社
閲覧 ID 数 (ユニーク): 4,262
閲覧コンテンツ数 (延べ): 18,355

2. 広報・PR活動

以下のようなツールを用い、行政機関、研究所、大学などに対してPRを行った。

1. ポスター（製作部数：和文 3,600 部 英文 400 部 中文 100 部 韓文 50 部）

2. 案内状（製作部数：390,000 部）

3. メールマガジン「JASIS 通信」（和文 35 回、英文 2 回）

4. 広告

新聞： 食品化学新聞、日本計量新報、化学工業日報、科学新聞

学会誌・雑誌： ぶんせき、化学と工業、高分子、応用物理、化学と生物、
ファルマシア、生化学、日経サイエンス、現代化学
月刊フードケミカル、工業材料、創薬のひろば、
検査技術、計測技術、クリーンテクノロジー、光アライアンス、
画像ラボ、環境浄化技術

WEB バナー広告：

生化学会 HP、日本分析化学会年会 HP、化学と生物 HP（農芸化学会 HP）
AEG (Automotive Engineers' Guide)、環境と測定技術、
日刊工業新聞電子版、化学工業日報 Web
Yahoo! プロモーション広告、Google アドワーズ広告

同封広告： QMAIL、日経サイエンス

5. 特集・記事

化学と工業、日経サイエンス、月刊フードケミカル、工業材料、科学新聞

6. ホームページ等

年間を通じて JASIS ホームページ <https://www.jasis.jp/> を開設し、日本語・英語・中国語で情報を発信し、事前入場登録やセミナーの事前申込を受け付けた。また、出展社専用ページで出展社の便宜を図った。

3. 来場者数

1. 来場者数のカウント方法

展示会場・国際会議場・新技術説明会場の全ての入場口で来場者入場証のバーコードを読取ることで来場者数をカウントしている。この方法では「①重複なし来場者数」に加え、「②1日1カウントの来場者数（複数日来場した人数を含む）」を把握することが出来る。つまり、「②1日1カウントの来場者数」により、その日の混雑ぶりが数字で把握出来るようになっている。

2. 来場者数集計

2018年日付	天気	①重複なし来場者数			②1日1カウントの来場者数		
		JASIS2018	JASIS2017	JASIS2016	JASIS2018	JASIS2017	JASIS2016
9月4日(火)	曇り	149	194	498	149	194	498
9月5日(水)	晴れ	7,663	8,219	8,228	7,770	8,347	8,560
9月6日(木)	晴れ	8,024	8,291	7,136	9,915	10,171	9,071
9月7日(金)	曇り	7,861	8,152	8,519	10,369	10,680	11,247
合計		23,697	24,856	24,381	28,203	29,392	29,376

(対前年比：95.3%)

①重複なし来場者数（従来と同じ以下の基準での来場者数）

- ・同一来場者IDは、4日間で1回だけカウント
- ・来場者入場証のみカウント、出展社入場証はカウントしない

②1日1カウントの来場者数

- ・複数日来場している来場者も含めた1日ごとの来場者数
- ・同一来場者IDは1日1回だけカウント
- ・最後の合計は4日間の延べ人数を表す

3. 新技術説明会、JASIS コンファレンスに来場した人が展示会場に行っているか

展示会場・国際会議場・新技術説明会場の全ての入口で読み込んだバーコードのデータ（1日1カウントの来場者数）から、来場者の動線を分析した。

	9月5日		9月6日		9月7日	
①新技術説明会（アパホテル）に来た人数	1,657		2,106		2,263	
①の内、展示会場に行った人数	1,598	96.4%	2,063	98.0%	2,199	97.2%
②新技術説明会（ニューオータニ）に来た人数	959		1,228		1,550	
②の内、展示会場に行った人数	915	95.4%	1,204	98.0%	1,496	96.5%
③国際会議場で聴講した人数	1,103		1,948		1,512	
③の内、展示会場に行った人数	1,002	90.8%	1,731	88.9%	1,294	85.6%

それぞれの日において、新技術説明会（アパ、オータニ）を聴講した人の内、97%前後の人が展示会場にも行っている。国際会議場で開催されるコンファレンスでは、展示会場に行く比率は平均88%となり、新技術説明会に比べ下がるものの、高い比率で展示会場への来場者の流れが確保されていると言える。この傾向は昨年と同じであり、新技術説明会会場、JASIS コンファレンス会場の2会場から展示会場への人の流れは保たれていると言える。

4. 来場者プロフィール

全来場者（23,697人）の登録データをもとに、来場者プロフィールを分析した。当展示会来場者層の特徴的な部分は、以下の4点であり、今年も広範囲のユーザー層に来場頂いたことが読み取れる。

1. 分析機器・科学機器ユーザー分類が半数を超えること。
2. 勤務地別集計で、関東甲信越の来場者が75%以上にのぼること。
3. 業種別では偏りが少なく、幅広い業種から来場いただいていること。

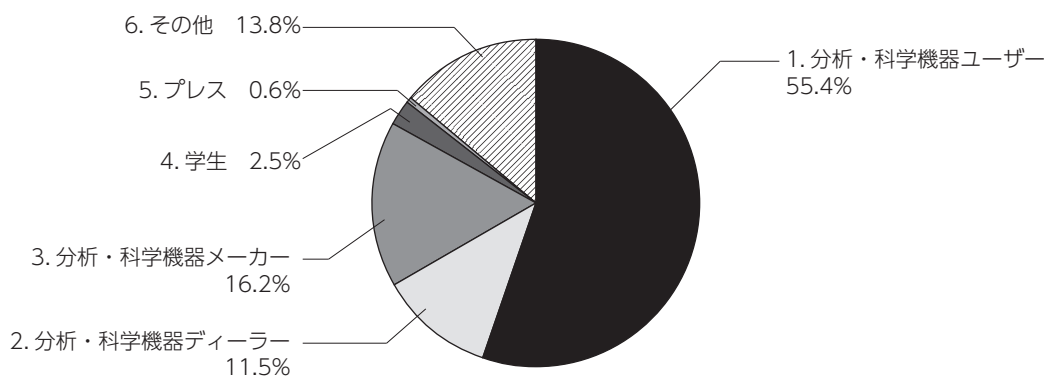
次の業種については、6～17%と比較的多い割合を占める。

「電子・電機・精密機器」、「商社・商業」、「分析技術サービス（分析・試験・検査）」、「化学製品（インク・塗料・農薬・香料等）」、「官公庁・公的機関」、「製薬・医薬・化粧品」「食品」

4. 職種別では、「研究・開発」約29%、「営業」約19%、「分析・試験・検査・測定」約19%、「生産・製造・品質管理」約8%が主だったところであること。

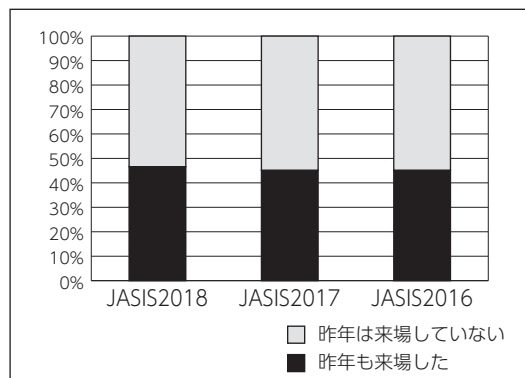
1. 登録来場者の入場証カード色分類

	JASIS2018						JASIS2017		JASIS2016	
	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析・科学機器ユーザー	99	3,828	4,579	4,629	13,135	55.4%	13,042	52.5%	12,358	50.7%
2. 分析・科学機器ディーラー		1,026	879	819	2,724	11.5%	2,980	12.0%	3,008	12.3%
3. 分析・科学機器メーカー	41	1,401	1,277	1,124	3,843	16.2%	4,030	16.2%	4,330	17.8%
4. 学生	6	192	258	134	590	2.5%	826	3.3%	773	3.2%
5. プレス		74	36	35	145	0.6%	197	0.8%	153	0.6%
6. その他	3	1,142	995	1,120	3,260	13.8%	3,781	15.2%	3,759	15.4%
合計	149	7,663	8,024	7,861	23,697	100.0%	24,856	100.0%	24,381	100.0%



2. リピーター分類

	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
昨年も来場した	11,053	46.6%	11,211	45.1%	10,989	45.1%
昨年は来場していない	12,644	53.4%	13,645	54.9%	13,392	54.9%
合計	23,697	100.0%	24,856	100.0%	24,381	100.0%



3. 勤務先所在地別

	JASIS2018						JASIS2017		JASIS2016	
	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 東京都	46	2,681	2,580	2,627	7,934	33.5%	8,407	33.8%	8,639	35.4%
2. 神奈川県	13	1,041	1,090	1,120	3,264	13.8%	3,307	13.3%	3,250	13.3%
3. 千葉県	13	715	750	876	2,354	9.9%	2,426	9.8%	2,370	9.7%
4. 埼玉県	4	550	607	647	1,808	7.6%	1,897	7.6%	1,842	7.6%
5. 茨城県	23	436	493	638	1,590	6.7%	1,579	6.4%	1,555	6.4%
6. 栃木県		92	103	106	301	1.3%	343	1.4%	323	1.3%
7. 群馬県		93	99	116	308	1.3%	278	1.1%	303	1.2%
8. 山梨県		26	47	49	122	0.5%	134	0.5%	134	0.5%
9. 長野県	2	51	81	73	207	0.9%	204	0.8%	237	1.0%
10. 新潟県		29	39	38	106	0.4%	127	0.5%	112	0.5%
関東・甲信越 小計	101	5,714	5,889	6,290	17,994	75.9%	18,702	75.2%	18,765	77.0%
11. 愛知県	4	147	248	211	610	2.6%	601	2.4%	548	2.2%
12. 静岡県	3	168	241	251	663	2.8%	645	2.6%	614	2.5%
13. 岐阜県		16	27	26	69	0.3%	87	0.4%	71	0.3%
14. 三重県		31	49	38	118	0.5%	144	0.6%	102	0.4%
15. 石川県	2	15	30	8	55	0.2%	52	0.2%	69	0.3%
16. 富山県		38	52	38	128	0.5%	127	0.5%	110	0.5%
17. 福井県		8	24	15	47	0.2%	46	0.2%	45	0.2%
東海・北陸 小計	9	423	671	587	1,690	7.1%	1,702	6.8%	1,559	6.4%
18. 大阪府	5	248	298	230	781	3.3%	909	3.7%	910	3.7%
19. 京都府	18	289	296	206	809	3.4%	792	3.2%	841	3.4%
20. 滋賀県	4	37	63	57	161	0.7%	169	0.7%	126	0.5%
21. 兵庫県	1	94	102	84	281	1.2%	324	1.3%	283	1.2%
22. 奈良県		4	12	15	31	0.1%	54	0.2%	38	0.2%
23. 和歌山県		9	6	4	19	0.1%	26	0.1%	33	0.1%
近畿 小計	28	681	777	596	2,082	8.8%	2,274	9.1%	2,231	9.2%
24. 愛媛県		27	18	7	52	0.2%	63	0.3%	45	0.2%
25. 香川県		17	15	1	33	0.1%	36	0.1%	29	0.1%
26. 高知県		3	4	1	8	0.0%	17	0.1%	14	0.1%
27. 徳島県		13	10	12	35	0.1%	29	0.1%	26	0.1%
四国 小計	0	60	47	21	128	0.5%	145	0.6%	114	0.5%
28. 岩手県		7	13	7	27	0.1%	26	0.1%	44	0.2%
29. 宮城県	3	46	58	49	156	0.7%	131	0.5%	151	0.6%
30. 山形県		21	37	29	87	0.4%	97	0.4%	66	0.3%
31. 秋田県	1	15	11	10	37	0.2%	41	0.2%	39	0.2%
32. 青森県		10	16	7	33	0.1%	25	0.1%	29	0.1%
33. 福島県		54	76	85	215	0.9%	226	0.9%	208	0.9%
34. 北海道	2	39	20	7	68	0.3%	106	0.4%	106	0.4%
東北・北海道 小計	6	192	231	194	623	2.6%	652	2.6%	643	2.6%
35. 岡山県		32	38	33	103	0.4%	102	0.4%	96	0.4%
36. 広島県		25	48	22	95	0.4%	127	0.5%	99	0.4%
37. 山口県	2	26	32	16	76	0.3%	72	0.3%	68	0.3%
38. 鳥取県		4	5	3	12	0.1%	14	0.1%	8	0.0%
39. 島根県		5	1		6	0.0%	17	0.1%	11	0.0%
近畿 小計	2	92	124	74	292	1.2%	332	1.3%	282	1.2%
40. 福岡県	1	72	47	29	149	0.6%	154	0.6%	137	0.6%
41. 佐賀県		14	10	2	26	0.1%	26	0.1%	25	0.1%
42. 長崎県	1	5	8	2	16	0.1%	15	0.1%	17	0.1%
43. 熊本県		32	26	13	71	0.3%	58	0.2%	52	0.2%
44. 大分県		12	19	3	34	0.1%	30	0.1%	29	0.1%
45. 宮崎県		9	6	4	19	0.1%	26	0.1%	20	0.1%
46. 鹿児島県		7	5	6	18	0.1%	17	0.1%	14	0.1%
47. 沖縄県		14	10	4	28	0.1%	21	0.1%	18	0.1%
九州・沖縄 小計	2	165	131	63	361	1.5%	347	1.4%	312	1.3%
国内合計	148	7,327	7,870	7,825	23,170	97.8%	24,154	97.2%	23,906	98.1%
海外	1	336	154	36	527	2.2%	702	2.8%	475	1.9%
合計	149	7,663	8,024	7,861	23,697	100.0%	24,856	100.0%	24,381	100.0%

勤務先所在地 TOP10

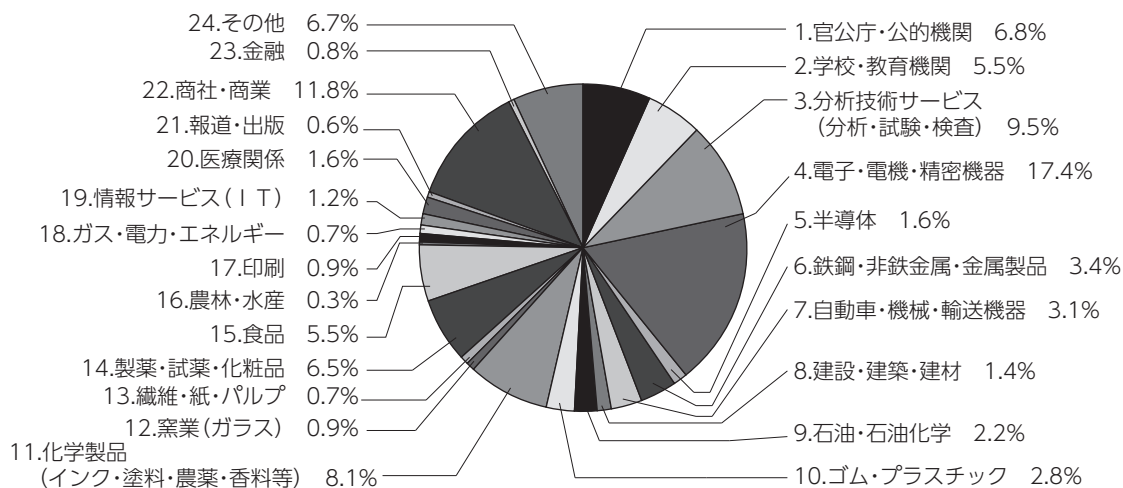
	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数	都道府県	合計人数
1位	東京都	7,934	東京都	8,407	東京都	8,639
2位	神奈川県	3,264	神奈川県	3,307	神奈川県	3,250
3位	千葉県	2,354	千葉県	2,426	千葉県	2,370
4位	埼玉県	1,808	埼玉県	1,897	埼玉県	1,842
5位	茨城県	1,590	茨城県	1,579	茨城県	1,555
6位	京都府	809	大阪府	909	大阪府	910
7位	大阪府	781	京都府	792	京都府	841
8位	静岡県	663	海外	702	静岡県	614
9位	愛知県	610	静岡県	645	愛知県	548
10位	海外	527	愛知県	601	海外	475

海外来場者 国別内訳 (TOP10)

	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
	国名	合計人数	国名	合計人数	国名	合計人数
1位	韓国	205	韓国	223	韓国	186
2位	中国	142	中国	157	中国	116
3位	台湾	60	台湾	142	台湾	44
4位	アメリカ	21	アメリカ	48	アメリカ	25
5位	タイ	17	タイ	18	ベトナム	10
6位	英国	9	インド	13	インドネシア	9
7位	ドイツ	6	香港	11	シンガポール	9
7位	マレーシア	6	英国	11	ミャンマー	8
9位	フランス	5	シンガポール	10	タイ	8
9位	インドネシア	5	ロシア	7	イタリア	5
9位	イタリア	5	ベトナム	7	マレーシア	5
9位	シンガポール	5			英国	5
	その他	41	その他	55	その他	45
	合計	527	合計	702	合計	475

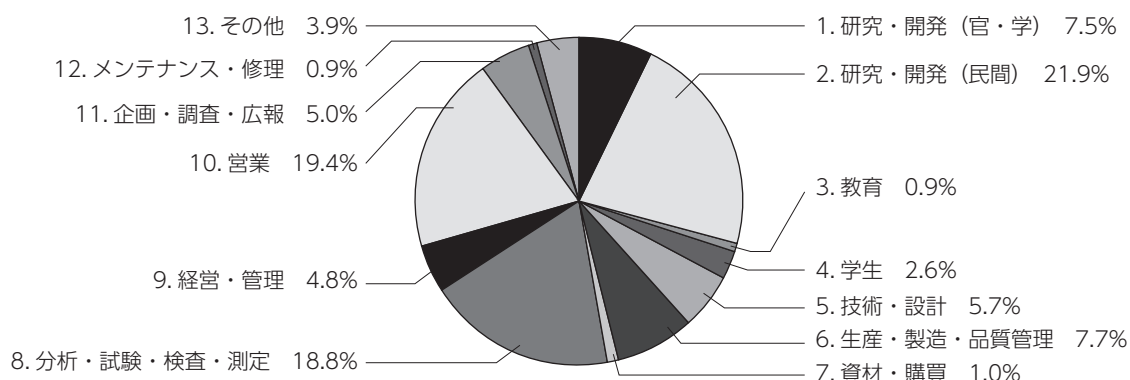
4. 業種別分類

	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 官公庁・公的機関	1,611	6.8%	1,668	6.7%	1,624	6.7%
2. 学校・教育機関	1,306	5.5%	1,498	6.0%	1,452	6.0%
3. 分析技術サービス (分析・試験・検査)	2,252	9.5%	2,223	8.9%	2,143	8.8%
4. 電子・電機・精密機器	4,119	17.4%	4,277	17.2%	4,382	18.0%
5. 半導体	390	1.6%	435	1.8%	374	1.5%
6. 鉄鋼・非鉄金属・金属製品	814	3.4%	774	3.1%	784	3.2%
7. 自動車・機械・輸送機器	741	3.1%	722	2.9%	751	3.1%
8. 建設・建築・建材	322	1.4%	316	1.3%	343	1.4%
9. 石油・石油化学	510	2.2%	454	1.8%	499	2.0%
10. ゴム・プラスチック	667	2.8%	712	2.9%	713	2.9%
11. 化学製品 (インク・塗料・農薬・香料等)	1,923	8.1%	1,876	7.5%	1,757	7.2%
12. 窯業 (ガラス)	217	0.9%	256	1.0%	213	0.9%
13. 繊維・紙・パルプ	166	0.7%	167	0.7%	165	0.7%
14. 製薬・試薬・化粧品	1,552	6.5%	1,540	6.2%	1,477	6.1%
15. 食品	1,295	5.5%	1,322	5.3%	1,203	4.9%
16. 農林・水産	70	0.3%	88	0.4%	76	0.3%
17. 印刷	212	0.9%	245	1.0%	215	0.9%
18. ガス・電力・エネルギー	169	0.7%	165	0.7%	138	0.6%
19. 情報サービス (IT)	280	1.2%	334	1.3%	315	1.3%
20. 医療関係	383	1.6%	403	1.6%	428	1.8%
21. 報道・出版	148	0.6%	190	0.8%	146	0.6%
22. 商社・商業	2,786	11.8%	3,142	12.6%	3,150	12.9%
23. 金融	180	0.8%	227	0.9%	231	0.9%
24. その他	1,584	6.7%	1,822	7.3%	1,802	7.4%
合計	23,697	100.0%	24,856	100.0%	24,381	100.0%



5. 職種別分類

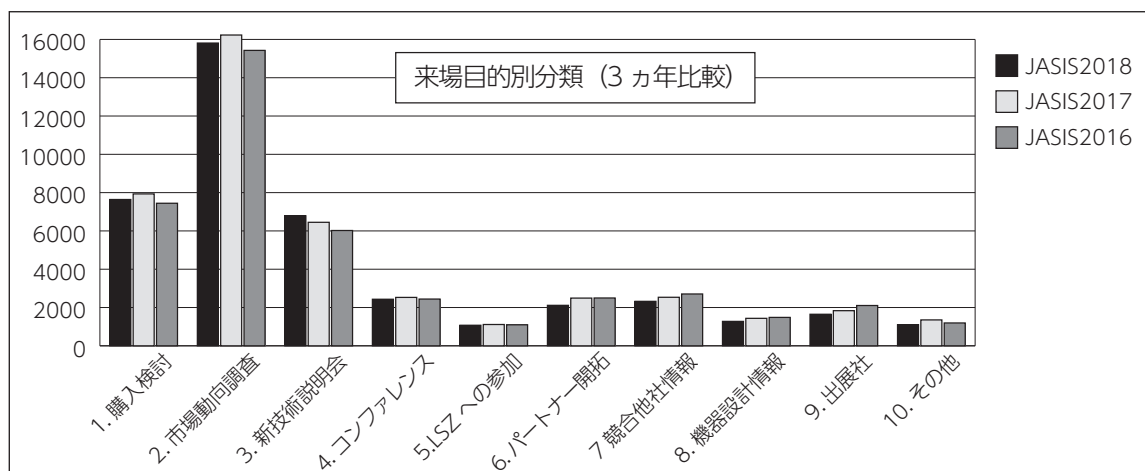
	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 研究・開発（官・学）	1,769	7.5%	1,844	7.4%	1,806	7.4%
2. 研究・開発（民間）	5,179	21.9%	5,093	20.5%	4,834	19.8%
3. 教育	204	0.9%	222	0.9%	166	0.7%
4. 学生	610	2.6%	794	3.2%	776	3.2%
5. 技術・設計	1,349	5.7%	1,411	5.7%	1,411	5.8%
6. 生産・製造・品質管理	1,813	7.7%	1,772	7.1%	1,636	6.7%
7. 資材・購買	238	1.0%	252	1.0%	252	1.0%
8. 分析・試験・検査・測定	4,448	18.8%	4,453	17.9%	4,267	17.5%
9. 経営・管理	1,142	4.8%	1,196	4.8%	1,254	5.1%
10. 営業	4,605	19.4%	5,189	20.9%	5,504	22.6%
11. 企画・調査・広報	1,193	5.0%	1,317	5.3%	1,305	5.4%
12. メンテナンス・修理	224	0.9%	240	1.0%	226	0.9%
13. その他	923	3.9%	1,073	4.3%	944	3.9%
合計	23,697	100.0%	24,856	100.0%	24,381	100.0%



6. 来場目的別分類（複数回答）

	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
	合計人数	比率	合計人数	比率	合計人数	比率
1. 分析機器 / 科学機器の購入検討（長期・短期）	7,641	32.2%	7,933	31.9%	7,445	30.5%
2. 分析機器 / 科学機器業界の技術トレンド・市場動向調査	15,810	66.7%	16,230	65.3%	15,427	63.3%
3. 新技術説明会 / オープンソリューションフォーラムの聴講	6,790	28.7%	6,450	25.9%	6,022	24.7%
4. コンファレンス（国際会議場開催）への参加	2,432	10.3%	2,528	10.2%	2,442	10.0%
5. ライフサイエンスイノベーションゾーンへの参加	1,074	4.5%	1,113	4.5%	1,097	4.5%
6. ビジネスパートナー開拓	2,114	8.9%	2,492	10.0%	2,498	10.2%
7. [分析・科学機器メーカーの方へ] 競合他社の情報収集	2,323	9.8%	2,535	10.2%	2,707	11.1%
8. [分析・科学機器メーカーの方へ] 機器設計のための情報収集	1,276	5.4%	1,435	5.8%	1,484	6.1%
9. 出展者・展示要員・展示説明員	1,648	7.0%	1,835	7.4%	2,105	8.6%
10. その他	1,098	4.6%	1,353	5.4%	1,194	4.9%

※比率は2018年度は23,697人、2017年度は24,856人、2016年度は24,381人を100として、それぞれの比率を算出した。



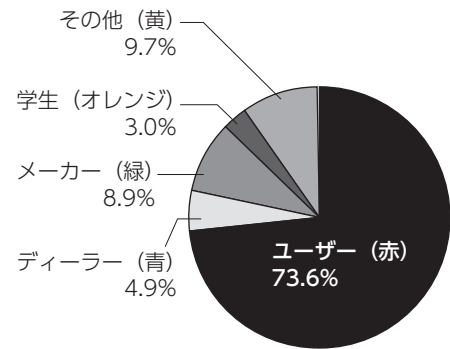
5. 来場者アンケート

JASIS2018 来場者のニーズや傾向を把握するためにアンケートを実施した。6ホールと7ホールのイベントスクエア内にアンケートコーナーを設置し、来場者から3日間で3,962名のアンケートを得た。以下抜粋。(複数回答設問である4,5項の比率は、回答総数を100%として計算。各年の回収総数：JASIS 2018 = 3,962通、JASIS 2017 = 5,174通、JASIS 2016 = 5,180通)

1. アンケート回答者の入場カード色区分

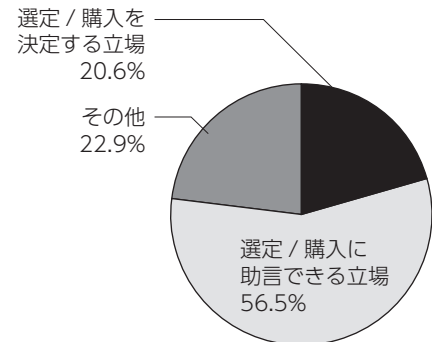
	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
ユーザー (赤)	2,917	73.6%	3,590	69.4%	3,540	68.3%
ディーラー (青)	194	4.9%	353	6.8%	380	7.3%
メーカー (緑)	351	8.9%	511	9.9%	513	9.9%
学生 (オレンジ)	117	3.0%	183	3.5%	252	4.9%
その他 (黄)	383	9.7%	537	10.4%	495	9.6%
合計	3,962	100.0%	5,174	100.0%	5,180	100.0%

全来場者へのアンケートである「来場者プロフィール」の結果と比べるとユーザーの比率が高い。(55.4% → 73.6%)



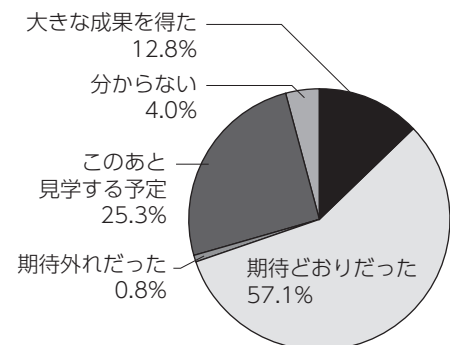
2. 機器の購入についてのあなたのお立場は

	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
選定 / 購入を決定する立場	818	20.6%	1,048	20.3%	1,050	20.2%
選定 / 購入に助言できる立場	2,237	56.5%	2,781	53.7%	2,753	53.2%
その他	907	22.9%	1,345	26.0%	1,377	26.6%
合計	3,962	100.0%	5,174	100.0%	5,180	100.0%



3. JASIS 2018 の感想について

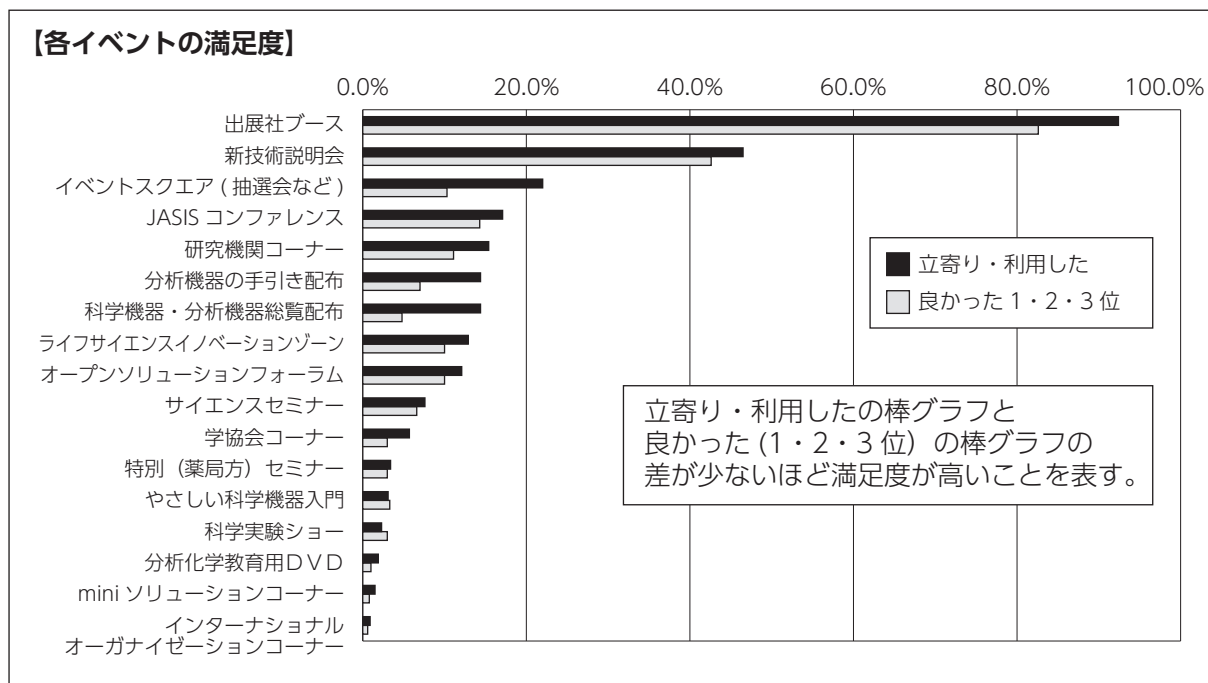
	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
大きな成果を得た	506	12.8%	692	13.4%	678	13.1%
期待どおりだった	2,262	57.1%	2,911	56.3%	2,938	56.7%
期待外れだった	31	0.8%	55	1.1%	46	0.9%
このあと見学する予定	1,003	25.3%	1,266	24.5%	1,169	22.6%
分からない	160	4.0%	250	4.8%	349	6.7%
合計	3,962	100.0%	5,174	100.0%	5,180	100.0%



4. 各イベントの満足度

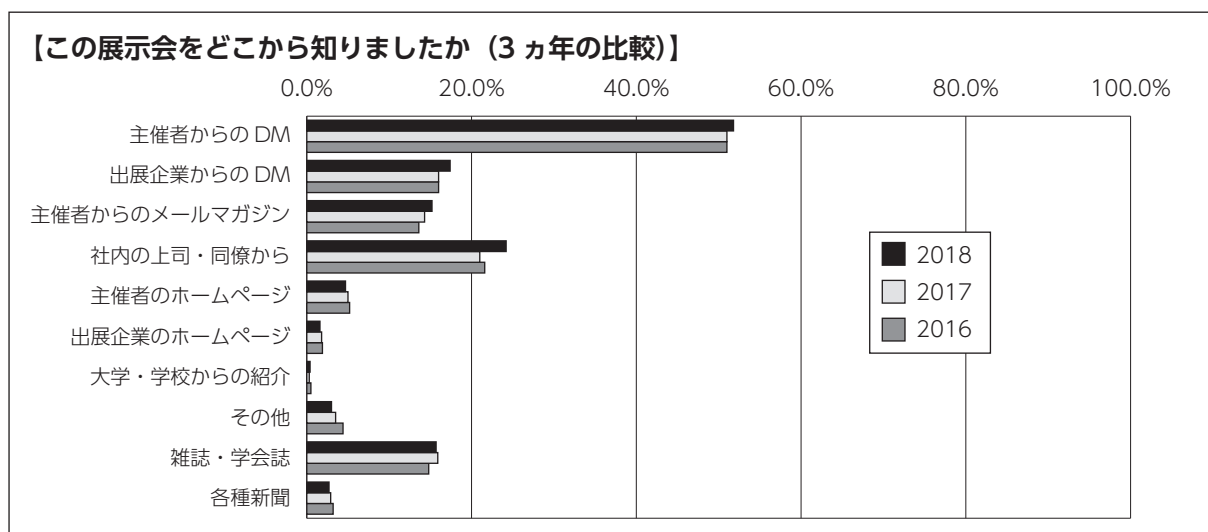
JASIS2018 のイベントで立ち寄られた所（立ち寄られる予定の所）、又は利用された所（利用される予定の所）を複数回答でチェックしていただいた。

次に、チェックされたイベントの内、特に良かったイベントを最大3つまでを回答いただいた。



5. この展示会をどこから知りましたか(複数回答)

	JASIS2018		JASIS2017		JASIS2016	
主催者からのDM	2,054	51.8%	2,636	50.9%	2,615	50.5%
主催者からのメールマガジン	691	17.4%	818	15.8%	808	15.6%
主催者のホームページ	603	15.2%	740	14.3%	704	13.6%
出展企業からのDM	960	24.2%	1,089	21.0%	1,118	21.6%
出展企業のホームページ	187	4.7%	257	5.0%	270	5.2%
雑誌・学会誌	64	1.6%	95	1.8%	98	1.9%
各種新聞	17	0.4%	16	0.3%	25	0.5%
大学・学校からの紹介	117	3.0%	181	3.5%	226	4.4%
社内の上司・同僚から	622	15.7%	825	15.9%	768	14.8%
その他	108	2.7%	151	2.9%	167	3.2%



6. 展示規模

2018年の展示規模は、494社 1,462小間となり、若干減少傾向となったものの、幕張メッセの5つのホールを使用しての開催となった。

1,462小間のうち、3m×3mサイズのブースに製品を展示する一般展示が1,273小間となり全体の87.1%を占め、163小間(11.1%)が、ライフサイエンスイノベーション、mini/ソリューション、研究機関、学協会などの出展コーナーであった。

全出展社494社・機関中、主催者(日本分析機器工業会もしくは日本科学機器協会)会員企業は232社(47.0%)、会員外の出展は262社(53.0%)であり会員以外の出展にも広く門戸を開いている。海外出展は、42社44小間(16か国)と、昨年より1社(3か国)増加した。(2017年は、41社44小間/13か国)

・出展種別内訳

	小間数				会社数			
	JASIS 2018	去年比	JASIS 2017	JASIS 2016	JASIS 2018	去年比	JASIS 2017	JASIS 2016
JAIMA/JSIA 会員	1,063	96%	1,110	1,094	232	92%	251	253
ゲスト (国内)	143	108%	132	146	82	98%	84	90
ゲスト (海外)	26	100%	26	18	22	96%	23	15
その他	41	114%	36	35	8	89%	9	8
mini/ソリューションコーナー	38	95%	40	34	32	103%	31	28
ライフサイエンスイノベーションゾーン	102	117%	87	88	75	114%	66	66
小計	1,413	99%	1,431	1,415	451	97%	464	460
研究機関、学協会、 メディア&プレスコーナー他	49	104%	47	53	43	102%	42	44
合計	1,462	99%	1,478	1,468	494	98%	506	504

・海外出展社内訳

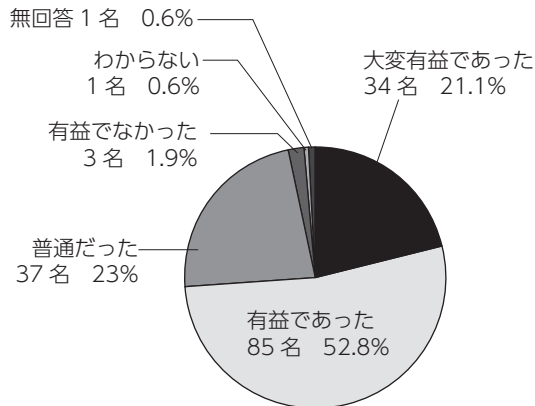
	海外出展社数小間数 / 国数		
	JASIS 2018	JASIS 2017	JASIS 2016
一般展示	22社 26小間 / 11か国	23社 26小間 / 9か国	15社 18小間 / 6か国
mini/ソリューションコーナー	3社 3小間 / 3か国	1社 1小間 / 1か国	2社 2小間 / 2か国
ライフサイエンスイノベーションゾーン	4社 4小間 / 3か国	-	-
国際ナショナルオーガナイゼーションコーナー	12社・機関 12小間 / 6か国	15社・機関 15小間 / 7か国	15社・機関 15小間 / 8か国
メディア&プレスコーナー	2社 2小間 / 2か国	2社 2小間 / 2か国	2社 2小間 / 2か国
計	42社・機関 44小間 / 16か国	41社・機関 44小間 / 13か国	34社・機関 37小間 / 8か国



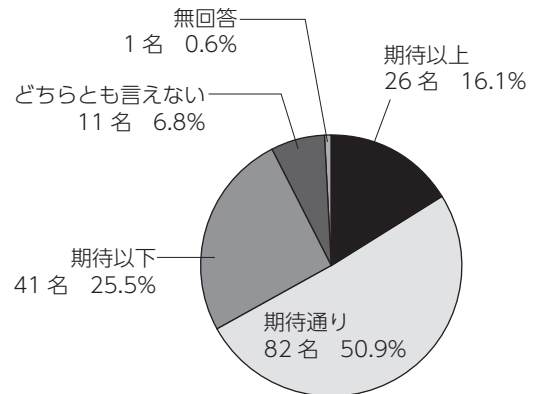
7. 出展社アンケート

会期後に、全出展社の日本の担当者 387 社に対してアンケートを行い、161 社から回答を得た（回収率 41.6%）。出展が「大変有益であった」もしくは「有益であった」という回答が 73.9%（2017 年 80.2%）となり、また、次年度の出展予定に対しては 88.8%（2017 年 84.0%）が「出展する」もしくは「出展を検討する」と回答をいただいた。以下はアンケートの抜粋。

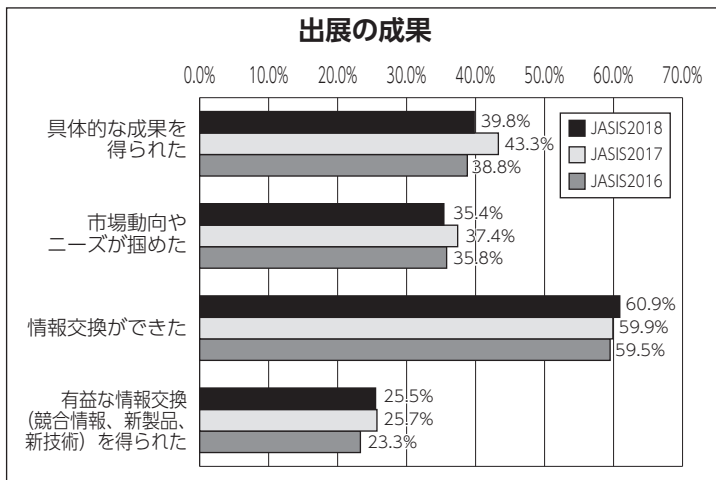
JASIS2018 への出展は有益でしたか



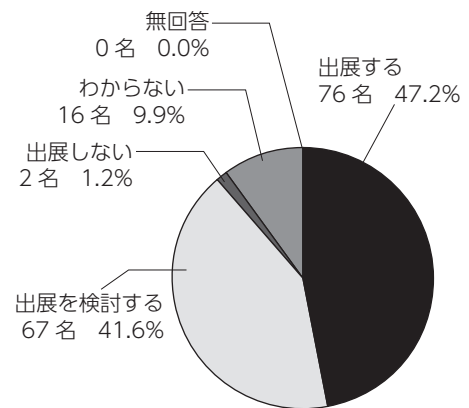
貴社ブース来場者について



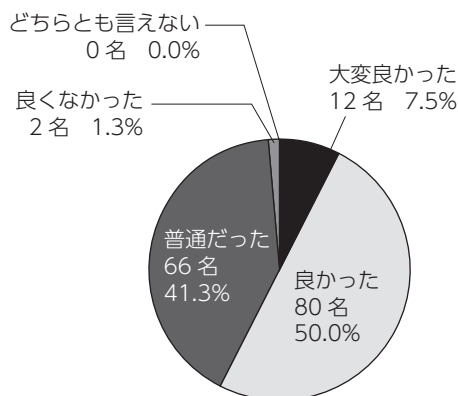
出展の成果



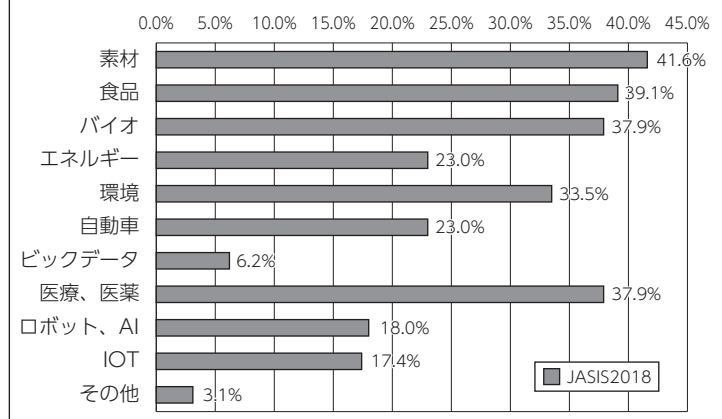
2019 年は出展しますか



展示会場全体の雰囲気について



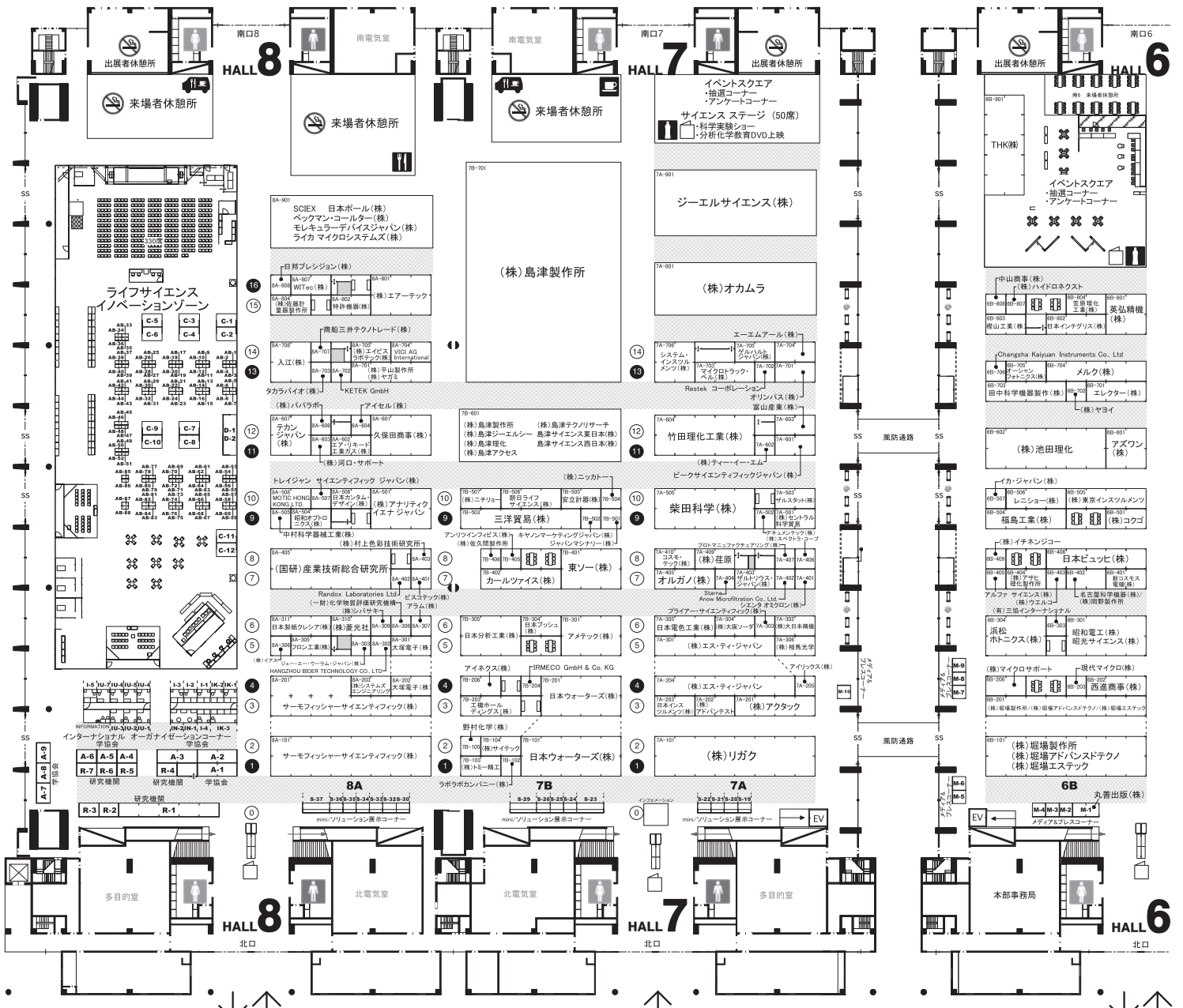
特別企画を他にも行う場合、取り上げて欲しいテーマは何ですか



8. 小間割り図

[HALL 8] ライフサイエンスイノベーションゾーン

C-1 (株)オプティマ	AB-1 (株)プラスト	AB-17 東亜ディーケーケー(株)	AB-31 (株)バイオネット研究所	AB-45 JNC(株)
C-2 メディカテック(株)	AB-2 いわき商工	AB-18 KM3 Scientific Corporation	AB-32 (株)朝日ラバー	AB-46 ムロオカ産業(株)
C-3 (株)ライトストーン	AB-3 早稲田大学	AB-19 (株)協同インターナショナル	AB-33 関東化学(株)	AB-47 アカデミスト(株)
C-4 Haniil Scientific Inc.	AB-4 (株)テクノスルガ・ラボ	AB-20 エクリプス ビジネスメディア	AB-34 Biocosm(株)	AB-48 ブルカー・ジャパン(株)
C-5 (株)エルイー・テクノロジーズ	AB-5 (株)アプロサイエンス	AB-21 (株)堀場製作所	AB-35 (株)フォーデクス	AB-49 ライコニック ジャパン(株)
C-6 (特非)バイオチップコンソーシアム	AB-6 (株)アプロサイエンス	AB-22 (株)堀場製作所	AB-36 (株)フォーデクス	AB-50 JPK インストルメンツ AG
C-7 (株)日立ハイテクノロジーズ	AB-7 (株)アプロサイエンス	AB-23 (株)鳥津製作所	AB-37 (株)生体分子計測研究所	AB-51 (有)シーアンドアイ
C-8 NOK(株)	AB-8 (株)アプロサイエンス	AB-24 (株)鳥津製作所	AB-38 (株)生体分子計測研究所	AB-52 シチズンファインデバイス(株)
C-9 スリーアールソリューション(株)	AB-9 (株)アプロサイエンス	AB-25 ノーザンサイエンス	AB-39 NTサイエンス(同)	AB-53 (株)じほう
C-10 テクノポート(株)	AB-10 アドバンテック東洋(株)	AB-26 ノーザンサイエンス	AB-40 (一社)日本臨床検査機器・	AB-54 トーリ・ハン(株)
C-11 (株)エマーシングテクノロジーズ	AB-11 文科学ナノテクノロジープラットフォーム	AB-27 ノーザンサイエンス	AB-41 (株)ナード研究所	
C-12 (株)エンテックス	AB-12 分子物質合成プラットフォーム	AB-28 ノーザンサイエンス	AB-42 マルバーク・パナリティカル	
	AB-13 金陵電機(株) / Syft Technologies	AB-29 昭和電工(株)	AB-43 事業部 スペクトリス(株)	
	AB-14 佐竹化学機械工業(株)	AB-30 アンドール・テクノロジーLtd	AB-44 東京理科大学	
D-1,2 湘南ヘルスイノベーションパーク				



[HALL 8] インターナショナルオーガナイゼーションコーナー

I-1 中国分析測定協会 (China Association for Instrumental Analysis)
I-2 Thailand Institute of Scientific and Technological Research (TISTR)
I-3 カナダ大使館
I-4 China International Scientific Instrument and Laboratory Equipment Exhibition
I-5 LAB ASIA/LAB INDONESIA

KSIOCパビリオン

IK-1 Medikors Inc.
IK-2 韓国科学機器工業協同組合 (KSIOC)
IK-3 ZEOPHILTECH CO.,LTD.

USパビリオン

IU-1 米国大使館 商務部
IU-2 アイオワ州経済開発機構
IU-3 オレゴン州政府 駐日代表部
IU-4 ノースカロライナ州政府 日本事務所
IU-5 ペンシルベニア州政府 日本投資事務所
IU-6 PITTCON
IU-7 タイタンテクノロジーズ(株)

ニュージーランドパビリオン

IN-1 ニュージーランド大使館 商務部
IN-2 ニュージーランド大使館 貿易経済促進庁

[HALL 8] 学協会コーナー

A-1 (一社)日本環境測定分析協会
A-2 (特非)分析産業人ネット
A-3 (一社)東京環境経営研究所
A-4 (一財)放射線利用振興協会
A-5 (公財)日本適合性認定協会
A-6 (公社)日本分析化学会
A-7 AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION
A-8 (公社)日本顕微鏡学会
A-9 (公社)日本分光学会

[HALL 8] 研究機関コーナー

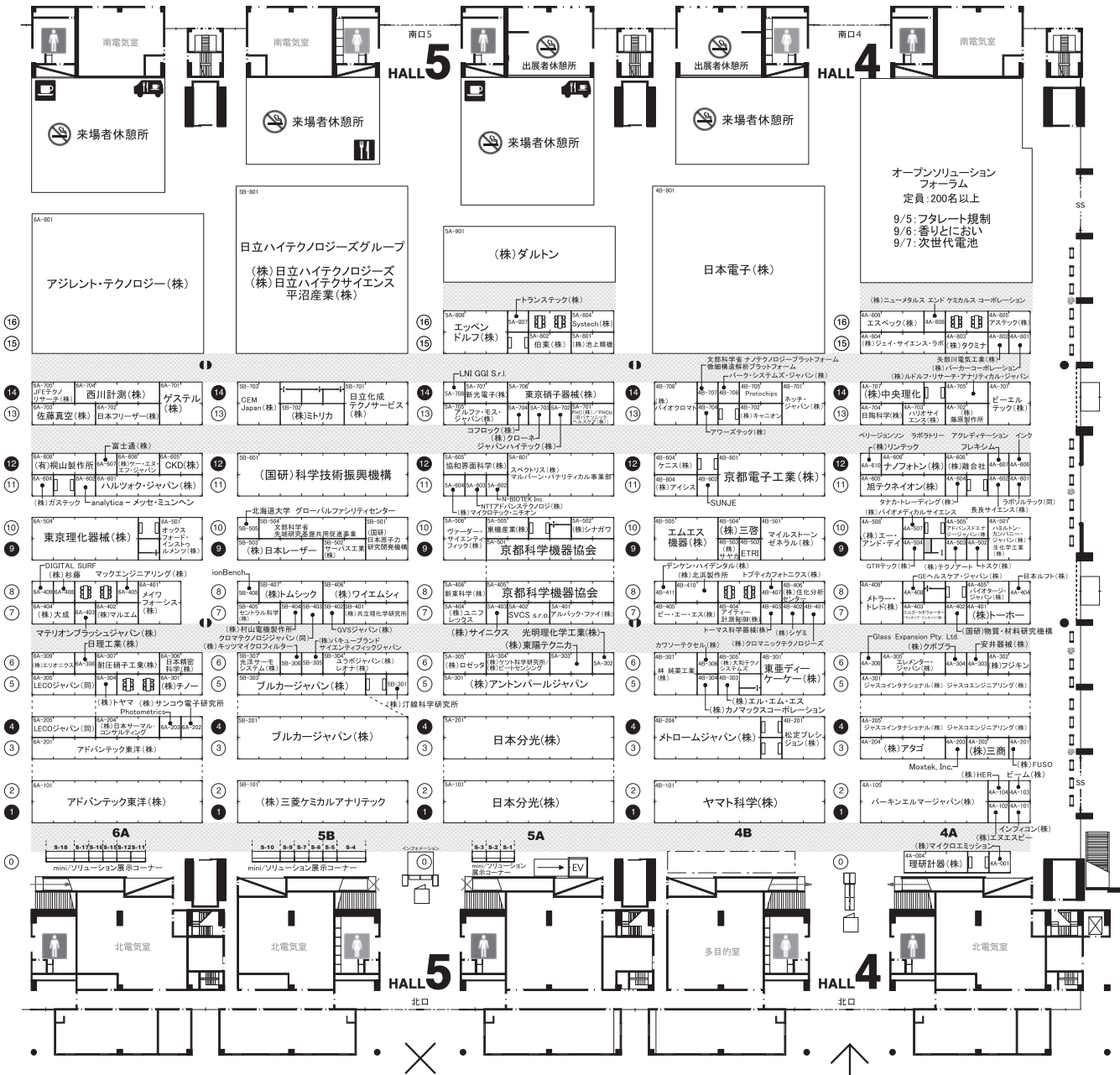
R-1 (一財)化学物質評価研究機構 化学標準部
(国研)産業技術総合研究所 計量標準総合センター(NMIJ)
(独)製品評価技術基盤機構 認定センター
R-2 (独)国立高等専門学校 茨城工業高等専門学校 国際創造工学科 電気・電子系 若松研究室
R-3 千葉大学共用機器センター
R-4 (国研)農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門
R-5 神奈川大学 理学部 化学科 西本研究室
R-6 東京農工大学
R-7 (国研)神戸大学 木村次郎研究室

AB-61	BioJapan / 再生医療JAPAN 2018
AB-63	(株)システム計画研究所
AB-64	(一社)再生医療イノベーションフォーラム
AB-65	アルバック成膜(株)
AB-67	(特非)研究実験施設・環境安全教育研究会
AB-69	microfluidic ChipShop / ASICON
AB-71	(株)アルバック
AB-72	製薬企業4社公募説明コーナー
AB-73	創業のひろば

AB-75	(一社)日本臨床検査薬協会
AB-76	第91回日本生化学会大会
AB-77	(公社)日本生化学会
AB-78	ifa/HFE JAPAN2019 国際食品素材/添加物展・会議/ヘルスフードエキスポ
AB-79	Biotechnology and Pharmaceutical Industries Promotion Office, Ministry of Economic Affairs, Taiwan.
AB-80	(株)リコー
AB-81	BDコンサルティング(同)
AB-82	エナゴ
AB-83	(株)インナーリソース

AB-86	情報計算化学生物学会(CBI学会)
AB-87	Gwydion Inc.
AB-88	横浜バイオ医薬品 研究開発センター(YBIRD)

- ドリンク
- ペットボトルの水無料配布
- 弁当(11:00~売り切れまで)
- ランチカー
- パンフレット



[HALL 7・8] mini/Solution展示コーナー

S-19	サンインシステム(株)
S-20	(株)朝日ラボ交易
S-21	(株)アド・サイエンス
S-22	(一財)三重県環境保全事業団
S-23	京セラ(株)
S-24	日本ビジュアルサイエンス(株)
S-25	ワイリー
S-26	イノベーションサイエンス(株)
S-29	フィルジェン(株)
S-30	スペクトラ・クエストラボ(株)
S-32	エレコン科学(株)
S-33	SAW&SPT-Tech(有)
S-34	(同)エヌワイラボ
S-35	大川光学
S-36	(株)ナシード
S-37	フィルストリクス(株)

[HALL 5・6] mini/Solution展示コーナー

S-1	ヤマト物流(株)
S-2	(株)大葉技研
S-3	(株)東京エム・アイ商会
S-4	構造解析連携協議会
S-5	バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株)
S-6	ヤマキ電器(株)
S-7	(株)ユニオン
S-9	(株)三永電機製作所
S-10	篠原電機(株)
S-11	東京ダイレック(株)
S-12	旭日興産(株)
S-15	(株)塚原製作所
S-16	ノイベルク(有)
S-17	日本アッシュ(株)
S-18	QMAIL

[HALL 6]メディア&プレスコーナー

M-1	丸善出版(株)
M-2	(株)科学新聞社
M-3	International Labmate
M-4	(株)デジタルデータマネジメント
M-5	instrument.com.cn
M-6	(株)化学工業日報社
M-7	(株)日刊工業出版プロダクション
M-8	日本工業出版(株)
M-9	(株)オプトロクス社
M-10	(株)日経サイエンス

[HALL 5]京都科学機器協会

O-1	オリオン(株)
M-2	二九精密機械工業(株)
M-3	京都科学機器協会
M-4	(株)ケイジバック
M-5	(株)山崎精機研究所
M-6	(株)神村製作所
M-7	京都樹脂精工(株)
M-8	京都理化学器械(株)

9. 出展社一覧

■一般展示

IRMECO GmbH & Co. KG	7B-204	(株) エー・アンド・デイ	4A-508
(株) アイシス	4B-604	英弘精機 (株)	6B-801
アイセル (株)	8A-604	HER Co., Ltd.	4A-104
アイティー計測制御 (株)	4B-404	(株) エイビス	8A-705
アイネクス (株)	7B-206	エーエムアール (株)	7A-704
アイリックス (株)	7A-205	(株) エス・ティ・ジャパン	7A-204、7A-301
アキュメンテック (株)	7A-502	SVCS s.r.o.	5A-402
(株) アクタック	7A-201	エスペック (株)	4A-809
旭テクネイオン (株)	4A-605	エッペンドルフ (株)	5A-808
朝日ライフサイエンス (株)	7B-506	ETRI	4B-502
(株) アサヒ理化製作所	6B-404	(株) エヌエスピー	4A-102
アジレント・テクノロジー (株)	6A-801	NTT アドバンステクノロジー (株)	5A-603
アステック (株)	4A-805	NBIOTEK Inc	5A-602
アズワン (株)	6B-601	(株) 荏原	7A-409
(株) アタゴ	4A-204	エムエス機器 (株)	4B-505
アドバンスドエナジージャパン (株)	4A-505	(株) エリオニクス	6A-309
(株) アドバンテスト	7A-202	LNI Swissgas S.r.l.	5A-708
アドバンテック東洋 (株)	6A101、6A201	(株) エル・エム・エス	4B-303
analytica - メッセ・ミュンヘン	6A-602	エルガ・ラボウォーター (ヴェオリア・ジエネッツ (株))	4A-403
(株) アナリティクイエナ ジャパン	8A-501	エレクター (株)	6B-701
Anow Microfiltration Co., Ltd.	7A-402	エレメンター・ジャパン (株)	4A-305
アメテック (株)	7B-301	(株) 大阪ソーダ	7A-304
アラム (株)	8A-307	大塚電子 (株)	8A-202、8A-301
アルバック・ファイ (株)	5A-401	(株) 岡野製作所	6B-402
アルファサイエンス (株)	6B-405	(株) オカムラ	7A-801
アルファ・モス・ジャパン (株)	5A-705	オーシャンフォトニクス (株)	6B-705
アワーズテック (株)	4B-704	オックスフォード・インストゥルメンツ (株)	6A-501
(株) アントンパール・ジャパン	5A-301	オリオン (株)	5A-405、5A-501
アンリツインフィビス (株)	7B-405	オリンパス (株)	7A-701
安立計器 (株)	7B-505	オルガノ (株)	7A-405
(株) イアス	8A-306	(一財) 化学物質評価研究機構	8A-308
ionBench	5B-408	笠原理化工業 (株)	6B-804
イカ・ジャパン (株)	6B-507	檜山工業 (株)	6B-803
(株) 池上精機	5A-801	(株) ガステック	6A-604
(株) 池田理化	6B-602	(株) カノマックスコーポレーション	4B-304
(株) イチネンジコー	6B-409	(株) 神村製作所	5A-405、5A-501
入江 (株)	8A-708	カールツァイス (株)	7B-402
インフィコン (株)	4A-101	(株) 河口・サポート	8A-603
ヴァーダー・サイエンティフィック (株)	5A-506	カワソーテクセル (株)	4B-306
(株) ウエルコ	6B-403	(株) 北浜製作所	4B-410
(株) エアーテック	8A-801	(株) キッツマイクロフィルター	5B-306
エア・リキード工業ガス (株)	8A-602	(株) キャニオン	4B-702
		キヤノンマーケティングジャパン (株)	7B-502

京都科学機器協会	5A-405、5A-501	ジェー・エー・ウーラム・ジャパン (株)	8A-303
京都樹脂精工 (株)	5A-405、5A-501	ジーエルサイエンス (株)	7A-901
京都電子工業 (株)	4B-601	シエンタ オミクロン (株)	7A-401
京都理化学器械 (株)	5A-405、5A-501	CKD (株)	6A-605
(株) 共立理化学研究所	5B-401	(株) シゲミ	4B-402
協和界面科学 (株)	5A-605	Systech (株)	5A-804
(有) 桐山製作所	6A-608	システム・インスツルメンツ (株)	7A-706
久保田商事 (株)	8A-601	(株) システムズエンジニアリング	8A-203
(株) クボプラ	4A-304	GTR テック (株)	4A-504
Glass Expansion Pty. Ltd.	4A-306	(株) シナガワ	5A-502
(株) クローネ	5A-703	(株) シバサキ	8A-309
クロマテクノロジジャパン (同)	5B-403	柴田科学 (株)	7A-505
(株) クロマニックテクノロジーズ	4B-401	GVS ジャパン (株)	5B-402
(株) ケイジパック	5A-405、5A-501	(株) 島津アクセス	7B-601
(株) ケー・エヌ・エフ・ジャパン	6A-606	島津サイエンス東日本 (株)	7B-601
ゲステル (株)	6A-701	島津サイエンス西日本 (株)	7B-601
(株) ケツト科学研究所	5A-304	(株) 島津ジーエルシー	7B-601
KETEK GmbH	8A-702	(株) 島津製作所	7B-601、7B-701
ケニス (株)	4B-604	(株) 島津テクノリサーチ	7B-601
ゲルハルトジャパン (株)	7A-705	(株) 島津理化	7B-601
現代マイクロ (株)	6B-203	ジャスコインタナショナル (株)	4A-205、4A-301
工機ホールディングス (株)	7B-203	ジャスコエンジニアリング (株)	4A-205、4A-301
光明理化学工業 (株)	5A-302	ジャパンハイテック (株)	5A-702
光洋サーモシステム (株)	5B-307	ジャパンマシナリー (株)	7B-501
(株) コクゴ	6B-501	昭光サイエンス (株)	6B-301
コスモ・テック (株)	7A-410	商船三井テクノトレード (株)	8A-707
コフロック (株)	5A-704	昭和オプトロニクス (株)	8A-504
SCIEX	8A-901	昭和電工 (株)	6B-301
(株) サイテック	7B-104	新光電子 (株)	5A-707
(株) サイニクス	5A-403	新コスモス電機 (株)	6B-401
(株) 佐久間製作所	7B-406	新東科学 (株)	5A-406
(株) 佐藤計量器製作所	8A-804	(株) 杉藤	6A-408
佐藤真空 (株)	6A-703	Starna	7A-404
サーパス工業 (株)	5B-502	(株) スペクトラ・コープ	7A-406
サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	8A-101、8A-201	スペクトリス (株)	
(株) サヤカ	4B-503	マルバーン・パナリティカル事業部	5A-601
ザルスタット (株)	7A-503	(株) 住化分析センター	4B-406
ザルトリウス・ジャパン (株)	7A-403	SUNJE	4B-602
(有) 三協インターナショナル	6B-303	生化学工業 (株)	4A-501
(株) 三啓	4B-504	西進商事 (株)	6B-202
(株) サンコウ電子研究所	6A-202	セントラル科学 (株)	5B-405
(株) 三商	4A-202	(株) セントラル科学貿易	7A-501
三洋貿易 (株)	7B-503	(株) 相馬光学	7A-306
CEM Japan (株)	5B-703	耐圧硝子工業 (株)	6A-307
GE ヘルスケア・ジャパン (株)	4A-408	(株) 大成	6A-404
JFE テクノリサーチ (株)	6A-705	(株) 大日本精機	7A-302
(株) ジェイ・サイエンス・ラボ	4A-804	(株) 大和テクノシステムズ	4B-305
		タカラバイオ (株)	8A-703

(株) タクミナ	4A-803	(国研) 日本原子力研究開発機構	5B-501
竹田理化学工業 (株)	7A-604	(株) 日本サーマル・コンサルティング	6A-204
田中科学機器製作 (株)	6B-703	日本製紙クレシア (株)	8A-311
タナカ・トレーディング (株)	4A-604	日本精密科学 (株)	6A-306
(株) ダルトン	5A-901	日本電子 (株)	4B-801
(株) チノー	6A-301	日本電色工業 (株)	7A-305
Changsha Kaiyuan Instruments Co., Ltd	6B-706	日本ビュッヒ (株)	6B-406
(株) 中央理化	4A-707	日本ブッシュ (株)	7B-304
(株) ティー・イー・エム	7A-602	日本フリーザー (株)	6A-702
T H K (株)	6B-901	日本分光 (株)	5A-101、5A-201
(株) 汀線科学研究所	5B-301	日本分析工業 (株)	7B-305
テカンジャパン (株)	8A-607	日本ポール (株)	8A-901
(株) テクノアート	4A-503	日本ルフト (株)	4A-404
DIGITAL SURF	6A-409	(株) 日本レーザー	5B-503
デンケン・ハイデンタル (株)	4B-411	(株) ニューメタルス エンド ケミカルス コーポレーション	4A-808
東亜ディーケーケー (株)	4B-301	ネッチ・ジャパン (株)	4B-701
東機産業 (株)	5A-505	野村化学 (株)	7B-105
(株) 東京インスツルメンツ	6B-505	(株) バイオクロマト	4B-708
東京硝子器械 (株)	5A-706	バイオタージ・ジャパン (株)	4A-405
東京理化学器械 (株)	6A-504	(株) バイオメディカルサイエンス	4A-507
東ソー (株)	7B-401	(株) ハイドロネクスト	6B-807
(株) 東陽テクニカ	5A-303	(株) パーカーコーポレーション	4A-801
トスク (株)	4A-502	(株) バキューブランドサイエンティフィック ジャパン	5B-305
特許機器 (株)	8A-802	(株) パーキンエルマー・ジャパン	4A-105
トプティカフォトリクス (株)	4B-407	パーク・システムズ・ジャパン (株)	4B-706
(株) トーホー	4A-401	伯東 (株)	5A-802
トーマス科学器械 (株)	4B-403	(株) パパラボ	8A-606
(株) トミー精工	7B-103	浜松ホトニクス (株)	6B-304
(株) トムシツク	5B-407	ハミルトン・カンパニー・ジャパン (株)	4A-501
(株) トヤマ	6A-304	林 純薬工業 (株)	4B-307
富山産業 (株)	7A-603	ハリオサイエンス (株)	4A-703
トランステック (株)	5A-807	ハルツォク・ジャパン (株)	6A-601
トレイジャン サイエンティフィック ジャパン (株)	8A-507	HANGZHOU BIOER TECHNOLOGY CO., LTD	8A-302
中村科学器械工業 (株)	8A-505	PHC (株) / PHCbi (旧パナソニックヘルスケア (株))	5A-701
中山商事 (株)	6B-808	ビー・イー・エス (株)	4B-405
長良サイエンス (株)	4A-602	ビーエルテック (株)	4A-701
名古屋科学機器 (株)	6B-402	ピークサイエンティフィックジャパン (株)	7A-601
ナノフォトン (株)	4A-609	ビスコテック (株)	8A-401
西川計測 (株)	6A-704	日立化成テクノサービス (株)	5B-701
日理工業 (株)	6A-308	(株) 日立ハイテクサイエンス	5B-801
(株) ニチリョー	7B-507	(株) 日立ハイテクノロジーズ	5B-801
(株) ニッカトー	7B-504	WITec (株)	8A-807
日陶科学 (株)	4A-704	(株) ビートセンシング	5A-304
日邦プレジジョン (株)	8A-808	ビーム (株)	4A-103
日本インスツルメンツ (株)	7A-203	平沼産業 (株)	5B-801
日本インテグリス (株)	6B-802		
日本ウォーターズ (株)	7B-101、7B-201		
日本カンタム・デザイン (株)	8A-506		

(株) 平山製作所	8A-701	矢部川電気工業 (株)	4A-802
VICI AG International	8A-704	(株) 山崎精機研究所	5A-405、5A-501
Photometrics	6A-203	ヤマト科学 (株)	4B-101
福島工業 (株)	6B-504	(株) ヤヨイ	6B-702
(株) フジキン	4A-302	(株) ユニフレックス	5A-404
富士通 (株)	6A-607	ユラボジャパン (株)	5B-304
(株) 藤原製作所	4A-702	ライカ マイクロシステムズ (株)	8A-901
(株) FUSO	4A-201	ラボソルテック (同)	4A-601
二九精密機械工業 (株)	5A-405、5A-501	ラボテック (株)	8A-705
(国研) 物質・材料研究機構	4A-402	ラボラボカンパニー (株)	7B-102
プライアー・サイエンティフィック (株)	7A-303	Randox Laboratories Ltd	8A-402
ブルカージャパン (株)	5B-201、5B-303	(株) リガク	7A-101
フレキシム	4A-607	理研計器 (株)	4A-004
Protochips	4B-705	(株) 離合社	4A-608
プロトマニュファクチュアリング (株)	7A-407	(株) 菱光社	8A-310
フロン工業 (株)	8A-305	(株) リンテック	4A-610
ベックマン・コールター (株)	8A-901	(株) ルドルフ・リサーチ・アナリティカル・ジャパン	4A-705
ペリージョンソン ラボラトリー			
アクレディテーション インク	4A-606	レオナ (株)	5B-304
北海道大学グローバルファシリティセンター	5B-505	LECO ジャパン (同)	6A-205、6A-305、
(株) 堀場アドバンスドテクノ	6B-101、6B-201	Restek コーポレーション	7A-702
(株) 堀場製作所	6B-101、6B-201	レニショー (株)	6B-506
(株) 堀場エステック	6B-101、6B-201	(株) ロゼッタ	5A-305
(株) マイクロエミッション	4A-001	(株) ワイエムシィ	5B-406
(株) マイクロサポート	6B-206		
(株) マイクロテック・ニチオン	5A-604		
マイクロトラック・ベル (株)	7A-703		
マイルストーンゼネラル (株)	4B-501		
マックエンジニアリング (株)	6A-405		
松定プレジジョン (株)	4B-201		
マテリオンブラッシュジャパン (株)	6A-403		
(株) マルエム	6A-402		
(株) 三菱ケミカルアナリテック	5B-101		
(株) ミトリカ	5B-702		
(株) 村上色彩技術研究所	8A-403		
(株) 村山電機製作所	5B-404		
メイワフォーシス (株)	6A-401		
メトラー・トレド (株)	4A-409		
メトロームジャパン (株)	4B-204		
メルク (株)	6B-704		
Moxtek, Inc.	4A-203		
MOTIC HONG KONG LTD.	8A-508		
モレキュラーデバイスジャパン (株)	8A-901		
文部科学省 先端研究基盤共用促進事業	5B-504		
文部科学省 ナノテクノロジープラットフォーム			
微細構造解析プラットフォーム	4B-707		
(株) ヤガミ	8A-701		
安井器械 (株)	4A-303		

■ JST ブース

(国研) 科学技術振興機構 5B-601

■ 産総研ブース

(国研) 産業技術総合研究所 8A-405

■ mini/ソリューション展示コーナー

旭日興産 (株) S-12
(株) 朝日ラボ交易 S-20
(株) アド・サイエンス S-21
イノベーションサイエンス (株) S-26
(同) エヌワイラボ S-34
エレコン科学 (株) S-32
大川光学 S-35
(株) 大葉技研 S-2
QMAIL S-18
京セラ (株) S-23

構造解析連携協議会	S-4	(株) 協同インターナショナル	AB-19
サンインストゥルメント (株)	S-19	金陵電機 (株)	AB-13、AB-14
(株) 三永電機製作所	S-9	Gwydion Inc.	AB-87
篠原電機 (株)	S-10	KM3 Scientific Corporation	AB-18
スペクトラ・クエスト・ラボ (株)	S-30	(特非) 研究実験施設・環境安全教育研究会	AB-67、AB-68
SAW&SPT-Tech (有)	S-33	(一社) 再生医療イノベーションフォーラム	AB-65
(株) 塚原製作所	S-15	佐竹化学機械工業 (株)	AB-15、AB-16
(株) 東京エム・アイ商会	S-3	(有) シーアンドアイ	AB-55、AB-56
東京ダイレック (株)	S-11	JNC (株)	AB-45、AB-46
(株) ナノシード	S-36	JPK インストゥルメンツ AG	AB-53、AB-54
日本アッシュ (株)	S-17	(株) システム計画研究所	AB-63、AB-64
日本ビジュアルサイエンス (株)	S-24	シチズンファインデバイス (株)	AB-57、AB-58
ノイベルク (有)	S-16	(株) じほう	AB-59
バイオ・ラッド ラボラトリーズ (株)	S-5	(株) 島津製作所	AB-23
フィルジェン (株)	S-29	湘南ヘルスイノベーションパーク	D-1、D-2
フィルメトリクス (株)	S-37	情報計算法学生物学会 (CBI 学会)	AB-86
(一財) 三重県環境保全事業団	S-22	昭和電工 (株)	AB-29
ヤマキ電器 (株)	S-6	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	AB-42
ヤマト物流 (株)	S-1		
(株) ユニオン	S-7	スリーアールソリューション (株)	C-9
WILEY	S-25	(株) 生体分子計測研究所	AB-37、AB-38
		製薬企業 4 社公募説明コーナー	AB-73
		創薬のひろば	AB-74
		(株) テクノスルガ・ラボ	AB-6
		テクノポート (株)	C-10
		東亜ディーケーケー (株)	AB-17
		東京理科大学	AB-43、AB-44
		トーリ・ハン (株)	AB-60
		(株) ナード研究所	AB-41
		(公社) 日本生化学会	AB-77
		(公社) 日本生物工学会	AB-78
		日本電子 (株)	AB-24
		(一社) 日本臨床検査機器・ 試薬・システム振興協会 (JACLaS)	AB-27、AB-28
		(一社) 日本臨床検査薬協会	AB-75、AB-76
		ノーザンサイエンスコンサルティング (株)	AB-25、AB-26
		Biocosm (株)	AB-35
		BioJapan / 再生医療 JAPAN 2018	AB-61、AB-62
		(特非) バイオチップコンソーシアム	C-6
		Biotechnology and Pharmaceutical Industries Promotion Office, Ministry of Economic Affairs, Taiwan.	AB-80
		(株) バイオネット研究所	AB-31
		Hanil Scientific Inc.	C-4
		(株) 日立ハイテクノロジーズ	C-7
		BD コンサルティング (同)	AB-83
		(株) フォーディクス	AB-36

■ライフサイエンスイノベーションゾーン

ifia/HFE JAPAN2019 国際食品素材 / 添加物展・会議 / ヘルスフードエキスポ	AB-79
アカデミスト (株)	AB-49
(株) 朝日ラバー	AB-32
(株) ASICON /microfluidic ChipShop	AB-69、AB-70
アドバンテック東洋 (株)	AB-10
(株) アプリオリ	AB-9
(株) アプロサイエンス	AB-7、AB-8
(株) アルバック	AB-71、AB-72
アルバック成膜 (株)	AB-66
アンドール・テクノロジー Ltd	AB-30
いわき商工	AB-3、AB-4
(株) インナーリソース	AB-85
エクリプス ビジネスメディア	AB-20
エナゴ	AB-84
NOK (株)	C-8
N Tサイエンス (同)	AB-39、AB-40
(株) エマージングテクノロジーズ	C-11
(株) エル・イー・テクノロジーズ	C-5
(株) エンテックス	C-12
(株) オプティマ	C-1
関東化学 (株)	AB-33、AB-34

(株) ブラスト	AB-1、AB-2
ブルカージャパン (株)	AB-50
分子・物質合成プラットフォーム	AB-11、AB-12
(株) 堀場製作所	AB-21、AB-22
ムロオカ産業 (株)	AB-47、AB-48
メディカテック (株)	C-2
横浜バイオ医薬品研究開発センター (YBIRD)	AB-88
ライコニック ジャパン (株)	AB-51、AB-52
(株) ライトストーン	C-3
(株) リコー	AB-81、AB-82
早稲田大学	AB-5

■研究機関コーナー

(独) 国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校 国際創造工学科 電気・電子系 若松研究室	R-2
(一財) 化学物質評価研究機構 化学標準部	R-1
神奈川大学 理学部 化学科 西本研究室	R-5
(国研) 神戸大学 木村建次郎研究室	R-7
(国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター (NMIJ)	R-1
(独) 製品評価技術基盤機構 認定センター	R-1
千葉大学共用機器センター	R-3
東京農工大学	R-6
(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門	R-4

■学協会コーナー

AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION	A-7
(一社) 東京環境経営研究所	A-3
(一社) 日本環境測定分析協会	A-1
(公社) 日本顕微鏡学会	A-8
(公財) 日本適合性認定協会	A-5
(公社) 日本分光学会	A-9
(公社) 日本分析化学会	A-6
(特非) 分析産業人ネット	A-2
(一財) 放射線利用振興協会	A-4

■メディア&プレスコーナー

instrument.com.cn	M-5
International Labmate	M-3
(株) オプトロニクス社	M-9
(株) 化学工業日報社	M-6

(株) 科学新聞社	M-2
(株) デジタルデータマネジメント	M-4
(株) 日刊工業出版プロダクション	M-7
(株) 日経サイエンス	M-10
日本工業出版 (株)	M-8
丸善出版 (株)	M-1

■国際ナショナルオーガナイゼーションコーナー

カナダ大使館	I-3
China International Scientific Instrument and Laboratory Equipment Exhibition (CISILE 2019)	I-4
Thailand Institute of Scientific and Technological Research (TISTR)	I-2
中国分析試験協会 (China Association for Instrumental Analysis)	I-1
LAB ASIA / LAB INDONESIA	I-5

■US パビリオン

アイオワ州経済開発機構	IU-2
オレゴン州政府 駐日代表部	IU-3
タイタンテクノロジー (株)	IU-7
ノースカロライナ州政府 日本事務所 PITTCON	IU-4
米国大使館 商務部	IU-6
ペンシルベニア州政府 日本投資事務所	IU-1
	IU-5

■KSIIC パビリオン

韓国科学器機工業協同組合 (KSIIC)	IK-2
ジオフィルテック	IK-3
Medikors Inc.	IK-1

■ニュージーランドパビリオン

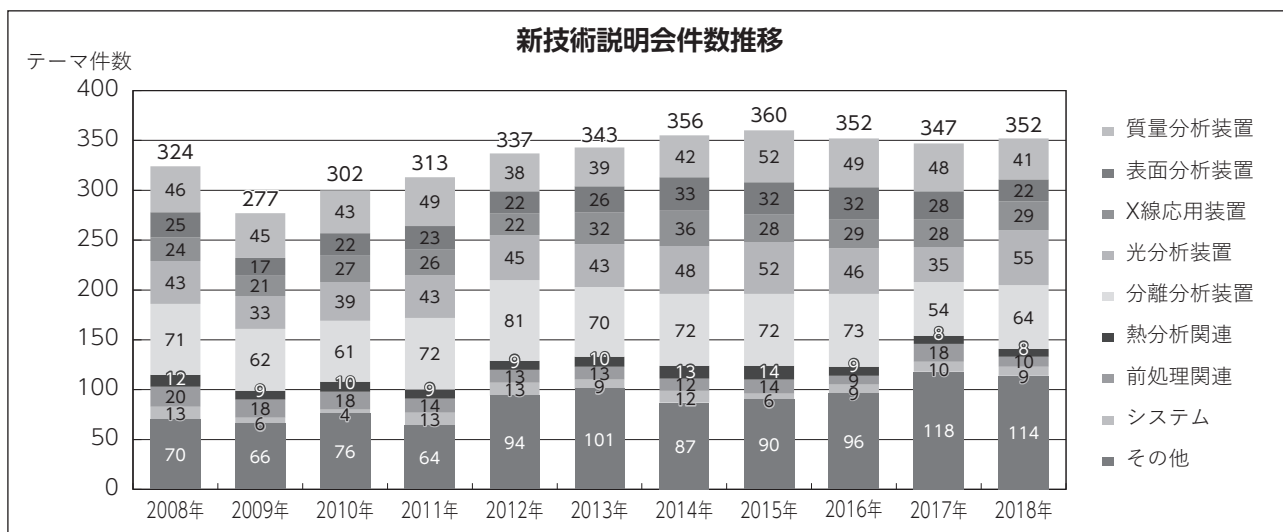
ニュージーランド大使館 商務部	IN-1
ニュージーランド大使館 貿易経済促進庁	IN-2

10. 新技術説明会

新技術説明会は、JASIS 出展社によるプレゼンテーション計 300 タイトル以上の集合体であり、延べ聴講者数は 16,000 人を超える。「分析ソリューション」の提供、すなわち製品の展示を補完するという点で、ユーザーにとって極めて重要な情報源である。例えば、分析に関する機器や操作の基礎からノウハウに至るまで、機器分析・理化学機器にかかわる様々な情報提供の場として展示会を支えており、それが JASIS 全体の集客の大きな原動力になっている。

2018 年の発表テーマ件数は 352 件（昨年 347 件）。会場は、アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張> 11 室とホテルニューオータニ幕張 6 室の計 17 室を使用。講演時間は例年通り 25 分と 50 分枠の 2 種。

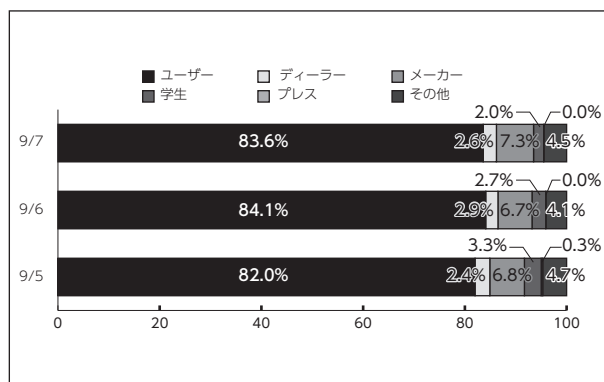
テーマを機種別分類で見ると、「その他」が最も多く 114 件 32%（昨年 118 件 34%）、次いで「分離分析」64 件 18%（54 件 16%）、「光分析」55 件 16%（35 件 10%）、「質量分析」41 件 12%（昨年 48 件 14%）という順であった。「その他」が最も多くなっているのは、これまでと同じ傾向であるが、昨年比では、これまで増加傾向であった「その他」は減少し、「光分析」「分離分析」が微増となった。



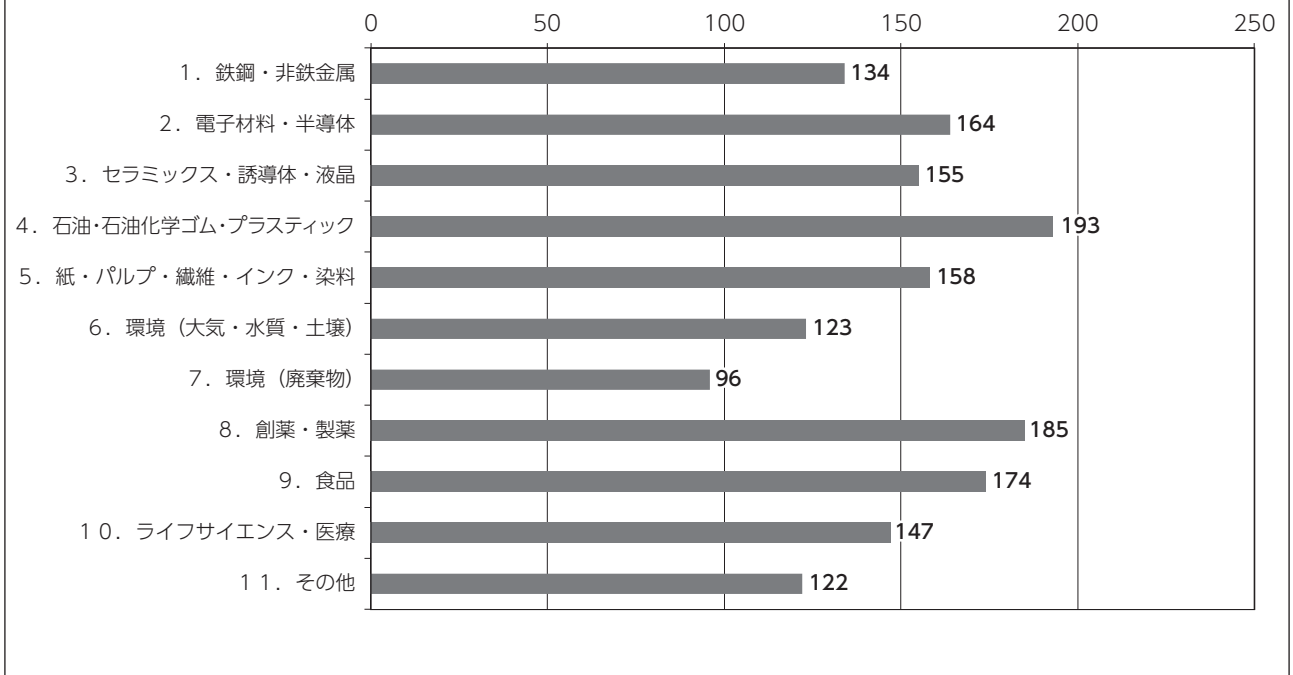
新技術説明会聴講者層

区分	区分名	9/5	9/6	9/7
1	ユーザー	2,164	2,815	3,203
2	ディーラー	77	79	101
3	メーカー	179	223	279
4	学生	87	92	76
5	プレス	7	1	1
6	その他	125	136	171
	総計	2,639	3,346	3,831

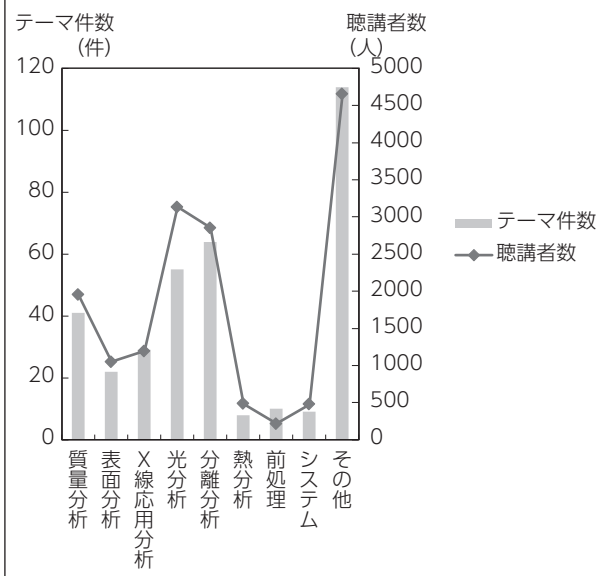
※新技術説明会の内訳は圧倒的にユーザー層が多いことは、その目的に合致している。(約 82%~84%)



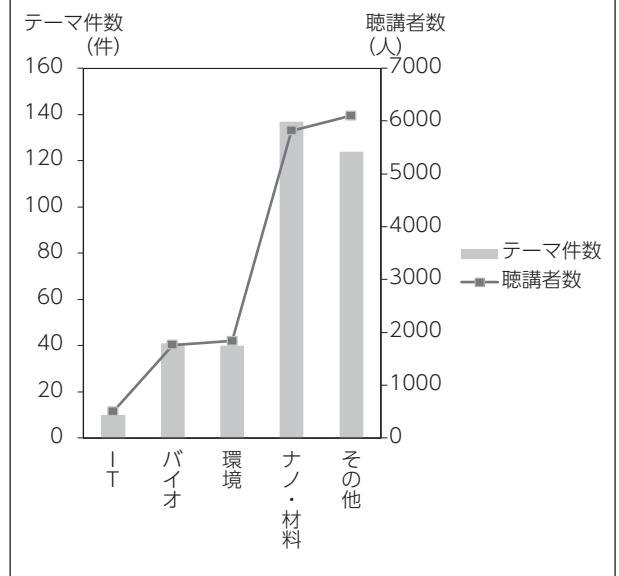
発表の対象となる物質



機種別テーマ件数と聴講者数



分野別テーマ件数と聴講者数



新技術説明会開催規模・延べ聴講者数等

	JASIS 2018	JASIS 2017	JASIS 2016
9月5日(水)(1日目)	4,758名/115テーマ	4,511名/113テーマ	4,928名/119テーマ
9月6日(木)(2日目)	5,263名/114テーマ	5,583名/116テーマ	5,448名/119テーマ
9月7日(金)(3日目)	5,996名/123テーマ	5,907名/118テーマ	5,332名/114テーマ
合計	16,017名/352テーマ	16,001名/347テーマ	15,708名/352テーマ
平均聴講者数	45.5名	46.1名	44.6名
内訳(会員)	318	303	311
(会員外)	34	44	41
テーマ数合計	352	347	352
内同時通訳テーマ数	4	4	3

新技術説明会プログラム

9月5日(水)

部屋番号 (A: アパホテル<東京ベイ幕張> N: ホテルニューオオタニ幕張)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:25~11:15	今さら聞けない、電極の基礎と滴定の基礎 ー原理からノウハウまでー	メトロームジャパン (株)	日
A-1	11:30~12:20	XPSによる表面分析の基礎とアプリケーション応用例の紹介	(株) 島津製作所	日
A-1	12:35~13:25	結晶相の同定からリートベルト定量、構造解析まで! 簡単な操作で高精度なデータが得られる、XRD (X線回折) 解析のご紹介	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-1	13:40~14:30	遂に登場!! 国産初!! 島津のQ-TOF "LCMS-9030" のご紹介	(株) 島津製作所	日
A-1	14:55~15:45	お手持ちの電子顕微鏡にプラスワン! 進化するカソードルミネッセンス (CL) の魅力と応用事例を一挙紹介	(株) 堀場製作所	日
A-1	16:05~16:30	プロの技を伝授! 困ったときの分光光度計の測定テクニック	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-2	10:25~11:15	Future of Fluorescence! 次世代三次元蛍光発光+吸収分光同時測定装置 Duetta、遂に登場!!	(株) 堀場製作所	日
A-2	11:30~12:20	有機不純物まるわかり。見逃さないCAD 検出器。正体に迫る LC-MS/MS 活用術	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-2	12:35~13:25	一から始めない、LC-MS/MS の時短農薬分析	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-2	13:40~14:30	XPS 最新事情! 最新の XPS 装置 "Nexsa" と、そのアプリケーション・事例の紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-2	14:55~15:45	最適な ICP-MS はどれか? ~ 3種の ICP-MS 徹底比較と最新のアプリケーション~	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-2	16:05~16:30	キューリーポイント Py-GC 法によるフタル酸エステル類の新しい分析法	日本分析工業 (株)	日
A-3	10:25~11:15	A I でメソッドを自動開発!! アジレントの SFC システムでラボの生産性は飛躍的に向上する	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-3	11:30~12:20	水質分析の困ったを解決! 前処理から分析までのポイントを一挙にご紹介	ジーエルサイエンス (株)	日
A-3	12:35~13:25	観たい! 知りたい! 分析したい! AFM によるナノ構造分析技術 ~ 電磁気物性と機械物性分析事例のご紹介 ~	(株) 日立ハイテクノロジーズ	日
A-3	13:40~14:30	ナノ領域に革新的な技術をもたらす次世代型 AFM システムのご紹介	パーク・システムズ・ジャパン (株)	日
A-3	14:55~15:45	☆もっと見える♪もっとわかる♪☆ FE-SEM 観察の最前線	(株) 日立ハイテクノロジーズ	日
A-3	16:05~16:30	EDX と FTIR による異物解析 - こんな異物あんな異物	(株) 島津製作所	日
A-4	10:25~11:15	不純物を見逃していませんか? 不純物の検出から相対定量のワークフローとコツ (ノウハウ) を伝授します!	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-4	11:30~12:20	【正しく知ろう】溶液中の高分子、タンパク質のサイズを新技術で計測! -Taylor 分散法・SEC-LS 法・SAXS 法	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A-4	12:35~13:25	超高感度分析を実現するマイクロ流量対応 LC のご紹介	(株) 島津製作所	日
A-4	13:40~14:30	分散系の新しいレオロジー特性評価法 ~ 正しい条件で評価していますか? ~	三洋貿易 (株)	日
A-4	14:55~15:45	μg から g まで。一新したアジレント分取 LC と MS による purification ノウハウのすべて	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-4	16:05~16:30	新製品 GC/MS/MS を用いた食品分析	日本ウォーターズ (株)	日
A-5	10:25~11:15	AFM イメージにおける多次元ナノスケール情報 DataCube mode の可能性	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-5	11:30~12:20	防曇処理において、従来成し得なかった曇りのプロセスの解明を新発想の評価手法で実現し、お客様の開発や品質向上に貢献します。	協和界面科学 (株)	日
A-5	12:35~13:25	新製品・多検体ナノ粒子径測定システム "nanoSAQLA" のご紹介	大塚電子 (株)	日
A-5	13:40~14:30	食品分析における "必要性の高いクリーンアップ" について考えてみませんか? (HPLC・GC 分析編)	ジーエルサイエンス (株)	日
A-5	14:55~15:45	【ベストな測定方法が見つかる!】レーザ回折・散乱法、動的光散乱法、粒子トラッキング法によるサブミクロン粒子評価	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A-5	16:05~16:30	【卓上型 NMR】picoSpin シリーズ II の活用術 ~ 分子構造解析をより身近に ~	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-6	10:25~11:15	赤外スペクトルの解析でお困りのお客様へ 解析の工夫とスペクトルの読み方	(株) 島津製作所	日
A-6	11:30~12:20	分析に用いる超純水の使用上の注意点	エルガ・ラボウォーター (ヴェオリア・ジェネッツ (株))	日
A-6	12:35~13:25	DI 対策の切り札登場! クロマトとそれ以外のデータを一元管理できる「OpenLab ECM-XT」	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-6	13:40~14:30	HPLC 基礎から UPLC 理論まで	日本ウォーターズ (株)	日
A-6	14:55~15:45	意外と知らない! ? 理化学用ガラス器具の正しい知識と取り扱い	柴田科学 (株)	日
A-6	16:05~16:30	パルス NMR による高濃度微粒子分散系、微粒子界面の評価および粉体の結晶性評価	日本ルフト (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-7	10:25~10:50	¹ H&2D モデルおよび ¹ H& ¹³ C&2D モデルが新登場！卓上 NMR の最前線！	ジャスコインタナショナル (株)	日
A-7	11:05~11:30	True Surface: 共焦点ラマン顕微鏡で凹凸の大きな試料を高分解能で観察する	WITec (株)	日
A-7	11:45~12:10	超高速 SEC(GPC)-MALS システムの紹介	昭光サイエンス (株)	日
A-7	12:25~12:50	ここまでわかる！微小異物分析で使えるラマン分光イメージング活用事例	ナノフォトン (株)	日
A-7	13:05~13:30	その時、香りはどう動く？ ~揮発性物質分析用 DART-MS ~	(株) バイオクロマト	日
A-7	13:45~14:10	最新イメージング・ラマン分光装置を用いた工業材料へ応用例	レニショー (株)	日
A-7	14:25~14:50	プロのノウハウ教えます。一発簡単データ解析で欲しい結果が一目瞭然！最新多変量解析	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-7	15:05~15:30	金属組成分析や不純物分析でお困りですか？蛍光 X 線装置は前処理無し の非破壊測定です	(株) 三菱ケミカルアナリテック	日
A-7	15:45~16:10	ラマンイメージングが身近になった！ ~測定便利機能と、解析お助けツールのご紹介~	ナノフォトン (株)	日
A-8	10:25~10:50	ハイエンド GC-MS の最新トレンド、ここまで来た！誰でも簡単ノンターゲット定性分析	日本電子 (株)	日
A-8	11:05~11:30	ナノ・微粒子の粒度分布測定および分散、凝集・粗大粒子測定の基礎 ~定量測定の基本~	日本インテグリス (株)	日
A-8	11:45~12:10	より早く、より高度な分析が可能に！ - X 線回折装置 新型 SmartLab のご紹介	(株) リガク	日
A-8	12:25~12:50	シンクロトロンをお手元に！ ~高輝度 X 線源を搭載した次世代ラボ機のご紹介~	キヤノンマーケティングジャパン (株)	日
A-8	13:05~13:30	電子スピン共鳴 (ESR) 法による材料の評価	日本電子 (株)	日
A-8	13:45~14:10	最高水準の分解能と最も完全な生体力学アプリケーションを備えた BioAFM 最新情報	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-8	14:25~14:50	光散乱法を用いたバイオ医薬品の安定性評価	昭光サイエンス (株)	日
A-8	15:05~15:30	新製品！抜群の操作性を誇る回転式粘度計「ViscoQC」のご紹介	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-8	15:45~16:10	有機物から電子材料まで：2 波長線源搭載 X 線顕微鏡 CT が開く新しい世界	(株) リガク	日
A-9	10:25~10:50	☆あつり見えた！☆ イオン液体による新しい電顕用前処理のご紹介	(株) 日立ハイテクノロジーズ	日
A-9	11:05~11:30	☆机の上でも！すごい奴！☆ 簡単操作で観察できちゃう卓上顕微鏡のご紹介	(株) 日立ハイテクノロジーズ	日
A-9	11:45~12:10	アサイラム・リサーチ AFM を用いたその場観察の最新技術とその応用	オックスフォード・インストゥルメンツ (株)	日
A-9	12:25~12:50	DART 生誕 15 周年！発明秘話から最新アプリケーションまで	日本電子 (株)	日
A-9	13:05~13:30	樹脂の劣化分析へのアプローチ！ ~ SEM-EDS、IR、NMR を用いた分析手法のご紹介~	ジャスコエンジニアリング (株)	日
A-9	13:45~14:10	抗体医薬、ペプチド分析に適した生体試料分析用液体クロマトグラフィーカラムの紹介	東ソー (株)	日
A-9	14:25~14:50	MS による油脂サンプルの簡単迅速測定	(株) 島津製作所	日
A-9	15:05~15:30	全自動固体 NMR 測定システムの実現	日本電子 (株)	日
A-9	15:45~16:10	SEM と電子分光器を用いた反射電子 EELS による LIB やグラフェンの分析事例	日本電子 (株)	日
A-10	10:25~10:50	Shodex カラムの抗体医薬分析	昭和電工 (株)	日
A-10	11:05~11:30	ガス分析のノウハウ公開！！GC によるガス分析システム構築例のご紹介	(株) ジェイ・サイエンス・ラボ	日
A-10	11:45~12:10	今すぐ実践できる HPLC ノウハウ・メンテナンス講座~保持時間の安定性編~	ジャスコエンジニアリング (株)	日
A-10	12:25~12:50	最新の TOF-SIMS 応用事例紹介 ~工業材料を中心に~	アルバック・ファイ (株)	日
A-10	13:05~13:30	最新ガスクロマトグラフの自動化機能が実現する働き方改革	(株) 島津製作所	日
A-10	13:45~14:10	中容量の固相抽出を迅速・簡便に！ コンビニ・プレップのご紹介	(株) バイオクロマト	日
A-10	14:25~14:50	多様な細孔径と多孔質層がもたらすコアシェルカラムの分離挙動：低分子から高分子まで	(株) クロマニックテクノロジーズ	日
A-10	15:05~15:30	FLEX-Twister® を用いた SA-SBSE による食品中の親水性、極性香り成分の分析	ゲステル (株)	日
A-10	15:45~16:10	最適なソリューションを提供！間違いのない HPLC カラムの選択法	(株) 大阪ソーダ	日
A-11	10:25~10:50	カールフィッシャー水分測定法と安全なデータ管理について	メトラー・トレド (株)	日
A-11	11:05~11:30	【LC・超臨界流体抽出】ポリマー・添加剤分析への活用 ~前処理から定量まで~	日本分光 (株)	日
A-11	11:45~12:10	実験機器の IoT 化を実現。ワイヤレスシステムの実例と商品展開	ヤマト科学 (株)	日
A-11	12:25~12:50	バイオ医薬品の特性解析を指向した LC カラム選択法と分離例の紹介	(株) ワイエムシィ	日
A-11	13:05~13:30	弊社独自の 2 μ mHPLC 充填カラムと汎用 UV 検出法の工夫及び超高純度標準品試薬の開発	長良サイエンス (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-11	13:45~14:10	【FTIR・ラマン】今日から使える解析ノウハウ ～データの処理から解釈まで～	日本分光 (株)	日
A-11	14:25~14:50	熱分析装置を用いたポリマーの熱安定性・劣化評価のあらたなアプローチ	メトラー・トレド (株)	日
A-11	15:05~15:30	こんなことができる！耐アルカリ性カラムによる HPLC 及び LC/MS 分析の最新情報	(一財) 化学物質評価研究機構	日
A-11	15:45~16:10	LC や GPC ではない、高分子や粒子を分離分析できる FFF ってご存知でしょうか？	旭テクネイオン (株)	日
N-1	10:25~10:50	前処理不要！ポリマーの重合、架橋状態の迅速評価	ブルカー・ジャパン (株)	日
N-1	11:05~11:30	正しく計量できない原因「静電気」ーより高速に静電気を除去ー	(株) エー・アンド・デイ	日
N-1	11:45~12:10	泡試験機 DFA100 による泡の客観評価法 ～ポンプフォーム評価事例の紹介～	三洋貿易 (株)	日
N-1	12:25~12:50	熱分析・熱物性でできる硬化性樹脂の硬化挙動と物性評価・構造解析	ネッチ・ジャパン (株)	日
N-1	13:05~13:30	時代の最先端を行くマイクロ波試料分解装置 UltraWAVE の事例紹介	マイルストーンゼネラル (株)	日
N-1	13:45~14:10	もう苦労しません！ものの特定と解析法ーロットや産地割り出しと分析結果のまとめかた	(株) パーキンエルマー・ジャパン	日
N-1	14:25~14:50	Li-ion 電池の電解液透過度測定について	GTR テック (株)	日
N-1	15:05~15:30	決め手は温度！マイクロ波酸分解処理における完全溶液化のコツ	マイルストーンゼネラル (株)	日
N-1	15:45~16:10	粒子分散性に関わる物性評価手法、粘度・長期安定性・表面張力・粒度分布・粉体流動	英弘精機 (株)	日
N-3	10:25~11:15	☆基礎編☆ いまさら聞けない分離システム！ LC/MS、CE/MS その特徴と分析例	サイエックス	日
N-3	11:30~12:20	意外と知らなかった上手な pH 測定！ 精度よく測定するためのポイントのご紹介	(株) 堀場アドバンスドテクノ	日
N-3	12:35~13:25	分光光度計に関するお困りごとを解決します。 ～分光光度計の基礎とテクニック～	(株) 島津製作所	日
N-3	13:40~14:30	最新ガスクロマトグラフによる微量分析技術を一挙ご紹介	(株) 島津製作所	日
N-3	14:55~15:20	ラムンスペクトル測定法の局法追補による医薬品原料受け入れ確認試験の最新展開	(株) リガク	日
N-4	10:25~11:15	必ず分析精度が向上する ◆マイクロピペットの基本テクニック◆ 2018	ジーエルサイエンス (株)	日
N-4	11:30~12:20	【FT-IR・基礎】初めての方も毎日使う方も！ FT-IR の能力を最大限に発揮させるための測定のヒント	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-4	12:35~13:25	☆基礎編☆ これでわかる LC/MS！ イオン化から質量分離まで	サイエックス	日
N-4	13:40~14:30	安全確保と省エネを同時に実現する研究所向け給排気システム	ヤマト科学 (株)	日
N-4	14:55~15:20	次世代計測システム「XDimensus 300」の基礎から既存 3D スキャナーとの比較まで	(株) 島津製作所	日
N-5	10:25~10:50	理化学機器向け空調について 輻射・対流ハイブリッド方式のご案内	日本電子 (株)	日
N-5	11:05~11:30	水俣条約からの法整備に基づいた水銀測定ニーズに対応！還元気化水銀測定事例のご紹介	日本インスツルメンツ (株)	日
N-5	11:45~12:10	“イオンクロマトグラフ” こんなときどうする？	東亜ディーケーケー (株)	日
N-5	12:25~12:50	精度の高い計量結果を得る為に 計量に影響を与える様々な外的要因と対処方法	メトラー・トレド (株)	日
N-5	13:05~13:30	リン脂質と脂質を簡単に除去できるサンプル前処理ソリューション	日本ウォーターズ (株)	日
N-5	13:45~14:10	画像式粒度分布装置の最前線！最新の粒子径・粒子形状・粒子画像・測定事例のご紹介	ヴァーダー・サイエンティフィック (株)	日
N-5	14:25~14:50	こんなところに使える！テラヘルツ波を用いた膜厚・密度の非破壊計測	(株) アドバンテスト	日
N-6	10:25~10:50	必見！文書管理業務のデータインテグリティ対応と効率化へのアプローチ	(株) 池田理化	日
N-6	11:05~11:30	信頼性向上！品質データ管理ソリューション (LIMS) の紹介！ New「コンパクト WeLS」発表！	西川計測 (株)	日
N-6	11:45~12:10	医薬品分析における試薬および標準物質選択のポイント	メルク (株)	日
N-6	12:25~12:50	食品のブランドを守れ！実は難しい同位体比分析による食品産地・原材料判別	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-6	13:05~13:30	◆空隙評価の新技術◆サブナノサイズの微小空隙を簡単評価！陽電子寿命測定法のご紹介	(株) 池田理化	日
N-6	13:45~14:10	簡単！迅速！高効率！燃焼法たんばく質分析の最先端 928 シリーズ新発売！	LECO ジャパン (同)	日
N-6	14:25~14:50	1 台で硬度、スクラッチ、摩耗、3D プロファイルの測定が可能！メカニカルテスターの性能及び応用例の紹介	(株) 日本サーマル・コンサルティング	日
N-6	15:05~15:30	95% Quantum Efficiency Cameras and Computational Imaging for Next Generation Analytical Instruments.	Photometrics	英

9月6日(木)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:25~11:15	【UV-Vis】分光光度計の正しい使い方を伝授 ～原理と測定法の理解で測定結果に自信を～	日本分光(株)	日
A-1	11:30~12:20	環境や食品などのアプリケーションでの最適な無機分析装置の選び方	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-1	12:35~13:25	これで解決! ICP 発光分析と ICP 質量分析でよくある質問とその回答	(株) 島津製作所	日
A-1	13:40~14:30	☆基礎編☆ これでわかる LC/MS! イオン化から質量分離まで	サイエックス	日
A-1	14:55~15:45	高分子(球晶、相構造)の評価に有用な、小角光散乱装置の紹介	大塚電子(株)	日
A-1	16:05~16:30	ルーチン分析から研究用途まで 新型 FT-IR 分光計とバリデーション対応ソフトの紹介	ブルカー・ジャパン(株)	日
A-2	10:25~11:15	待望の新型 μ XRF XGT-9000 が遂に登場! 異物や成分分析、不良解析等、非破壊での迅速スクリーニングに大活躍	(株) 堀場製作所	日
A-2	11:30~12:20	高性能 WDX による最新の測定事例と定量分析の進化	(株) リガク	日
A-2	12:35~13:25	【ここが肝心!! 蛍光 X 線分析のコツ】最適な前処理のノウハウ、高精度分析に必要なハードウェア、測定条件設定の留意点とは?	スペクトリス(株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
A-2	13:40~14:30	各種質量分析計の使い分けのポイント	(株) 島津製作所	日
A-2	14:55~15:45	気軽に使える μ XRF はどこまで便利に、軽元素の感度はどうなの? 原理から最新の応用まで教えます。	ブルカー・ジャパン(株)	日
A-2	16:05~16:30	輸送機軽量化や低炭素化に採用される CFRP と LiB の動的イメージング試験事例紹介	(株) 島津製作所	日
A-3	10:25~11:15	FIB-SEM の基礎から最新機種 Ethos NX5000 のご紹介	(株) 日立ハイテクノロジーズ	日
A-3	11:30~12:20	Laser-SNMS/FIB-TOF-SIMS “FILMER” 及び走査型透過 X 線顕微鏡 (STXM) の紹介	(株) トヤマ	日
A-3	12:35~13:25	LC 一体型の高性能トリプル四重極 LC/MS、Ultivo (アルティオ) の革新的なテクノロジーと最新アプリケーション	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-3	13:40~14:30	フェムト秒レーザーアブレーションを用いた固体試料分析の新展開	伯東(株)	日
A-3	14:55~15:45	EDS 分析は新たな時代へ ~ AZtecLive/UltimMax ~	オックスフォード・インストゥルメンツ(株)	日
A-3	16:05~16:30	たった数秒でサンプルを判断 ～直接イオン化法による質量分析～	日本ウォータース(株)	日
A-4	10:25~11:15	高速多点レーザーアブレーション ICP-MS が切り拓く新たな微量元素分析 ~ 固体試料の定量分析とイメージング分析 ~	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-4	11:30~12:20	知ってびっくり逆相カラムの新常識! C18、C8、C30 何が違う? どう違う? それとも同じ?	(株) クロマニックテクノロジーズ	日
A-4	12:35~13:25	広がるイオン分析手法、IC-MS	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-4	13:40~14:30	観たい! 知りたい! 測りたい! を解決します。3D ナノ形状計測 (プローブ顕微鏡 / 三次元光干渉計測システム) 最新アプリのご紹介	(株) 日立ハイテクノロジーズ	日
A-4	14:55~15:45	走査型プローブ顕微鏡 (SPM) による物性評価の基礎的な手法と 固液界面評価の最新技術	(株) 島津製作所	日
A-4	16:05~16:30	2017 年ノーベル化学賞受賞 クライオ電子顕微鏡法 - タンパク質構造解析の最前線 -	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-5	10:25~11:15	アジレントだからできる! 前処理と Hilic カラムのコラボレーション	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-5	11:30~12:20	最新のガス・水蒸気・VOC Vapor 液体バリア性透過度測定装置について	GTR テック(株)	日
A-5	12:35~13:25	FFF 法、光散乱法を用いたナノ粒子の粒度分布及びゼータ電位測定 - 精密分析から高速自動分析まで	昭光サイエンス(株)	日
A-5	13:40~14:30	今年のキーワードは「ラボ効率化」 ~ 誰でもできる生産性改善 LC ケーススタディ !! MS の有効活用をしたい方も必見!	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-5	14:55~15:45	誰もがエキスパート! アジレントが提供する材料などからの発生ガス分析ソリューション	アジレント・テクノロジー(株)	日
A-5	16:05~16:30	~ ODS での分離にお困りの方に ~ 高極性化合物分離への Best 2nd Choice	(株) 大阪ソーダ	日
A-6	10:25~11:15	LC/MS 分析をより良くするためのノウハウを提供	(株) 島津製作所	日
A-6	11:30~12:20	赤外スペクトルの解析でお困りのお客様へ 解析の工夫とスペクトルの読み方	(株) 島津製作所	日
A-6	12:35~13:25	こんなこともできる!! カラムを活かせば分離が改善 ★逆相 HPLC 分析のコツ★	(一財) 化学物質評価研究機構	日
A-6	13:40~14:30	お悩みの方へ! 上手な pH 測定 測りにくかったサンプルを測定するノウハウのご紹介	(株) 堀場アドバンスドテクノ	日
A-6	14:55~15:45	これで安心! いまさら聞けない原子吸光・ICP 発光の基礎と誤分析への対策	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	日
A-6	16:05~16:30	画像解析式ならできる! 多様なニーズに合わせた粒子径・形状分布測定のご提案	ジャスコインタナショナル(株)	日
A-7	10:25~10:50	粒子分析の最前線! 全ての粒子が持つ磁性は同粒径の異なる物性を語る	ヤマト科学(株)	日
A-7	11:05~11:30	シングルビーム FIB でもここまで出来る。キーワードは高速・三次元・自動化!	日本電子(株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-7	11:45~12:10	JIS K 0102 採用で身近になった光学式溶存酸素計の解説と応用例の紹介	東亜ディーケーケー (株)	日
A-7	12:25~12:50	より早く、より高度な分析が可能に！ — X 線回折装置 新型 SmartLab のご紹介	(株) リガク	日
A-7	13:05~13:30	プロの技を伝授！困ったときの原子吸光と ICP 発光の測定テクニック	(株) 日立ハイテックサイエンス	日
A-7	13:45~14:10	新発想の ICP 分析前処理装置エコプレシシステムの分解 / 分析例のご紹介	(株) アクタック	日
A-7	14:25~14:50	危険物・違法薬物同定用ハンドヘルドラマン分光計の最新機能について	(株) リガク	日
A-7	15:05~15:30	分析が変わる。あの手間がたった数秒に。近赤外・ラマンを使いこなすキホンの「キ」。	メトロームジャパン (株)	日
A-7	15:45~16:10	紫外可視吸光度計でのデータ完全性対応	メトラー・トレド (株)	日
A-8	10:25~10:50	タンパク質などの HPLC/UHPLC 解析法に有用な新カラムハードウェア	(株) 島津製作所	日
A-8	11:05~11:30	【はじめてみよう分取 HPLC】リサイクル法による効率的な単離精製	日本分析工業 (株)	日
A-8	11:45~12:10	ISO/IEC17025:2017 年版規格は日本の未来を支えています	ベリジョンソン ラボラトリー アクレディテーション インク	日
A-8	12:25~12:50	収差補正走査透過電子顕微鏡による 30 kV での原子分解能観察と分析の飽くなき挑戦	日本電子 (株)	日
A-8	13:05~13:30	顕微ラマン測定の基礎講座	レニショー (株)	日
A-8	13:45~14:10	簡単操作で測定からレポート作成を実現 “定量 NMR 自動分析システム”	日本電子 (株)	日
A-8	14:25~14:50	最先端 3D 非破壊観察！！ BRUKER のデスクトップ型 X 線マイクロ CT システム	ブルカージャパン (株)	日
A-8	15:05~15:30	【徹底解説】【TG-DTA-FTIR】 示差熱天秤-赤外分光 複合解析法のメリットとは	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-8	15:45~16:10	Surface Lab 7: 測定中のデータを再構築！？こんなに便利になった！	(株) 日立ハイテックサイエンス	日
A-9	10:25~10:50	IEC62321 7-2 に対応！マイクロ波加熱抽出法による六価クロム分析のコツ	マイルストーンゼネラル (株)	日
A-9	11:05~11:30	匠と極めた世界最高峰のファストイナート LC カラムについて	(株) 島津製作所	日
A-9	11:45~12:10	中容量の固相抽出を迅速・簡便に！ コンビニ・プレップのご紹介	(株) バイオクロマト	日
A-9	12:25~12:50	材料解析への新しいアプローチ ～高分解能 MS で熱分解 GC、材料表面の MS イメージング～	日本ウォーターズ (株)	日
A-9	13:05~13:30	XAFS を、ラボで。 ～放射光レベルの X 線源を搭載した XAFS ラボ機のご紹介～	キヤノンマーケティングジャパン (株)	日
A-9	13:45~14:10	最新の高速 GPC システム HLC-8420GPC EcoSEC Elite の紹介	東ソー (株)	日
A-9	14:25~14:50	材料分析を無処理で行う方法をお教えます。 ～熱脱着・熱分解 DART-MS～	(株) バイオクロマト	日
A-9	15:05~15:30	現場で使える！品質管理のための XRF 活用方法	日本電子 (株)	日
A-9	15:45~16:10	Shodex ポリマー系 HILIC カラムが広げる親水性物質分析の新しい可能性	昭和電工 (株)	日
A-10	10:25~10:50	粘度測定の新しいスタイル！ ～回転粘度計・多検体自動測定システムのご紹介～	ジャスコエンジニアリング (株)	日
A-10	11:05~11:30	熱分析最前線～ TG/DTA でどこまで測定できるか？～	(株) 日立ハイテックサイエンス	日
A-10	11:45~12:10	粒子径・ゼータ電位測定の基礎と最新装置のご紹介	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-10	12:25~12:50	焦点移動法と独自解析ソフトが繰り広げる最速 3D 測定の世界	ブルカージャパン (株)	日
A-10	13:05~13:30	車室内の VOC ガス低減は待たなし！高感度 VOC 測定でスクリーニングが可能に	ヤマト科学 (株)	日
A-10	13:45~14:10	フィルトレーション・固相抽出のサンプル前処理ならギルソンの装置におまかせ！！	エムエス機器 (株)	日
A-10	14:25~14:50	小型卓上 MALDI-TOF 質量分析計の化成品分野における活用例	(株) 島津製作所	日
A-10	15:05~15:30	☆前処理でこんなに綺麗♪☆ SEM 試料前処理用イオンミリング装置の最前線	(株) 日立ハイテクノロジー	日
A-10	15:45~16:10	Milli-Q 使用の 10 のコツ。試験結果をコミットする上手な超純水の使い方 (入門編)	メルク (株)	日
A-11	10:25~10:50	世界初！ -196 ～ + 200℃まで動作可能な IC タグによる正確なサンプル管理システム	(株) 池田理化	日
A-11	11:05~11:30	プローブ式画像解析粒子径・形状分析装置及び新製品のご紹介	日本ルフト (株)	日
A-11	11:45~12:10	接触角 / 表面自由エネルギーによる非破壊での濡れ性及び接着性の評価法の紹介	三洋貿易 (株)	日
A-11	12:25~12:50	熱分析-高分子材料の解析に役立つ事例	(株) 島津製作所	日
A-11	13:05~13:30	pH 調整から希釈・植種液添加などの煩雑作業を含む BOD 測定の自動化技術の紹介	マイルストーンゼネラル (株)	日
A-11	13:45~14:10	必見！今更聞けないカールフィッシャー水分測定の基礎とコツ	平沼産業 (株)	日
A-11	14:25~14:50	多糖誘導体型キラル分離用カラムを用いた分析～分取精製の効率化	(株) ワイエムシ	日
A-11	15:05~15:30	熱分析を用いたバイオマス炭化物における VOC 吸着特性評価手法の紹介	(株) リガク	日
A-11	15:45~16:10	ナノ粒子のサイズコントロールと最適な分析手法の選択	日本インテグリス (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
N-1	10:25~10:50	pH 測定精度とデータ管理方法について	メトラー・トレド (株)	日
N-1	11:05~11:30	【お困り事解決】聞いた人だけ得をする！EMS方式の低粘度測定アプリケーション	京都電子工業 (株)	日
N-1	11:45~12:10	★実はこんなに簡単!?NCS社のアプリ導入事例から考える試薬管理の課題とトレンド	(株) 池田理化	日
N-1	12:25~12:50	計量証明事業所に最適な流れ分析法と酸分解前処理装置について	ビーエルテック (株)	日
N-1	13:05~13:30	20分で測定！生物発光式エンドトキシン計「ルミニッツーET」の紹介	東亜ディーケーケー (株)	日
N-1	13:45~14:10	ELISAの簡易化を実現するラボラトリーオートメーションへの取り組みと製品紹介	旭テクネイオン (株)	日
N-1	14:25~14:50	こんなところに使える！テラヘルツ波を用いた膜厚・密度の非破壊計測	(株) アドバンテスト	日
N-1	15:05~15:30	これまでなかった！高粘度サンプルをピペッティング可能な新しいチップ ViscoTip	エッペンドルフ (株)	日
N-3	10:25~10:50	新規イオン化GC/QToFによる香気成分同定と多変量解析：ライブラリーに頼らない構造推定	日本ウォーターズ (株)	日
N-3	11:05~11:30	ラマン顕微鏡における「新」マクロ測定法と応用事例紹介（開発の効率化と品質管理）	ナノフォトン (株)	日
N-3	11:45~12:35	ガスログが分かる！使える！怖くない！1から教えるGC分析「キホンのキ」	ジーエルサイエンス (株)	日
N-3	12:50~13:40	回折限界を超える顕微赤外分光装置～ナノからサブミクロンまで～	(株) 日本サーマル・コンサルティング	日
N-3	13:55~14:45	【FTIR・ラマン】今日から使える測定テクニック～目的別サンプリング&測定法ケーススタディ～	日本分光 (株)	日
N-3	15:00~15:50	ピギナーからエキスパートまで幅広くサポート。島津の最新GCMSをご紹介	(株) 島津製作所	日
N-3	15:45~16:10	微生物汚染リスクを迅速に評価。原料受入や製造工程のモニタリングが可能に	ヤマト科学 (株)	日
N-4	10:25~10:50	NMRでわかる皮膚の保湿機構	ブルカージャパン (株)	日
N-4	11:05~11:30	マトリックス要らず！MALDI装置における簡単イオン化方法のご提案	浜松ホトニクス (株)	日
N-4	11:45~12:35	なっとく！質量分析の基礎知識！！	日本電子 (株)	日
N-4	12:50~13:40	今までできないと思っていた測定ができた！HORIBAからの新提案：粒度分布計の常識を覆す測定手法を一挙ご紹介	(株) 堀場製作所	日
N-4	13:55~14:45	レオメーターを用いた、新たな複合解析技術による材料特性評価を紹介！	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-4	15:00~15:50	「HPLC分析における分離改善のノウハウ2018」	ジーエルサイエンス (株)	日
N-5	10:25~10:50	流動電位測定法による表面改質・表面処理・吸着挙動の評価方法	(株) アントンパール・ジャパン	日
N-5	11:05~11:30	滴定、導電率、KF水分計におけるデータインテグリティ対策	メトロームジャパン (株)	日
N-5	11:45~12:35	栄養成分の分析を“安全”、“簡単”に！ヒヤリ・ハットの経験はありませんか？！	日本ビュッヒ (株)	日
N-5	12:50~13:40	「勇気を持って！酸分解！ダメな装置との別れ方」	ジーエルサイエンス (株)	日
N-5	13:55~14:45	【もうレーザ回折で悩まない】画像式粒子解析の基礎と応用 - 新製品・モフォロギ4-	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
N-5	15:00~15:50	“カールフィッシャー滴定のトラブルシューティング - 適切な測定方法の選択”	林 純薬工業 (株)	英
N-6	10:25~10:50	『土壌汚染対策法』汚染現場の高湿度中クロロエチレン問題をポータブルGCで解決！	日本電子 (株)	日
N-6	11:05~11:55	Australian Scientific Instruments社製 LA-ICPMS 関連製品紹介	ビーム (株)	日
N-6	12:10~12:35	卓上型 NMR Spinsolve の革新的技術とは？	中山商事 (株)	英
N-6	12:50~13:40	ラボにおける測定器（天びん・pH・融点・滴定）のデータインテグリティ対応とシステム構築	メトラー・トレド (株)	日
N-6	13:55~14:45	【自在な引張角度と剥離面の観察による最新密着性評価手法】機能性材料などの粘着・積層界面の品質向上に貢献	協和界面科学 (株)	日
N-6	15:00~15:50	Data Integrity & Computer System Validation	(株) パーキンエルマー・ジャパン	英

9月7日(金)

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-1	10:25~11:15	バイオ医薬品分析のノウハウと、新製品のご紹介	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-1	11:30~12:20	材料や半導体などのアプリケーションでの最適な無機分析装置の選び方	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-1	12:35~13:25	【基礎から学ぶ】原子吸光・ICP-OES・ICP-MSでの高マトリックス中の微量元素を測定する「秘策」とは？	(株) アナリティクイエナ ジャパン	日
A-1	13:40~14:30	【ラマン・基礎】測定手法ってどう決める？実践的ラマン活用講座	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-1	14:45~15:10	食品・農産物成分分析に最適な近赤外分析装置について	ビーエルテック (株)	日
A-1	15:25~15:50	新発想のICP分析用前処理装置エコプレシシステムの紹介	(株) アクタック	日
A-1	16:05~16:30	プロの技を伝授！困ったときの分光光度計の測定テクニック	(株) 日立ハイテクサイエンス	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-2	10:25~11:15	誰もがエキスパート！GCを用いたガス分析用バルブソリューション	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-2	11:30~12:20	高感度ナノ粒子分析もお任せください！ Nu Instruments の高分解能 ICP-MS「AttoM ES」のご紹介	アメテック (株)	日
A-2	12:35~13:25	光散乱・粘度法を用いた高分子分析の基礎－絶対分子量、分子サイズ、分岐度、コンフォメーション解析－	昭光サイエンス (株)	日
A-2	13:40~14:30	分光技術でお悩み解決！ 異物分析、故障解析、品質改善などに使える分光アプリケーションを一挙公開！	(株) 堀場製作所	日
A-2	14:45~15:10	おさえておきたい光電子増倍管の基礎と最新事情 2018	浜松ホトニクス (株)	日
A-2	15:25~15:50	迅速・簡単！大気中粒子状水銀分析のための加熱酸化水銀測定装置のご紹介	マイルストーンゼネラル (株)	日
A-2	16:05~16:30	EDX による製剤中元素不純物の分析 - 試料調製ノウハウ公開！	(株) 島津製作所	日
A-3	10:25~11:15	あなたに武器を！ AI で分析業務を 50% 軽減！！ 日立 HPLC ソリューション、Master & Sword！！	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-3	11:30~12:20	ダウンタイム削減と高感度の追求 ~ NeverVent テクノロジーと Advanced EI ソース~	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-3	12:35~13:25	電顕用 EDS において、サーモフィッシャーサイエンティフィックだけが提供できる多変量イメージ解析のメリット	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-3	13:40~14:30	GC/MS、LC/MS、ICP-MS による溶出物（抽出物/浸出物）の多角的な分析とデータ解析の省力化	アジレント・テクノロジー (株)	日
A-3	14:45~15:10	GCxGC-MS によるノンターゲット一斉分析！食品～環境、材料分野における活用法	LECO ジャパン (同)	日
A-3	15:25~15:50	最新 FE-EPMA と新しい EPMA の活用法をご紹介します。	(株) 島津製作所	日
A-3	16:05~16:30	ガス分析のさまざまな展開	日本電子 (株)	日
A-4	10:25~11:15	およそ 1 生菌の検出が 2 時間で可能！微生物迅速検査装置 BIOMAYECTOR plus のご紹介	(株) 堀場アドバンスドテクノ	日
A-4	11:30~12:20	誰も教えてくれなかったイオンクロマトグラフィーの基礎その 1 - なぜベテランと同じ結果がえられないのか？ -	メトロームジャパン (株)	日
A-4	12:35~13:25	TD-GC/MS のノウハウを一挙公開！低沸から高沸まで幅広い化合物を高感度・高再捕集率で分析する新世代 TD-GC/MS	(株) 島津製作所	日
A-4	13:40~14:30	ガスクロを使ったにおい・香り分析のコツ！「集める・入れる・嗅ぐ」のポイント伝授します！	ジーエルサイエンス (株)	日
A-4	14:45~15:10	さらなる飛躍 ～ EDS 分析の基礎と限界を覆す高精度・高速分析のご紹介～	ブルカージャパン (株)	日
A-4	15:25~15:50	材料分析を無処理で行う方法をお教えます。 ～熱脱着・熱分解 DART-MS～	(株) バイオクロマト	日
A-4	16:05~16:30	電池材料/3D プリンティング、新たな顕微鏡で真実にせまる！	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
A-5	10:25~11:15	極高低温、その場観察、スクラッチ、粘弾性…ナノインデンテーションはここまで来た！ブルカーの最先端ナノ機械特性評価技術	ブルカージャパン (株)	日
A-5	11:30~12:20	質量の測定概念の変更に伴う ISO, JIS, GMP 等の規制要求への対応－質量測定の不確かさとリスクに基づく考え方	メトラー・トレド (株)	日
A-5	12:35~13:25	検量線は 1 本だけ！ポストカラム反応ガスクロマトグラフィーを用いた一対多型定量法のご紹介	(株) 堀場エステック	日
A-5	13:40~14:30	マイクロウェーブ試料前処理装置による試料前処理の基礎技術	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-5	14:45~15:10	GC-FID 用ユニバーサルメタナイザー Polarc を使用した定量精度向上に関する理解と限界	アステック (株)	日
A-5	15:25~15:50	断面解析やっていますか？～多様な試料の CP 試料作製ノウハウ教えます～	日本電子 (株)	日
A-5	16:05~16:30	【LC・SFC 分取】業務の効率化を達成する分取精製ノウハウ	日本分光 (株)	日
A-6	10:25~11:15	LC/MS 分析をより良くするためのノウハウを提供	(株) 島津製作所	日
A-6	11:30~12:20	粉体・スラリー・液滴・ナノ・多孔性材料評価の新型分析機器のご紹介	マイクロトラック・ベル (株)	日
A-6	12:35~13:25	分析に適した LC カラムの選び方～逆相クロマトグラフィーの基礎から最新技術まで～	日本ウォーターズ (株)	日
A-6	13:40~14:30	話題の新素材を複数分析機器で評価した事例をご紹介します	(株) 島津製作所	日
A-6	14:45~15:10	TA 新製品 高荷重 DMA/疲労特性評価装置 ElectroForceDMA3200 のご紹介	日本ウォーターズ (株)	日
A-6	15:25~15:50	定性定量分析が変わる！ On-line SPE が実現する LC/IR、LC/NMR、LC/MS	ジャスコインタナショナル (株)	日
A-6	16:05~16:30	諦めないで！その分析。最先端レーザーラマン顕微鏡で解決できる！最新の分析事例	ナノフォトン (株)	日
A-7	11:05~11:30	総重量わずか 8kg のポータブル全反射蛍光 X 線装置と高感度蛍光 X 線装置の最新情報	アワーズテック (株)	日
A-7	11:45~12:10	無染色生体試料の 3 次元共焦点ラマン観察	WITec (株)	日
A-7	12:25~12:50	【FTIR・ラマン・UV-Vis】医薬品の最新評価例を公開～研究から品管まで～	日本分光 (株)	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
A-7	13:05~13:30	最新イメージング・ラマン分光装置でのポリマー測定	レニショー (株)	日
A-7	13:45~14:10	プロの技を伝授！原子吸光と ICP 発光による材料中の微量分析の最新テクニック	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-7	14:25~14:50	微化石の中身ってどうなってるの？ ~古代生物のなぞに迫る~	日本電子 (株)	日
A-7	15:05~15:30	より早く、より高度な分析が可能に！ - X 線回折装置 新型 SmartLab のご紹介	(株) リガク	日
A-7	15:45~16:10	高性能シリコンドリフト検出器 (SDD)	KETEK GmbH	日
A-8	11:05~11:30	ラポ型硬 X 線光電子分光分析装置 PHI Quantes を用いた最新分析事例の紹介	アルバック・ファイ (株)	日
A-8	11:45~12:10	その時、香りはどう動く？ ~揮発性物質分析用 DART-MS ~	(株) バイオクロマト	日
A-8	12:25~12:50	GC SHED 法によるミニタンクやチューブ・パイプの液体・蒸気透過の測定方法について	GTR テック (株)	日
A-8	13:05~13:30	フリー変換不要！ NMR データの自動解析ソフトウェア	日本電子 (株)	日
A-8	13:45~14:10	最先端のオンサイト元素分析技術 - 金属分析から環境計測まで -	(株) リガク	日
A-8	14:25~14:50	加熱酸化水銀分析装置 (超小型入門機) を用いた各種アプリケーションデータのご紹介	日本インスツルメンツ (株)	日
A-8	15:05~15:30	はじめてみよう定量 NMR 法 ~ NMR をつかった定量分析ソリューション ~	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-8	15:45~16:10	C18 カラムの基礎講座: コアシェル・全多孔性の違いを知って使いこなす!	(株) クロマニックテクノロジーズ	日
A-9	11:05~11:30	微量分析から多成分一斉分析まで、GCMS による残留農薬測定	日本電子 (株)	日
A-9	11:45~12:10	ここまでできた！ 実験室型硬 X 線光電子分光装置: HAXPES-Lab.	シエンタ オミクロン (株)	日
A-9	12:25~12:50	前処理により分析精度を改善！ 遠心法ならではのサンプル前処理技術をご紹介します	工機ホールディングス (株) (旧 日立工機 (株))	日
A-9	13:05~13:30	合成高分子の分子構造を解析しませんか？ - 分子量・ユニット判別・末端基 -	ブルカー・ジャパン (株)	日
A-9	13:45~14:10	サイズ排除クロマトグラフィーの基礎と超迅速 GPC カラムを用いた分離例の紹介	昭和電工 (株)	日
A-9	14:25~14:50	食品の劣化分析へのアプローチ！ ~粘度計、NMR、LC-MS を用いた分析手法のご紹介~	ジャスコエンジニアリング (株)	日
A-9	15:05~15:30	新たなキラル固定相をご提案します！ =アミノ酸、アミン、アルコールのキラル分離=	(株) 住化分析センター	日
A-9	15:45~16:10	材料開発？成形プロセス改善？超高速 DSC 測定でどんなことがわかるのか	メトラー・トレド (株)	日
A-10	11:05~11:30	トラブルの原因は装置？それともカラム？明日から実践できる HPLC のトラブル解決法	(株) 大阪ソーダ	日
A-10	11:45~12:10	Alcolyzer SAKE 国税庁所定分析法と異なる手法で合理的で正確であると認められました	(株) アントンパール・ジャパン	日
A-10	12:25~12:50	高画質&可能性"XL"の大きな試料室！フェノムワールド社製最新卓上 SEM のご紹介	ジャスコインタナショナル (株)	日
A-10	13:05~13:30	基礎から学ぶ~ DSC, TG-DTA の測定・解析・解釈	ネッチ・ジャパン (株)	日
A-10	13:45~14:10	純水・超純水を使用・管理するときのポイント・コツ	オルガノ (株)	日
A-10	14:25~14:50	高速イオンクロマトグラフィーによる水道水質分析 ~改正告示法への対応~	東ソー (株)	日
A-10	15:05~15:30	熱分析公定法準拠！測定~解析を簡単確実に！	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
A-10	15:45~16:10	粒子分散性に関わる物性評価手法、粘度・長期安定性・表面張力・粒度分布・粉体流動	英弘精機 (株)	日
A-11	11:05~11:30	GC ユーザーの必需品、来たる時代を先取りした「クロマトグラムシミュレーター」	Restek コーポレーション	日
A-11	11:45~12:10	GPC/MALS の基礎と最新のトピック ~ 分析時間を短縮する最新テクノロジー ~	日本ウォーターズ (株)	日
A-11	12:25~12:50	中分子医薬をターゲットとした LC 分離最適化ノウハウの紹介	(株) ワイエムシィ	日
A-11	13:05~13:30	有機物を迅速・正確に実測！プロセス管理・品質評価で幅広く活躍する TOC 計の適用事例	(株) 島津製作所	日
A-11	13:45~14:10	薄膜・微小領域の機械物性評価 ナノインデント新技術セミナー	(株) 日本レーザー	日
A-11	14:25~14:50	誰でもすぐに実践！カールフィッシャー水分滴定のトラブルシューティング	メルク (株)	日
A-11	15:05~15:30	こんなことができる！耐アルカリ性カラムによる HPLC 及び LC/MS 分析の最新情報	(一財) 化学物質評価研究機構	日
A-11	15:45~16:10	デジカメでもなく、ディープラーニングでもない、その先のビデオスペクトルとは？	(株) 池田理化	日
N-1	10:25~10:50	ハロゲン水分計の適切な使用方法および精度を保つための日常点検	メトラー・トレド (株)	日
N-1	11:05~11:30	KF 水分計や TOC 計のデータインテグリティ対応でお困りではありませんか？	(株) 三菱ケミカルアナリティック	日
N-1	11:45~12:10	今お使いのその部材、付着・粘着・剥離性、表面力で定量評価しませんか。	(株) エリオニクス	日

部屋番号	時間	テーマ	出展社名	言語
N-1	12:25~12:50	LC, LC/MS 分析における吸着の実態と低吸着製品の開発	(株) 島津製作所	日
N-1	13:05~13:30	働き方改革を実現する「分析研究業務の効率化・短縮化」の実施例をご紹介	富士通 (株)	日
N-1	13:45~14:10	食品分析分野における世界最大の技能試験 FAPAS の紹介と効果的な利用法	(株) セントラル科学貿易	日
N-1	14:25~14:50	大気圧プラズマでカーボン粉末の表面処理を可能に!	(株) ジェイ・サイエンス・ラボ	日
N-1	15:05~15:30	不織布・生地・紙等薄層試料の手触り感、ソフトネスの革新的評価と浸透性評価装置紹介	三洋貿易 (株)	日
N-1	15:45~16:10	【お困り事解決】世界初ハイブリッドカールフィッシャー水分計!新しい測定方法を提案	京都電子工業 (株)	日
N-2	10:25~10:50	濡れ性の液中評価や可視化を実現!ゲルや細胞、超親水・超撥水性素材まで	ヤマト科学 (株)	日
N-2	11:05~11:30	こんなところに使える!テラヘルツ波を用いた膜厚・密度の非破壊計測	(株) アドバンテスト	日
N-2	11:45~12:10	気づけなかった!複数の分析結果を「簡単に伝える」方法。ものの特性と分析視点の関係	(株) パーキンエルマー・ジャパン	日
N-2	12:25~12:50	業界初、電子天びんが直接チューブポンプを制御! 分注精度を向上させます。	(株) エー・アンド・デイ	日
N-2	13:05~13:30	食品の栄養成分分析の安全性と自動化と迅速化	ゲルハルトジャパン (株)	日
N-2	13:45~14:10	DI 対応、それだけで十分ですか?	日本ウォーターズ (株)	日
N-2	14:25~14:50	GERSTEL DHS-Large を用いた食品の加熱サンプリングによるおい分析	ゲステル (株)	日
N-2	15:05~15:30	こんなに身近だった!分析を活かす“もの”の解析—様々な機器の総合的な解釈を例に—	(株) パーキンエルマー・ジャパン	日
N-2	15:45~16:10	分析天びんにおける、秤量作業と静電気除去の効率化のご紹介	(株) 島津製作所	日
N-3	10:25~10:50	130kV 発生器を搭載したデスクトップ型の広視野、高分解能三次元 CT の紹介	(株) リガク	日
N-3	11:05~11:30	食品や飼料の成分分析のスピードアップに!ビュッヒの新しい近赤外分析計の活用事例	日本ビュッヒ (株)	日
N-3	11:45~12:35	グローバルな生産現場で「FIT」!フタル酸エステル類を中心とした RoHS スクリーニング検査と IoT ソリューションのご紹介	(株) 日立ハイテクサイエンス	日
N-3	12:50~13:40	☆実践編☆ ここまでできる LC/MS! 高分解能質量データでできること	サイエックス	日
N-3	13:55~14:45	こんなこともできる!! カラムを活かせば分離が改善 ★逆相 HPLC 分析のコツ★	(一財) 化学物質評価研究機構	日
N-3	15:00~15:50	フタル酸エステル検査システムの正しい選び方~簡便性、信頼性を兼ね備えた分析法とは?~	(株) 島津製作所	日
N-4	10:25~10:50	食品から化粧品まで!含水試料を SEM で手軽に測定する手法	日本電子 (株)	日
N-4	11:05~11:30	ラマンって何が出来る?~他分析ツールとラマン顕微鏡(ナノフォトン社製)との違い~	(株) 池田理化	日
N-4	11:45~12:35	「HPLC で高極性化合物を分析するためのカラム選択とテクニック」	ジーエルサイエンス (株)	日
N-4	12:50~13:40	水質測定基礎セミナー ~ pH、電気伝導率、溶存酸素、濁度測定の基礎~	東亜ディーケーケー (株)	日
N-4	13:55~14:45	研究開発業務の安全管理 —試行錯誤という行為の安全化—	ヤマト科学 (株)	日
N-4	15:00~15:50	想定外を想定内にする!ピペットの精度管理について	エムエス機器 (株)	日
N-5	10:25~10:50	データ改ざん・不正のリスクを最小限に抑えるシステム 簡単な対策から応用編まで	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-5	11:05~11:30	水質分析の自動化!連続流れ分析装置 San ⁺⁺ のご紹介	マイルストーンゼネラル (株)	日
N-5	11:45~12:35	【化合物の検出は1%でも可能か?】結晶化度、結晶子等の最新解析法:導入予定の方、応用例を知りたい方に XRD の選び方を紹介	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
N-5	12:50~13:40	高速浸透溶媒抽出システム EDGE、マイクロ波分解抽出装置 MARS 6、MARS One、マイクロ波高速マッフル炉 Phoenix のご紹介	CEM Japan (株)	日
N-5	13:55~14:45	【新製品・JASIS 初公開】動的光散乱装置 ゼータサイザー Ultra & Pro	スペクトリス (株) マルバーン・パナリティカル事業部	日
N-5	15:00~15:50	知っ得、IC 基礎	サーモフィッシャーサイエンティフィック (株)	日
N-6	10:40~11:30	バイオ医薬品開発の最新トレンド	旭テクネイオン (株)	日
N-6	11:45~12:35	ここがポイント!蛍光 X 線分析 一測定ノウハウから EDXRF と WDXRF の違い、最新情報をご紹介	ブルカー・ジャパン (株)	日
N-6	12:50~13:40	LabSolutions データ管理システムによるラボ内機器の統合的なデータインテグリティ対応	(株) 島津製作所	日
N-6	13:55~14:45	XPS で触媒・二次電池・腐食反応を直接観察可能!誰でも使える環境制御 XPS & PEEM を紹介	(株) 東京インスツルメンツ	英
N-6	15:00~15:50	微粒子特性評価の新たな挑戦 - 分散・凝集の評価など -	(株) 島津製作所	日

11. ライフサイエンスイノベーションゾーン

「ライフサイエンスイノベーションゾーン」は、この分野での分析・科学機器の新市場創出を目指す活動の発信の場として、JASIS 会場内に大規模なゾーンを設置して開催する特別企画で、JASIS では同テーマの特別企画を 2013 年から実施している。

当ゾーン内の目玉企画である基調講演では、「最先端バイオ医薬・ヘルスケアと分析機器の役割 ～ヘルスケア・臨床が近づくバイオメディカルへの道～」をテーマにし、分子標的薬・チェックポイント阻害剤に代表される新しいバイオ創薬への注目の高まりや、遺伝子解析の実装化を含む、臨床現場における変革に対応するために必要となる分析機器・技術と、これらの変貌に関わる関係性が理解できるトピックスを集めた企画となった。

出展社ブースは過去最大となり、関連企画であるライフサイエンスイノベーションフォーラム参加者を含め延べ 9,700 名以上の方に参加いただき、この分野に対する関心の高さがうかがえる結果となった。

ライフサイエンスイノベーション関連プログラム聴講者のプロフィールを JASIS 全体の来場者プロフィールと比較したところ、業種では、電子・電機・精密機器 16.2% (17.4%)、製薬・試薬・化粧品 10.9% (6.5%)、食品 5.6% (5.5%) 医療関係 2.9% (1.6%) が多く、商社・商業 7.6% (11.8%) が少なかった。入場証色区分別では、最も多いのは分析機器・科学機器ユーザーが 56.2% (52.5%) であり、次いで分析機器・科学機器メーカー 16.8% (16.2%) が多く、分析機器・科学機器ディーラー 7.6% (11.5%) が少なかった。() は JASIS 全体の来場者プロフィール数値。

1. 実施概要

会期：2018 年 9 月 5 日 (水) ～ 7 日 (金)

会場：幕張メッセ 8 ホール (約 1,800m²)

ゾーン構成：

- ①基調講演：330 席、29 テーマ
- ②企業プレゼン：30 席・2 か所 48 テーマ
- ③出展企業：75 社・102 小間

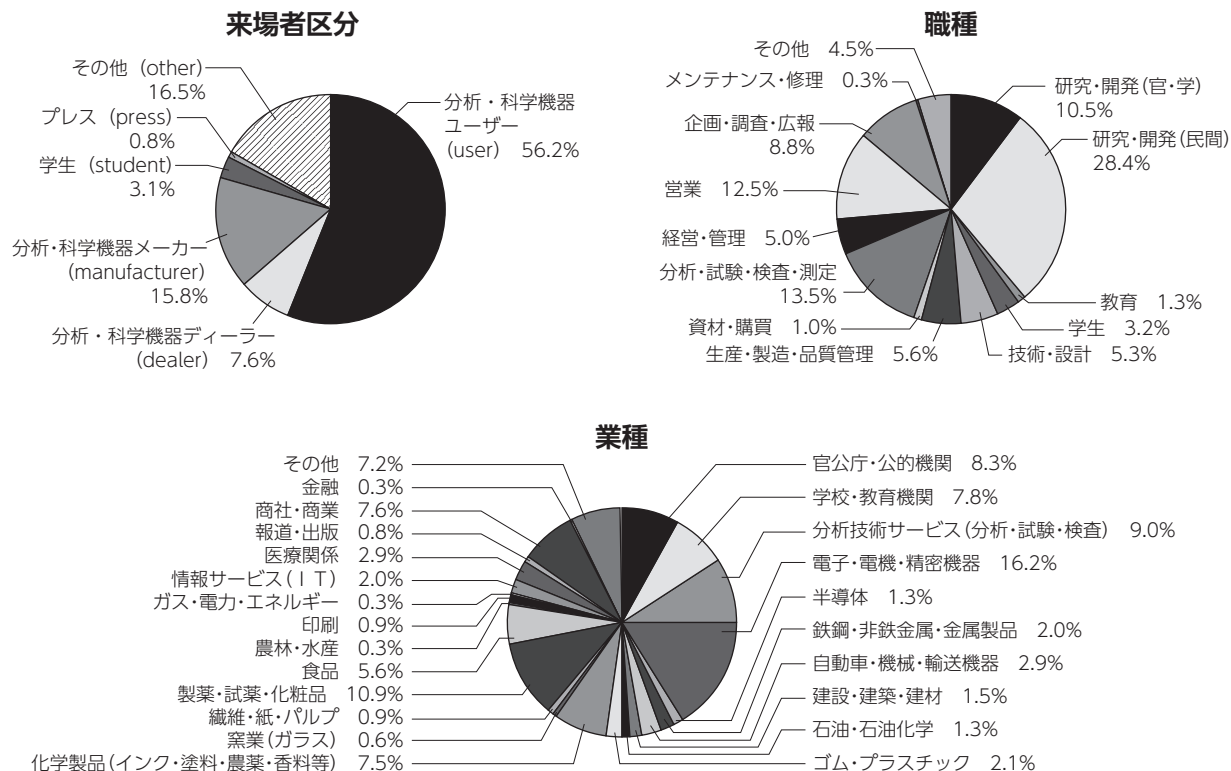
2. 実施結果

	5日(水)	6日(木)	7日(金)	計
基調講演	1,304	1,706	1,212	4,222
企業プレゼン	188	274	162	624
展示コーナー	1,453	1,595	1,632	4,680
LS フォーラム	79	62	79	220
合計	2,318	2,930	2,378	9,746

3. 展示ブース / 特別展示

関連の先端技術・サービスを提供する企業 75 社 102 小間による展示ブースを設置した。特別展示コーナーでは、湘南ヘルスイノベーションパークと (株) エンテックス / (株) エマージングテクノロジーズの展示が実施された。

4. 来場者層



5. 基調講演

近未来ライフサイエンス市場に関わる日本の戦略、世界動向、最先端研究に携わる著名な先生方をお招きしてご講演いただいた。

初の試みとなる日米合同セッションも実施した。また、聴講者と講師、出展社をつなぐツールとして、スマホによるコメント投稿システム「コメンタグラム」を導入した。詳細は以下のとおり。

9月5日(水) (延べ聴講者数：1,304人)

時間	テーマ/講師氏名(所属)	聴講者数
日本の医薬品産業の課題		
10:00~10:40	日本の創薬環境とAMEDの取り組み 河野 典厚 氏 (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)・創薬戦略部長)	142
11:00~11:45	医薬品産業が直面する課題と解決の方向性 永山 治 氏 (中外製薬株式会社・代表取締役会長)	183
創薬における臨床DNAとバイオバンクの役割		
12:15~12:20	臨床から創薬へ、バイオバンクと臨床シーケンスの可能性 岡野 和広 氏 (アクトメッド株式会社・事業開発/一般社団法人臨床バイオバンク学会)	104
12:20~12:45	京都大学病院とKBBMにおけるワンストップバイオリソース事業 武藤 学 氏 (京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座・教授)	106
12:45~13:10	精密腫瘍学の次世代分子診断 Shu-Jen Chen 氏 (Chief Scientific Officer, ACT Genomics) →台風の影響で来場できず、代理でセッションモデレーターである岡野 和広 氏が講演。	110
13:10~13:35	Building secure, clinical and genome data enabled biobanks facilitating collaborative research projects Timo Kanninen 氏 (Chief Architect and Founder BC Platforms AG)	105
13:35~13:55	ディスカッション (上記4氏による)	82
次世代ヘルスケアと薬づくり~デジタルテクノロジーに牽引される変革を語る~ (ICA)		
14:15~14:25	製薬企業と患者・生活者との新しい関係 神沼 二真 氏 (NPO法人サイバー絆研究所・代表)	77
14:25~14:50	大規模脳画像データベースから見る、脳の発達と加齢、認知症 瀧 靖之 氏 (東北大学加齢医学研究所機能画像医学研究分野・教授)	117

時間	テーマ / 講師氏名 (所属)	聴講者数
14:50~15:15	脳機能改善を目指す分子栄養学と行動変容のアプローチ 益崎 裕章 氏 (琉球大学 大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病 内科学講座 (第二内科)・教授・診療科長)	118
15:15~15:40	フィリップスのデジタル変革とエコシステムが創り出すヘルスケア・イノベーション 堤 浩幸 氏 (株式会社フィリップス・ジャパン代表取締役社長)	98
15:40~16:00	ディスカッション (上記4氏による)	62

9月6日 (木) (延べ聴講者数: 1,706人)

時間	テーマ / 講師氏名 (所属)	聴講者数
10:20~11:00	ポストゲノム時代のライフサイエンス 20世紀遺伝子決定論からのパラダイムシフト 高垣 洋太郎 氏 (日本薬科大学・客員教授)	127
日米合同セッション グローバル創薬とバイオサイエンスの役割 ~ JAIMA/PITTCON/ETC Joint Forum ~		
	グローバル創薬とバイオサイエンスの役割	
11:20~11:30	Opening Remarks & Introduction of Pittcon Heather Juzwa 氏 (Pittcon 2019 Technical Program Chair)	100
11:30~11:50	New Technologies to Accelerate Drug Discovery and Development Benjamin F. Mann 氏 (Project Lead, Enabling Technologies Consortium)	135
	クライオ電顕の役割	
11:50~12:15	創薬に向けた最先端のクライオ電子顕微鏡施設とその取り組み 岩崎 憲治 氏 (大阪大学蛋白質研究所・准教授)	177
12:15~12:40	遺伝学とクライオ電子顕微鏡による細胞構造解析 吉川 雅英 氏 (東京大学 大学院 医学系研究科 生体構造学分野・教授)	169
12:40~13:05	CryoEM and multimodal imaging towards a nanoplatfrom of designing next generation of theranostics R Holland Cheng 氏 (Finland Distinguished Professor, University of California)	172
13:05~13:30	生体分子の原子レベルの立体構造解析法として進歩したクライオ電子顕微鏡法の最近の動向 難波 啓一 氏 (理研放射光科学研究センター・副センター長 大阪大学大学院生命機能研究科・特任教授)	130
13:30~13:50	ディスカッション (上記4氏による)	72
	質量分析に求める課題	
14:10~14:35	質量分析が切り拓く未来 高尾 敏文 氏 (大阪大学蛋白質研究所・教授)	138
14:35~15:00	Imaging of Proteins in Biomedical Research: Structure, Interaction and Distribution Markus Stoekli 氏 (Senior Investigator, Analytical Sciences and Imaging @ Novartis Institutes for BioMedical Research)	126
15:00~15:25	Use of 2D-LC (two-dimensional liquid chromatography) for the analysis of biotherapeutics Cinzia Stella 氏 (Senior Scientist, Genentech, a member of the Roche group)	127
15:25~15:50	Recent Advances in Supercritical Fluid Chromatography Christopher J. Welch 氏 (Principal, Welch Innovation, LLC)	107
15:50~16:15	創薬標的に作用する化合物の探索 - 質量分析にできること - 松田 修一 氏 (小野薬品工業株式会社 創薬基盤研究部 第3グループ)	99
16:15~16:35	ディスカッション (上記5氏による)	27

9月7日 (木) (延べ聴講者数: 1,212人)

時間	テーマ / 講師氏名 (所属)	聴講者数
創薬開発とシステムバイオロジーの進歩		
10:20~10:45	バイオメディカル研究開発を支えるテクノロジーフレームワーク 松岡 由希子 氏 (株式会社SBX・ディレクター)	98
10:45~11:10	薬剤耐性代謝アダプテーションのトランスオミクス解析 松田 史生 氏 (大阪大学大学院情報科学研究科・教授)	106
11:10~11:35	世界初を目指すマルチオミクス解析システムの開発 飯田 順子 氏 (大阪大学 島津 分析イノベーション共同研究講座・招聘教授) →地震の影響で来場できず、代理で島津製作所 安田 弘之 氏が講演。	113
11:35~12:00	システムバイオロジーからシステム医学へ 清田 純 氏 (国立研究開発法人理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラム健康医療データAI解析標準化ユニット・ユニットリーダー)	117
12:00~12:20	ディスカッション (上記4氏による)	60
AI・ICT 革命からの未来社会予測		
13:15~13:40	AIの進歩による、IoT・知識ベースの未来予想 生島 高裕 氏 (株式会社数理先端技術研究所・代表取締役)	213
13:40~14:05	分散PDS: 個人の意思に基づくヘルスケアデータの安全で安価な活用 橋田 浩一 氏 (東京大学 大学院情報理工学系研究科 ソーシャルICT 研究センター・教授)	206
14:05~14:30	スマホで始まる未来の医療 ~現場を活かし経営に資する身近なICTによる構造改革~ 畑中 洋亮 氏 (東京慈恵会医科大学先端医療情報技術研究講座・研究員)	206
14:30~14:50	ディスカッション (上記3氏による)	93

6. 企業プレゼンテーション

JASIS 2018 会期中 3 日間、出展社によるプレゼンテーション（1 枠：25 分）がゾーン内の 2 会場で 48 件行われた。3 日間の延べ聴講者数は 624 人であった。

〈第一会場〉

9月5日(水) (延べ聴講者数：128)

時間	テーマ	出展社名
10:15 ~ 10:45	博士研究者の分析機器・サービスへの期待	(株) エマージングテクノロジーズ / (株) エンテックス
11:15 ~ 11:40	バイオ・ポリマーサンプルのナノスケール解析	JPK インスツルメンツ AG
11:55 ~ 12:20	保水性能を有する生物試料用極薄マイクロチップ	Biocosm (株)
12:35 ~ 13:00	細菌叢研究 / ビジネスにおける成功の鍵とは？	(株) 協同インターナショナル
13:15 ~ 13:40	オルガノイド形成・回収オンチップ灌流培養システム	(株) プラスト
13:55 ~ 14:20	バイオアナリシス受託実績と精度管理方法	(株) 島津製作所
14:35 ~ 15:00	コンタミを防ぐ 最新鋭のソリューション	ライコニック ジャパン (株)
15:15 ~ 15:40	共用研究施設を利用した結果と感想	分子・物質合成プラットフォーム

9月6日(水) (延べ聴講者数：153)

時間	テーマ	出展社名
10:15 ~ 10:45	ポスドク・博士課程学生のためのキャリアデザイン	(株) エマージングテクノロジーズ / (株) エンテックス
11:15 ~ 11:40	「CIM モノリス」バイオ高速精製カラム	昭和電工 (株)
11:55 ~ 12:20	Overview of Taiwan's medical device industry	Biotechnology and Pharmaceutical Industries Promotion Office, Ministry of Economic Affairs, Taiwan.
12:35 ~ 13:00	LC/MS Imaging 解析、nano LC/MS ノイズ低減	(株) エル・イー・テクノロジーズ
13:15 ~ 13:40	SIFT-MS を用いた代謝ガス分析の最新論文の紹介	金陵電機 (株)
13:55 ~ 14:20	バイオ分野における分光分析技術とその応用	(株) 堀場製作所
14:35 ~ 15:00	Dragonfly: イメージングのすべてを変える高速共焦点顕微鏡	アンドール・テクノロジー Ltd
15:15 ~ 15:40	探していた受託サービスはここにある。	(株) アプロサイエンス
15:55 ~ 16:20	How VR communication works for industry	Gwydion.Inc

9月7日(水) (延べ聴講者数：106)

時間	テーマ	出展社名
10:15 ~ 10:45	「博士×ビジネス」で創り出すイノベーション	(株) エマージングテクノロジーズ / (株) エンテックス
11:15 ~ 11:40	パネルサイズガラス基板によるマイクロストラクチャー加工	アルバック成膜 (株)
11:55 ~ 12:20	最先端分析技術を使ったバイオ医薬品の品質管理	ブルカー・ジャパン (株)
12:35 ~ 13:00	創薬支援・再生医療のための試薬・分析機器	関東化学 (株)
13:15 ~ 13:40	人とモノを分けては研究の安全は語れない！？	(特非) 研究実験施設・環境安全教育研究会
13:55 ~ 14:20	赤外自由電子レーザーによるメラニンの分解	東京理科大学
14:35 ~ 15:00	96 ウェル微量精密攪拌機 MICROPADDLE を用いた製剤ソリューション	(株) アルバック
15:15 ~ 15:40	研究を 120% 促進させる 2 つのシステム ラボナビとスマラボ	(株) インナーリソース

〈第二会場〉

9月5日(水) (延べ聴講者数：60)

時間	テーマ	出展社名
10:15 ~ 10:45	コメンタグラムが、セミナーを盛り上げる！	BD コンサルティング (同)
11:15 ~ 11:40	バイオプロセス製品の性能評価と技術研修のご紹介	横浜バイオ医薬品研究開発センター (YBIRD)
11:55 ~ 12:20	遺伝子検査の信頼性を向上させるサーマルサイクラー校正	(株) フォーディクス
12:35 ~ 13:00	ISP が目指すスモールスタート AI	(株) システム計画研究所
13:15 ~ 13:40	マイクロ流体チップ：創薬と POCT アプリケーション	(株) ASICON
13:55 ~ 14:20	TEM 像シミュレータ elbis とタンパク単粒子解析	(株) バイオネット研究所
14:35 ~ 15:00	Origin ソフトウェアのご紹介	(株) ライトストーン
15:15 ~ 15:40	Food Safety Analysis 2018: 食品分析における今日そして未来の課題	エクリプス ビジネスメディア

9月6日(木) (延べ聴講者数：121)

時間	テーマ	出展社名
10:15 ~ 10:45	湘南ヘルスイノベーションパークのご紹介	湘南ヘルスイノベーションパーク
11:15 ~ 11:40	耳内型持続温度計による高体温障害予防	早稲田大学
11:55 ~ 12:20	動画 AFM で見るナノスケールの世界	(株) 生体分子計測研究所
12:35 ~ 13:00	Phso-tag SDS-PAGE：リン酸基親和性電気泳動	(株) ナード研究所
13:15 ~ 13:40	機能付き採取キット -糞便、唾液-	(株) テクノスルガ・ラボ
13:55 ~ 14:20	バイオ医薬品開発や個別化医療の発展を支えるマイクロ流体技術	NTサイエンス (同)
14:35 ~ 15:00	クロマトグラフィやDLS、X線小角散乱など複数原理による蛋白質の溶液中サイズ	マルバーン・パナリティカル事業部 スペクトリス (株)
15:15 ~ 15:40	最新のクライオ電子顕微鏡で迫るタンパク質の構造	日本電子 (株)

9月7日(水) (延べ聴講者数：56)

時間	テーマ	出展社名
10:15 ~ 10:45	湘南ヘルスイノベーションパークのご紹介	湘南ヘルスイノベーションパーク
11:15 ~ 11:40	学術系クラウドファンディング「academist」	アカデミスト (株)
11:55 ~ 12:20	無料で工場探索代行「モノマド」	テクノポート (株)
12:35 ~ 13:00	リコーにおけるバイオプリンティング技術とその応用 (DNA 1分子リファレンスプレート)	(株) リコー
13:15 ~ 13:40	効率的な攪拌装置のご提案	佐竹化学機械工業 (株)
13:55 ~ 14:20	日立ハイテックが提供する遺伝子解析ソリューション	(株) 日立ハイテクノロジーズ
14:35 ~ 15:00	導波モードがバイオサイエンスを加速する	(有) シーアンドアイ

7. 商談ラウンジ

「ライフサイエンスイノベーションゾーン」の出展社と下記のようなマッチングを希望される来場者と直接面談いただくコーナーを設置し、利用された。

- ・ シーズ・新技術の導入などから技術提携を検討したい
- ・ アプリケーションを共同開発できる企業を探している
- ・ 新技術またはバイオベンチャーに投資したい
- ・ 販売代理できる新製品を探している
- ・ バイオ・先端診断に関わる新技術やアイデアについて詳しい情報が欲しい

8. JASIS コンファレンス内でライフサイエンスイノベーションフォーラムを開催

展示会場に隣接する幕張メッセ国際会議場で行われる「JASIS コンファレンス」では、ライフサイエンスイノベーションゾーンに関連する以下3プログラムの開催を支援した。

日時	テーマ	主催団体	場所
9月5日(水) 10:00 ~ 17:45	1「恐怖のプロファイリング~知る勇気の作り方~」	メタボリック・プロファイリング研究会	304 会議室
9月6日(木) 9:55 ~ 16:40	2「健康研究と臨床研究をつなぐ D2K サイエンス」	NPO 法人 サイバー絆研究所	304 会議室
9月7日(金) 12:30 ~ 17:00	3「戦略的バイオバンキングと医療イノベーション」	(特非) バイオチップコンソーシアム (JMAC)	304 会議室

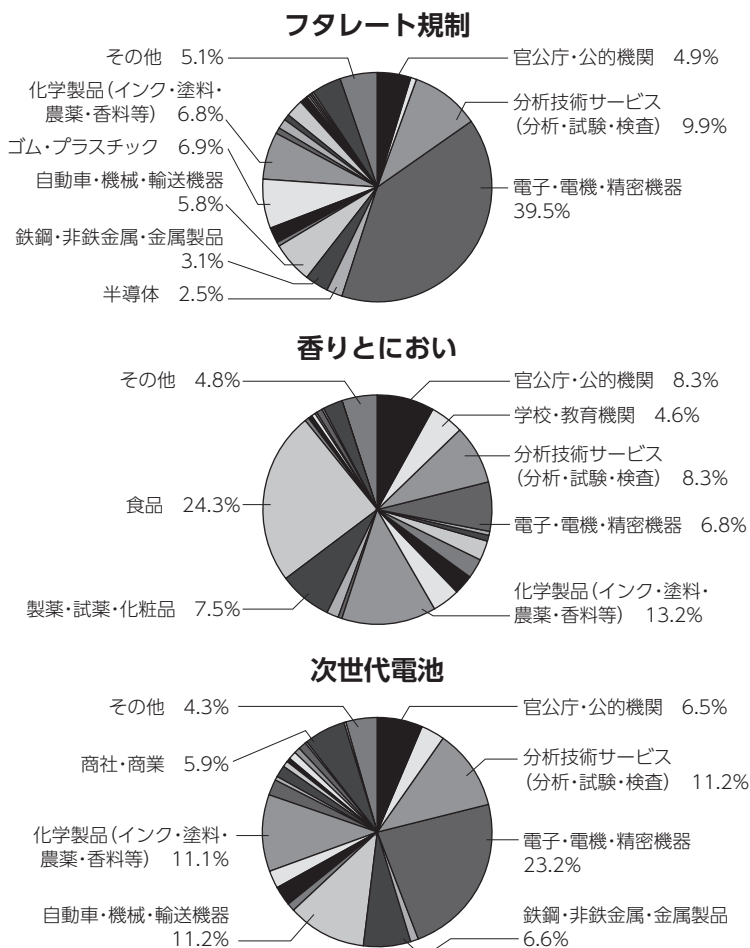
12. オープンソリューションフォーラム

本企画は、出展社が個別に開催する人気が高い「新技術説明会」に対して、特定のテーマに関して、来場者にオープンな形でソリューションを提供することを目的として、JASIS 2016 に初めて開催された。JASIS 2018 においても、これまでと同じコンセプト「素材・材料の開発と品質管理が我が国のものづくり競争力を支える」のもと開催した。今回は、テーマとして、「フタレート規制」「香りとおおい」「次世代電池」を選定した。

会期3日間で、基調講演6タイトル、出展社発表18タイトルを実施し、延べ2,275名と、昨年比4割増の方々にご聴講いただいた。(2017年1,619名、2016年854名)今回は、座席を約250席用意したが、それでも不十分であり、立ち見で聴講いただいた方もおられ、非常に盛況であった。取り上げたテーマに対する来場者の関心の高さが伺える結果となり、あらためてテーマ選定が重要であることが示された。なお、今回は、資料として要旨集の他、各社が準備した資料も配布できることとした。聴講者アンケート集計結果によれば、「オープンソリューションフォーラムがあるから来場者した。」と回答された方が45%、来場の目的については、「技術情報の収集・取得・交流」53%、「自分のビジネスに役立てるため」33%であった。プログラム構成についてもおよそ半数の方にご満足頂くことができた。ご聴講いただいた方のうち、30%以上の方がJASIS に初めてご来場と回答いただいております、新規来場者誘致にも貢献できている。

それぞれのテーマでの聴講者の業種を、グラフに示す。(主な業種名のみ表示)各テーマについて、情報を届けたいユーザーにご来場いただけていると思われる。

聴講者の業種



オープンソリューションフォーラムプログラムと聴講者数

9月5日(水) フタレート規制

時間	タイトル/講師	聴講者数
10:30 ~ 11:10	フタレート規制 ~簡易分析に求められる要件と、その活用方法~ 松浦 徹也 氏 (一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長)	299
11:15 ~ 11:40	Py/TD-GC-MS 法によるフタル酸エステル類の分析について 日本電子 (株)	
11:45 ~ 12:10	誰もがエキスパート! アジレントフタル酸エステルスクリーナー アジレント・テクノロジー (株)	
12:15 ~ 12:40	RoHS 指令フタル酸エステル検査の実運用における現状と課題 (株) 島津製作所	308
13:40 ~ 14:20	フタル酸エステルと可塑剤にまつわる現状と課題 ~市場、用途、安全性、使いこなしの技術、原料事情、代替品、そして天然素材の可能性~ 柳瀬 広美 氏 (可塑剤工業会 技術部長)	
14:25 ~ 14:50	改正 RoHS 指令に対応する実用的な精密分析法 (株) 島津テクノリサーチ	
14:55 ~ 15:20	フタル酸エステル類など RoHS2 スクリーニング検査のご紹介 (株) 日立ハイテクノロジーズ	
15:25 ~ 15:50	フタル酸エステル類認証標準物質の開発及び海外技能試験のご紹介 西進商事 (株)	

9月6日(木) 香りにおい

時間	タイトル/講師	聴講者数
10:30 ~ 11:10	におい分子がつくる香り 長谷川 登志夫 氏 (埼玉大学大学院理工学研究科 准教授)	488
11:15 ~ 11:40	揮発性香料の三次元分子構造の決定法 (株) リガク	
11:45 ~ 12:10	GC でのニオイ分析のための簡単な捕集・濃縮方法について ジーエルサイエンス (株)	
12:15 ~ 12:40	GC-TOFMS を用いた複雑な食品香気成分の網羅的解析手法 LECO ジャパン (同)	486
13:40 ~ 14:20	「におい」(異臭) のクレームとその分析法 加藤 寛之 氏 (大和サービス株式会社 取締役 においテクニカルセンター長)	
14:25 ~ 14:50	異臭・香料分析用データベースを用いた効果的におい分析法の紹介 (株) 島津製作所	
14:55 ~ 15:20	においの複合パターン分析と官能評価との連携 アルファ・モス・ジャパン (株)	
15:25 ~ 15:50	誰もがエキスパート! アジレント異臭分析ソリューション アジレント・テクノロジー (株)	

9月7日(金) 次世代電池

時間	タイトル/講師	聴講者数
10:30 ~ 11:10	サステナブルモビリティ実現のための分析計測技術への期待 射場 英紀 氏 (トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 基盤材料技術部 担当部長)	334
11:15 ~ 11:40	電動化を支援する HORIBA の材料分析・エンジニアリング技術 (株) 堀場製作所	
11:45 ~ 12:10	モバイル用電池から車載用電池まで、1 台で測定可能な三次元計測 X 線 CT 装置 ヤマト科学 (株)	
12:15 ~ 12:40	様々な分析装置を用いた多角的な電池の解析手法 日本電子 (株)	
13:40 ~ 14:20	全固体電池の開発における最近の動向と材料開発に関する課題、 その解決に必要なとされる分析・計測技術への期待 金村 聖志 氏 (首都大学東京大学院 都市環境科学研究科・分子応用化学域 教授)	360
14:25 ~ 14:50	SEM-EDS の電池材料への応用 オックスフォード・インストルメンツ (株)	
14:55 ~ 15:20	活物質と電解質の構造評価 (株) リガク	
15:25 ~ 15:50	研究開発から生産へ! 開発機をベースとした生産機をご提供 ヤマト科学 (株)	

13. WebExpo® 2018

1. 2年目の2018年は、初めて出展社のブースを設置

出展 500 社超、セミナー・講演会数も約 500 を数える JASIS では、分析・科学機器に関する世界の最先端情報が一堂に集まるため、見たいもの・聴きたいものを限なく廻るためには、「複数日来場してもまだ時間が足りない」という声が来場者から聞かれる。また、関東圏で開催される展示会に良く見られる傾向だが、JASIS での来場者は 7.5 割が関東圏からの来場者であり、地方からの来場は少ない。

このような傾向を補完する為、「会期 3 日間」「幕張」という現在の JASIS から、「180 日間、どこからでも」出展、参加できる新しい JASIS へと発展していくことを目指したのが本企画である。

初開催の昨年は、Web 公開許可を得られた貴重な約 60 タイトルの講演会・セミナーと、試行的に出展社から無料資料掲載を募り 128 社が資料を掲載し約 4,000 名に閲覧いただき好評を得た。今年は、昨年同程度の講演会・セミナーと、デジタルマーケティングツールとして出展社から資料掲載を募り、14 社が掲載した。



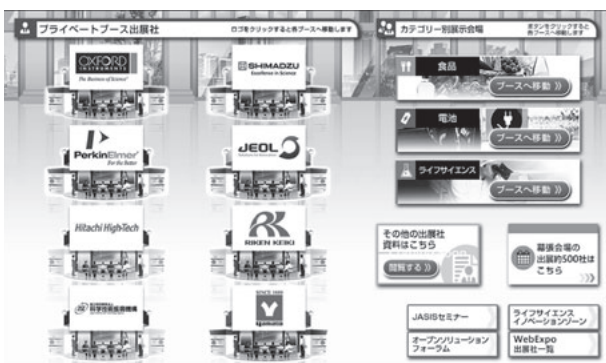
【エントランス】

WebExpo では、JASIS 2017 と JASIS 2018 の人気講演ムービーで多くの人々を集客する。エントランスには、各セミナー会場への入口と出展社ブースのある展示会場への入口が設置されている。



【講演ムービー再生画面】

JASIS の人気動画とその発表資料を閲覧できる。再生スピードも 0.8 ~ 1.8 倍速が可能。チャプター付きなので、観たい内容を素早く閲覧することもできる。



【展示会場】

2018 年には、出展社ブースを閲覧できる展示会場を新設した。各ブースをクリックすると、1 社につき最大で 10 のコンテンツが掲載されている。JASIS 会場での新技術説明会の自社発表動画を掲載する出展社も。

【WebExpo® 2018 掲載出展社】

- オックスフォード・インストゥルメンツ (株)
- (国研) 科学技術振興機構
- 光明理化学工業 (株)
- (株) 島津製作所
- 東亜ディーケーケー (株)
- 日本ウォーターズ (株)
- 日本電子 (株)
- (株) パーキンエルマー・ジャパン
- (株) 日立ハイテクノロジーズ
- (株) 堀場製作所
- ヤマト科学 (株)
- (株) リガク
- 理研計器 (株)
- LECO ジャパン (同)

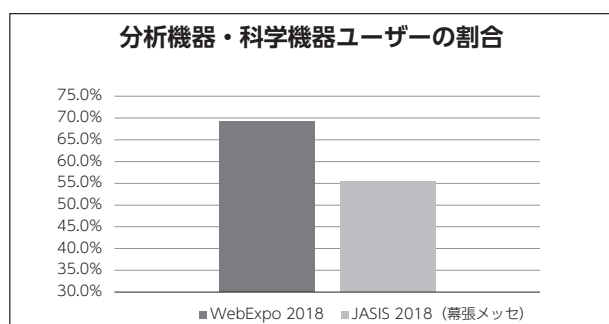
2. 数字で見る JASIS WebExpo® 2018

会期は 2018 年 7 月 2 日～ 12 月 21 日であり、本報告書執筆時点では最終報告とはならないが、終了約 1 か月前（11 月 25 日）のデータを以下にまとめる。

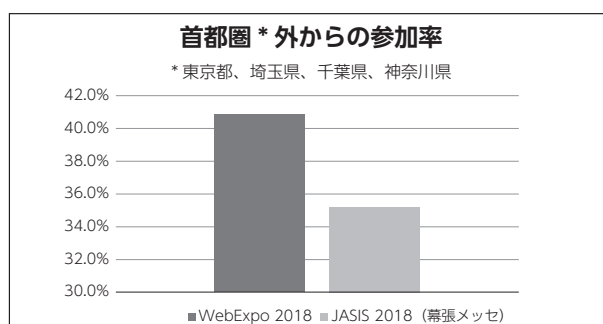
- ・平均滞在時間は、約 70 分と長い。
- ・幕張の JASIS 2018 に来場できなかった方々 1,000 人以上が閲覧に訪れた。
- ・網掛けは既に昨年を超えたもの
- ・出展社コンテンツ掲載数は講演動画掲載数より少ないにもかかわらず、延べ閲覧数は講演動画を凌ぎ、出展社コンテンツの人気の高さがうかがえる。

		2017 年最終報告 151 日間	2018/11/25 中間報告 (141 日目) 全会期：173 日間
全体	閲覧者 ID 数 (重複なし)	3,875	4,262
	閲覧数 (延べ)	18,764	18,355
	平均滞在時間 (分)	69.1	68.7
出展社コンテンツ	掲載出展社数*	128	14
	閲覧者 ID 数 (重複なし)	1,360	2,049
	閲覧コンテンツ数 (延べ)	4,488	7,638
	1 人当たりの平均閲覧数	3.3	3.7
	平均滞在時間 (分)	17.4	8.5
	掲載会社 1 社当たりの平均閲覧数	35.1	545.6
ライフサイエンス イノベーションゾーン 基調講演	閲覧者 ID 数 (重複なし)	1,498	1,288
	閲覧コンテンツ数 (延べ)	3,595	1,540
	1 人当たりの平均閲覧数	2.4	1.2
	平均滞在時間 (分)	28.7	19.6
オープンソリューション フォーラム 基調講演	閲覧者 ID 数 (重複なし)	1,653	1,405
	閲覧コンテンツ数 (延べ)	1,984	1,478
	1 人当たりの平均閲覧数	1.2	1.1
	平均滞在時間 (分)	23.3	17.4
JASIS セミナー (日本薬局方セミナー、サイエンスセミナー、 科学実験ショー、JAIMA セミナー)	閲覧者 ID 数 (重複なし)	2,067	2,889
	閲覧コンテンツ数 (延べ)	4,341	4,621
	1 人当たりの平均閲覧数	2.1	1.6
	平均滞在時間 (分)	36.4	26.8

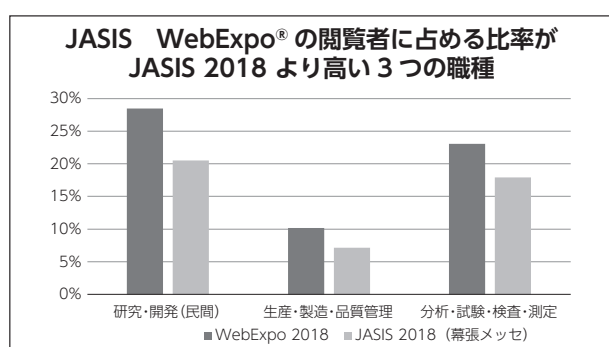
*2017 年は試行的無料掲載。2018 年から有料掲載。



分析機器・科学機器ユーザーの来場者比率が WebExpo の方が 13.8 ポイント高かった。



首都圏外からの来場者比率が WebExpo の方が 5.6 ポイント高かった。



左の3つの職種の比率が WebExpo の方が 3～8 ポイント高かった。

2018年7月2日～12月21日まで掲載のJASIS 2017 講演動画

分野	タイトル	講師
オープンソリューションフォーラム 2017		
食品	農産物のおいしさ評価	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 茶品質機能性ユニット長 堀江 秀樹 氏
	メタボロミクスの食品機能解析への応用	大阪大学大学院工学研究科 生命先端工学専攻 教授 福崎 英一郎 氏
環境	EU RoHS (II) 指令とリスク管理	一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長 松浦 徹也 氏
	chemSHERPA の海外展開に向けて ～世界のデファクトスタンダードを目指して～	経済産業省 製造産業局 化学物質管理課 総括補佐 町井 弘明 氏
自動車	Honda の燃料電池自動車開発と水素社会に向けて	株式会社 本田技術研究所 四輪 R & D センター 首席研究員 守谷 隆史 氏
	次世代車載電池開発に必要な計測分析技術	京都大学大学院人間・環境学研究所 相関環境学専攻 教授 内本 喜晴 氏
JASIS セミナー 2017		
初めての機器分析	測定の不確かさの考え方	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 主任研究員 城野 克広 氏
機器分析の ステップアップ	自信の持てる溶液調製－何をどのように溶解するか－	宇都宮大学大学院工学研究科 教授 上原 伸夫 氏
これであなたも 専門家－GC編	「目からウロコの GC 理論」これであなたも専門家	麻布大学 杉田 和俊 氏
これであなたも 専門家－MS編	質量分析の基礎 イオン化法とスペクトルの読み方	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 絹見 朋也 氏
分析・科学機器と 日本薬局方	理化学試験法の最近の動向	神戸薬科大学 国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員 四方田 千佳子 氏
サイエンスセミナー	アインシュタインの奏でる宇宙からのメロディー － KAGRA の挑戦と重力波天文学が解き明かす宇宙の謎 －	東京大学宇宙線研究所・重力波観測研究施設 教授 川村 静児 氏
科学実験ショー	分光の基本と応用	公益財団法人日本科学技術振興財団 (科学技術館) 丸山 義仁 氏
ライフサイエンスイノベーション 2017		
次世代ヘルスケア	バイオとデジタルの融合がもたらすもの	経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課長 上村 昌博 氏
	サイエンスによる生命の秘密の解明	東京大学 名誉教授 和田 昭允 氏
次世代ヘルスケア 先端創薬 (ヘルスケアと薬づくり)	創薬の未来を支える最先端の分析ワークフロー	ノバルティス バイオメディカル研究所 アナリティカルサイエンス&イメージング部門 本部長 Stephen Martin 氏
人工知能・深層学習 (バイオへの応用を予測)	【AI/DL のバイオサイエンスへの応用価値】 深層学習技術が加速する IT 創薬技術の深化	国立大学法人 東京工業大学 情報理工学系 情報工学系 知能情報コース 准教授 石田 貴士 氏
	【AI/DL のバイオサイエンスへの応用価値】 人工知能と高性能オミックス解析の連携がもたらす未来型健康社会	国立大学法人 東京工業大学生命理工学系 准教授 林 宣宏 氏
	【AI/DL のバイオサイエンスへの応用価値】 ソーシャル創薬プロジェクト	株式会社 シャルクス 代表取締役 山本 一樹 氏
	【AI/DL のバイオサイエンスへの応用価値】 開発者から見た AI システム開発のパラダイムシフト	株式会社 システム計画研究所 シニアリサーチャー 上島 仁 氏
	【AI/DL のバイオサイエンスへの応用価値】 ディスカッション	上記 石田氏 林氏 山本氏 上島氏
早期治療を実現する 早期先端診断の役割	【中分子創薬への分析機器】 分析技術が拓く次世代バイオ医薬品開発研究	東京大学大学院工学系研究科 医科学研究所 教授 津本 浩平 氏
	【中分子創薬への分析機器】 プロテイン-プロテイン相互作用を阻害する中分子有機化合物探索の手法	(株) バイオシス・テクノロジーズ 取締役 & CTO 聖マリアンナ医科大学 講師 中山 登 氏
	【中分子創薬への分析機器】 ナノバイオデバイスが拓く未来医療・創薬	名古屋大学大学院工学研究科・先端ナノバイオデバイス研究センター 教授・センター長 馬場 嘉信 氏
	【中分子創薬への分析機器】 ディスカッション (津本氏 中山氏 馬場氏 小倉氏)	上記 3 氏 (津本氏、中山氏、馬場氏) に加え、 ライオン株式会社 研究開発本部 小倉 卓 氏
未来社会と 生活を支える サイエンスの可能性	【21 世紀の人口爆発とデータ爆発】 データ駆動型から AI 駆動型の分析スタイル	特定国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター 環境代謝分析研究チーム チームリーダー 菊地 淳 氏
	【21 世紀の人口爆発とデータ爆発】 NMR データから見る農と食のサイエンス	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 主任研究員 関山 恭代 氏
	【21 世紀の人口爆発とデータ爆発】 水産養殖現場に還元できるビッグデータ	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 研究員 馬久地 みゆき 氏
	【21 世紀の人口爆発とデータ爆発】 メタボリック・プロファイリングから見た魚とその有用性	マルハニチロ株式会社 中央研究所 リサーチ一課 課長代理 河原崎 正貴 氏
	【21 世紀の人口爆発とデータ爆発】 データサイエンスで鳥瞰する環境システム	特定国立研究開発法人 理化学研究所 CSRS 環境代謝分析研究チーム 研究員 伊達 康博 氏
【21 世紀の人口爆発とデータ爆発】 ディスカッション	上記 6 氏 菊地氏 関山氏 山崎氏 馬久地氏 河原崎氏 伊達氏	
先端創薬 (ヘルスケアと薬づくり)	【ICT の新しい波と薬づくりの未来】 ICT の新しい波と薬づくりの未来	NPO 法人 サイバー絆研究所 理事長 神沼 二眞 氏
	【ICT の新しい波と薬づくりの未来】 AI 創薬の現状と将来	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長特別補佐 田中 博 氏
	【ICT の新しい波と薬づくりの未来】 創薬研究の新しい潮流	塩野義製薬株式会社 シニアフェロー 坂田 恒昭 氏

2018年9月下旬～12月1日まで掲載のJASIS 2018 講演動画

分野	タイトル	講師
オープンソリューションフォーラム 2018		
フタレート規制	フタレート規制 ～簡易分析に求められる要件と、その活用方法～	一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長 中小企業診断士/技術士 松浦 徹也 氏
香りとおい	におい分子がつくる複雑な香り	埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 長谷川 登志夫 氏
次世代電池	全固体電池の開発における最近の動向と材料開発に関する課題、その解決に必要とされる分析・計測技術への期待	首都大学東京大学院 都市環境科学研究科・分子応用化学域教授・水素エネルギー社会構築センター長 金村 聖志 氏
JASIS セミナー 2018		
これであなたも専門家-バイオ編より	バイオ分析の最前線 (前編)	東京大学大学院総合文化研究科・教授 佐藤 守俊 氏
これであなたも専門家-流れ分析編より	JIS K0126 流れ分析通則の改正ポイント	千葉大学 名誉教授 小熊 幸一 氏
これであなたも専門家-IC編より	不惑を迎えた IC の世界と今後の展望	岐阜大学 竹内 豊英 氏
これであなたも専門家-セパレーションサイエンス編より	慢性疾患に役立つメタボロミクスの開発	大阪大学大学院 古野 正浩 氏
高圧ガスと分析機器	共同規格 (KHK/JAIMA S 0901) の制定及び認定制度の創設について	高圧ガス保安協会 高圧ガス部長代理 小山田 賢治 氏
「初めての機器分析-自信の持てるデータ処理-」より	測定値の正しい取り扱い方 -測定値を分析値にするために?	明星大学 理工学部 教授 上本 道久 氏
日本薬局方セミナー	「生物薬品に関連する最新動向」-タンパク質医薬品注射剤の不溶性微粒試験法を中心に-	国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部第2室室長 柴田 寛子 氏
サイエンスセミナー	料理の科学 ~ 加工、加熱、調味、保存のメカニズムは..... ~	名古屋工業大学名誉教授 齋藤 勝裕 氏
科学実験ショー	基盤実装型センサと遠隔測定	公益財団法人日本科学技術振興財団 (科学技術館) 丸山 義巨 氏
ライフサイエンスイノベーションゾーン 2018		
日本の医薬品産業の課題	日本の創薬環境と AMED の取り組み	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) 創薬戦略部長 河野 典厚 氏
クリニカルシーケンシング	臨床から創薬へ、バイオバンクとクリニカルシーケンスの可能性	アクトメッド株式会社・事業開発 /一般社団法人クリニカルバイオバンク学会 岡野 和広 氏
	京都大学病院と KBBM におけるワンストップバイオリソース事業	京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座・教授 武藤 学 氏
	Building secure, clinical and genome data enabled biobanks facilitating collaborative research projects	Chief Architect and Founder BC Platforms AG Timo Kanninen 氏
次世代ヘルスケアと薬づくり~デジタルテクノロジーに牽引される変革を語る~ (ICA)	製薬企業と患者・生活者との新しい関係	NPO 法人サイバー絆研究所・代表 神沼 二真 氏
	フィリップスのデジタル変革とエコシステムが創り出すヘルスケア・イノベーション	株式会社フィリップス・ジャパン・代表取締役社長 堤 浩幸 氏
ポストゲノム時代	ポストゲノム時代のライフサイエンス: 20 世紀遺伝子決定論からのパラダイムシフト	日本薬科大学・客員教授 高垣 洋太郎 氏
グローバル創薬 (日米合同)	Opening Remarks & Introduction of Pittcon	Pittcon 2019 Technical Program Chair Heather Juzwa 氏
	New Technologies to Accelerate Drug Discovery and Development	Project Lead, Enabling Technologies Consortium Benjamin F. Mann 氏
グローバル創薬 (日米合同)	質量分析が切り拓く未来	大阪大学蛋白質研究所・教授 高尾 敏文 氏
	Imaging of Proteins in Biomedical Research: Structure, Interaction and Distribution	Senior Investigator, Analytical Sciences and Imaging @ Novartis Institutes for BioMedical Research Markus Stoeckli 氏
	創薬標的に作用する化合物の探索 - 質量分析にできること -	小野薬品工業株式会社 創薬基盤研究部 第3グループ 松田 修一 氏
システムバイオロジーと創薬	薬剤耐性代謝アダプテーションのトランスオミクス解析	大阪大学大学院情報科学研究科・教授 松田 史生 氏
	世界初を目指すマルチオミクス解析システムの開発	大阪大学 島津 分析イノベーション共同研究講座・招聘教授 飯田 順子 氏 (安田 弘之 氏)
AI・ICT と未来予測	AI の進歩による、IoT・知識ベースの未来予想	株式会社数理先端技術研究所・代表取締役 生島 高裕 氏
	分散 PDS: 個人の意思に基づくヘルスケアデータの安全で安価な活用	東京大学 大学院情報理工学系研究科 ソーシャル ICT 研究センター・教授 橋田 浩一 氏
新技術説明会		
ナノ・材料	EDS 分析は新たな時代へ ~ AZtecLive/UltimMax ~	オックスフォード・インストゥルメンツ (株)
その他	最新ガスクロマトグラフによる微量分析技術を一挙ご紹介	(株) 島津製作所
その他	赤外スペクトルの解析でお困りのお客様へ 解析の工夫とスペクトルの読み方	(株) 島津製作所
その他	LC/MS 分析をより良くするためのノウハウを提供	(株) 島津製作所
その他	安全確保と省エネを同時に実現する研究所向け給排気システム	ヤマト科学 (株)
その他	研究開発業務の安全管理 - 試行錯誤という行為の安全化	ヤマト科学 (株)
その他	最新の迅速微生物検査技術とその活用事例	ヤマト科学 (株)
その他	実験機器の IoT 化を実現。ワイヤレスシステムの実例と商品展開	ヤマト科学 (株)
その他	濡れ性の液中評価や可視化を実現! ゲルや細胞、超親水・超撥水性素材まで	ヤマト科学 (株)
ナノ・材料	粒子分析の最前線! 全ての粒子が持つ磁性は同粒径の異なる物性を語る	ヤマト科学 (株)

14. JASIS コンファレンス

1. 概要

JASIS コンファレンスは、科学・分析機器に関連する団体が開催する様々なセッションからなり、JASIS に多くの機器ユーザーに会場いただくための併催事業である。

日時：2018年9月4日（火）～9月7日（金）10:00～17:00

場所：幕張メッセ国際会議場 参加者延べ人数：4,219名（4,507名）

参加団体・セッション数：37団体・52セッション（30団体・52セッション）※（ ）はJASIS 2017実績

2. 開催内容（主催者プログラム）

(1) ライフサイエンスイノベーションフォーラム 1～3（延べ聴講者数：220名）

「ライフサイエンスイノベーションゾーン」連携企画として開催された。

(2) JAIMA セミナー 1～12（延べ聴講者数：1,416名）

「これであなたも専門家」シリーズ、「初めての機器分析」「機器分析のステップアップ」計12セッションを、連携団体の協力を得て、開催した。

(3) 日科協セミナー（聴講者数：34名）

環境分析についての基礎知識を提供する『知っておきたい科学機器業界の基礎知識』を開催した。

(4) International Conference Session (ICS)（延べ聴講者数：461名）

・アジアテクニカルフォーラム「アジアの食の安全・安心」をインド、タイ、ベトナム、韓国各国との連携で、中国フォーラム「中国分析市場動向、環境、健康、食の安全」を中国分析試験協会などとの連携で開催した。

・毎年日本と韓国で交互に開催している日韓技術交流セミナーを、今年は大韓化学会及び韓国標準科学研究所との連携でJASISにて「シングルエレメント解析／粒子計測装置」をテーマに開催した。

・英国王立化学会東京国際コンファレンス（RSC-TIC）「シングルセル解析の未来」を開催した。

(5) イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築（聴講者数：101名）

日本学術振興会計測分析プラットフォーム第193委員会、日本学術会議化学委員会分析化学分科会、日本分析機器工業会、日本分析化学会の共催で、「計測分析プラットフォーム第193委員会」、「ビッグデータ適応型の革新的検査評価技術の研究開発」、「最先端分析・計測機器開発センターおよび共同利用プラットフォーム構想」について、今後の展望を含めた報告が行われた。

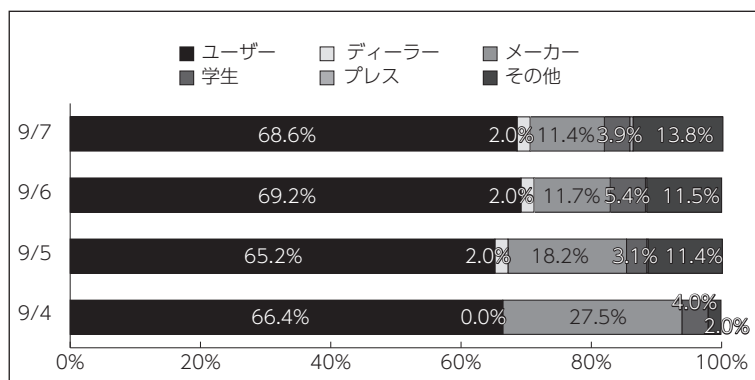
(6) 高圧ガス保安法と分析機器（聴講者数：45名）

一定の条件を満たす超臨界流体抽出装置／クロマトグラフィーシステムが高圧ガス保安法の対象から除外されたことについて情報提供を行った。

2. 参加者層

JASIS コンファレンスの参加者は、ユーザー比率が4日平均67.4%と若干高かった。

（JASIS 全体のユーザー比率57%）



JASIS コンファレンスプログラム

開催日	テーマ	主催団体名	会議室※	時間	言語
9月4日 (火)	プラズマ分光分析研究会 第 103 回講演会 - 「水俣条約」時代の水銀分析-	プラズマ分光分析研究会	103 会議室	10:20~16:45	日本語
	第 34 回分析電子顕微鏡討論会 (1 日目)	(公社) 日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会	国際会議室	10:00~16:45	日本語
9月5日 (水)	第 34 回分析電子顕微鏡討論会 (2 日目)	(公社) 日本顕微鏡学会 分析電子顕微鏡分科会	国際会議室	10:20~16:45	日本語
	ICS1 アジアテクニカルフォーラム 2018 「アジアの食の安全・安心」	(一社) 日本分析機器工業会	301B 会議室	14:00~17:00	英語 (同時通訳)
	JAIMA セミナー 1 「これであなたも専門家-不確かさ編」	(一社) 日本分析機器工業会	コンベンション ホール B	09:50~17:20	日本語
	JAIMA セミナー 2 「機器分析のステップアップ-自信の持てる基本実験 操作-	(一社) 日本分析機器工業会	コンベンション ホール A	14:00~16:00	日本語
	JAIMA セミナー 3 「これであなたも専門家-バイオ編」	(一社) 日本分析機器工業会	301A 会議室	14:00~17:00	日本語
	JAIMA セミナー 4 「これであなたも専門家-流れ分析編」	(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	13:50~17:00	日本語
	JAIMA セミナー 5 「これであなたも専門家-熱分析編」	(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	14:00~17:00	日本語
	ライフサイエンスイノベーションフォーラム 1 「恐怖のプロファイリング~知 る勇気の作り方~」	メタボリック・プロファイリング研究会	304 会議室	10:00~17:45	日本語
	測定・評価の最近のトピックス -環境法令対応から現場管理まで-	エコケミストリー研究会 効率的環境汚染測定・評 価技術フォーラム	201A 会議室	13:00~16:15	日本語
	レーザーアブレーションワークショップ 2018: LA-ICPMS と LIBS に求め られるもの-局所・深さ・ナノ粒子分析のために-	レーザーアブレーション分析研究会	103 会議室	10:00~18:00	日本語
	産総研材料・化学領域セミナー「機能性材料開発を支える分析評価技術」	(国研) 産業技術総合研究所 材料・化学領域	105 会議室	13:00~17:00	日本語
	ISO/IEC 17025:2017 (IS Q 17025:2018) 試験所認定制度及び 審査のポイントについて	(公財) 日本適合性認定協会	301A 会議室	10:00~13:00	日本語
	産総研エレクトロニクス・製造領域セミナー 「観・測・見えないものをみる!」	(国研) 産業技術総合研究所 エレクトロニクス・製造領域	201B 会議室	13:30~16:30	日本語
	日本分光学会 第 54 回夏期セミナー 「ラマン分光法」	(公社) 日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日本語
	JSCA 表面化学分析国際標準化セミナー 2018 -表面分析とマイクロビームアナリシスにおける国際標準化の最近の展開-	表面化学分析技術国際標準化委員会 共催: (国研) 物質・材料研究機構 先端材料解析 研究拠点	104 会議室	13:00~17:00	日本語
日本分析化学会と日本質量分析学会	(一社) 日本質量分析学会 (JASIS 企画部会)	102 会議室	11:00~15:45	日本語	
9月6日 (木)	ICS3 中国フォーラム 2018 「中国分析市場動向、環境、健康、食の安全」	(一社) 日本分析機器工業会	301B 会議室	13:30~17:00	中国語 (同時通訳)
	日本分光学会 第 54 回夏期セミナー 「テラヘルツ分光と低波数ラマン分 光の基礎と測定法」	(公社) 日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日本語
	JAIMA セミナー 6 「これであなたも専門家-蛍光 X 線編」	(一社) 日本分析機器工業会	301A 会議室	10:00~12:30	日本語
	JAIMA セミナー 7 「初めての機器分析-自信の持てるデータ処理-	(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~12:00	日本語
	JAIMA セミナー 8 「これであなたも専門家-LC 編」	(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	09:30~17:30	日本語
	JAIMA セミナー 9 「これであなたも専門家-GC 編」	(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	14:00~17:00	日本語
	リスクの想定とリスクマネジメント ~フタル酸エステル類を中心に~	(一社) 東京環境経営研究所	102 会議室	10:00~12:00	日本語
	知って納得!食品分析 How to do it: こここで使える網羅的解析最新 テクノロジー	(公社) 日本食品衛生学会	105 会議室	13:00~16:30	日本語
	NMIJ 標準物質セミナー 2018 ~規制・規格における標準物質の役割~	(国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター (NMIJ)	国際会議室	10:30~16:15	日本語
	平成 30 年度飲料水検査技術研修会	(一社) 全国給水衛生検査協会	103 会議室	13:00~17:00	日本語
	イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築 -これまでの取り組みと今後の展望 -	(独) 日本学術振興会計測分析プラットフォーム第 193 委員会、日本学術会議化学委員会分析化学分科会、 (一社) 日本分析機器工業会、(公社) 日本分析化学会 (後援: (国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構、 (国研) 産業技術総合研究所 COMS-NANO)	301A 会議室	14:00~17:00	日本語
	初心者のための実用表面分析講座 「分析現場ですぐに役立つ表面分析のノウハウと知識」	(一社) 表面分析研究会	104 会議室	09:00~17:00	日本語
	分析サービスの海外展開	(特非) 分析産業界ネット	102 会議室	13:00~16:30	日本語
	先端研究基盤共用促進事業シンポジウム 2018	文部科学省	201 会議室	13:10~17:00	日本語
	SPring-8/SACLA	国立研究開発法人 理化学研究所 放射光科学研究 センター	301B 会議室	10:00~12:00	日本語
ライフサイエンスイノベーションフォーラム 2 「健康研究と臨床研究をつな ぐ D2K サイエンス」	NPO 法人 サイバー絆研究所	304 会議室	9:55~16:40	日本語	
9月7日 (金)	International Conference Session 2 英国王立化学会 (RSC) 東京国際コンファレンス 2018 「シングルセル解析の未来」 (1 日目)	英国王立化学会 (RSC) (協催: (一社) 日本分析機器工業会)	コンベンション ホール B	09:30~17:30	英語
	日本分光学会 第 54 回夏期セミナー 「PLS を用いた重回帰分析のコツ」	(公社) 日本分光学会	101 会議室	10:00~17:00	日本語
	AOAC セミナー: 2017 年版 ISO/IEC 17025 と食品試験への運用 - 改訂内容 / 試験室管理への活用 / 国内外動向を踏まえた試験法選定 -	AOAC INTERNATIONAL JAPAN SECTION	301A 会議室	13:30~16:30	日本語
	ナノ材料適正管理に向けた COMS - NANO による複合計測システ ムの開発: ナノ材料規制に対応した装置開発と標準化の最新動向	ナノ材料計測ソリューションコンソーシアム COMS- NANO	302 会議室	14:30~16:40	日本語
	JAIMA セミナー 10 「これであなたも専門家-MS 編」	(一社) 日本分析機器工業会	302 会議室	10:00~13:00	日本語
	JAIMA セミナー 11 「これであなたも専門家-IC 編」	(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	10:00~13:00	日本語
	JAIMA セミナー 12 「これであなたも専門家-セパレーションサイエンス編」	(一社) 日本分析機器工業会	303 会議室	14:00~16:55	日本語
	ライフサイエンスイノベーションフォーラム 3 「戦略的バイオバンクと 医療イノベーション」	(特非) バイオチップコンソーシアム (JMAC)	304 会議室	12:30~17:00	日本語
	構造解析連携セミナー	構造解析連携協議会	102 会議室	14:00~17:00	日本語
	JASIS2018 日環協セミナー -JIS K 0102 改正の動向、改正 ISO/ IEC17025 審査のポイントについて- / 環境計量士試験対策 e ラーニン グのご紹介	(一社) 日本環境測定分析協会	201 会議室	10:00~16:00	日本語
	バイオメティクスと分析評価技術	(公社) 高分子学会 バイオメティクス研究会	104 会議室	13:00~16:50	日本語
	産総研・分析計測標準研究部門 第 4 回シンポジウム 「極限計測・分析が加速する研究開発イノベーション」	(国研) 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 分析計測標準研究部門	国際会議室	10:00~15:30	日本語
	環境微生物の分析・評価方法の最新情報 -リアルタイム測定から DNA 解析まで-	(一社) 室内環境学会	105 会議室	12:00~17:30	日本語
	日科協セミナー 「知っておきたい科学機器業界の基礎知識」 ~環境分析~	(一社) 日本科学機器協会	102 会議室	10:00~12:30	日本語
	先端プローブ顕微鏡を活用したナノスケールの電気・オペアンド計測	(公社) 日本顕微鏡学会 走査型プローブ顕微鏡分科会	103 会議室	10:00~16:30	日本語
高圧ガスと分析機器	高圧ガス保安協会 / (一社) 日本分析機器工業会	301B 会議室	10:00~12:00	日本語	
ICS5 日韓技術交流セミナー 2018	(一社) 日本分析機器工業会	301B 会議室	13:00~17:00	英語 (同時通訳)	
International Conference Session 4 英国王立化学会 (RSC) 東京国際コンファレンス 2018 「シングルセル解析の未来」 (2 日目)	英国王立化学会 (RSC) (協催: (一社) 日本分析機器工業会)	コンベンション ホール B	09:30~17:30	英語	

※幕張メッセ国際会議場内

15. 日本薬局方セミナー

特別企画として、2011年～2017年好評を博したセミナーの第8弾として「分析・科学機器と日本薬局方」をテーマに、専門機関の先生より最近の傾向、分析法などをご紹介いただき、約400名に聴講いただき大盛況であった。講演内容と聴講者数は以下のとおりである。

◆日本薬局方セミナー「日本薬局方の現況～第17改正第二追補の動向を中心として～」

日時：9月6日（木）14：00～16：00

会場：国際会議場 2F コンベンションホール A

聴講料：無料

聴講者数：406名

講演 1：「日本薬局方の最近の動向について」

独立行政法人医薬品医療機器総合機構 規格基準部
高津 まり 氏

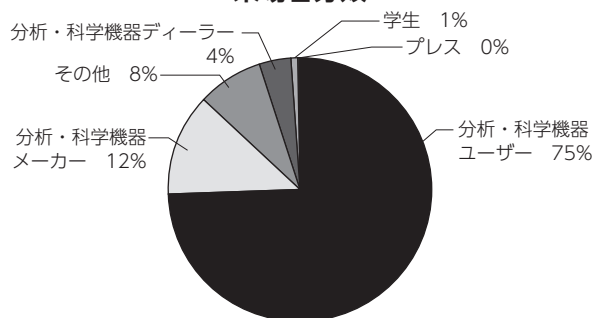
講演 2：「新規理化学試験法による医薬品分析」ーラマンスペクトル測定法などー

国立医薬品食品衛生研究所 薬品部第4室室長
加藤 くみ子 氏

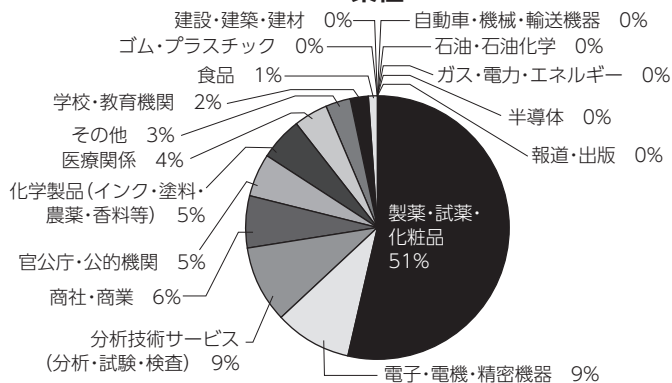
講演 3：「生物薬品に関連する最新動向」ータンパク質医薬品注射剤の不溶性微粒子試験法を中心にー

国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部第2室室長
柴田 寛子 氏

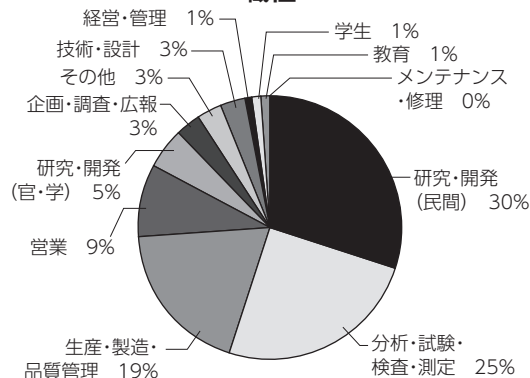
来場者分類



業種



職種



16. サイエンスセミナー

「分析・科学機器」に精通していない方でも気軽にお楽しみ頂ける一般向け人気プログラム“サイエンスセミナー”では、「料理の科学（加工、加熱、調味、保存のメカニズムは）」をテーマとして齋藤 勝裕氏にご講演いただいた。当日は350名以上の方が聴講され、大盛況であった。

◆サイエンスセミナー 「料理の科学（加工、加熱、調味、保存のメカニズムは）」

日 時：9月7日（金）13：00～14：30

会 場：国際会議場 2F コンベンションホール A

聴 講 料：無料

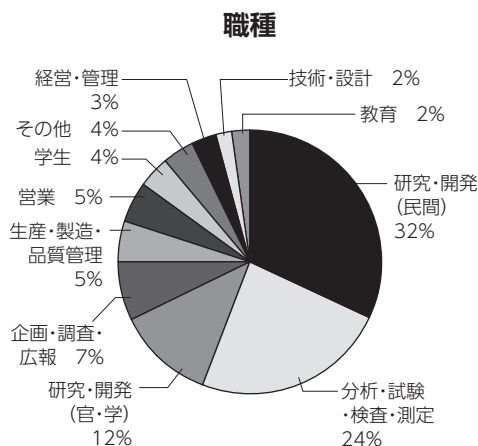
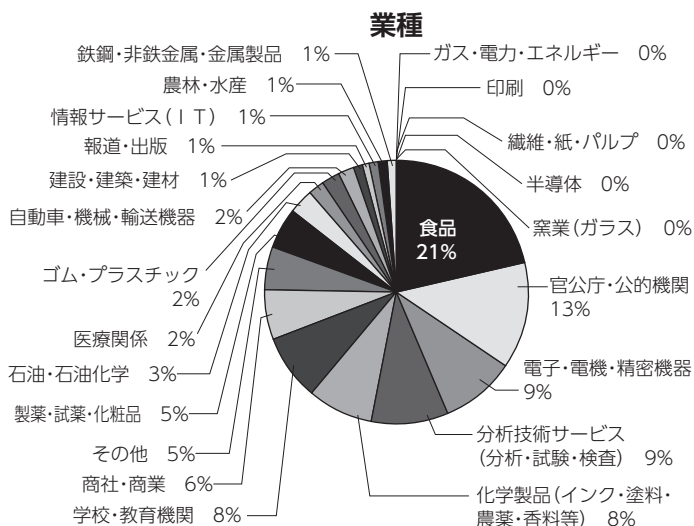
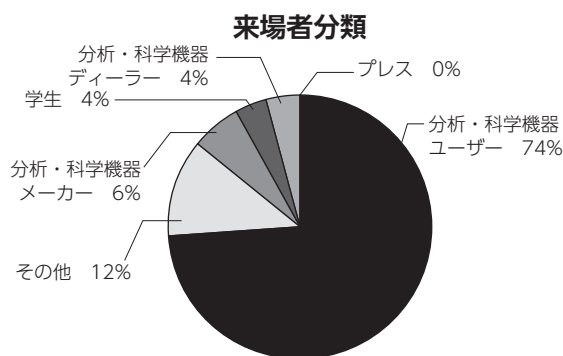
聴講者数：365

講 師：名古屋工業大学名誉教授

齋藤 勝裕 氏

講演概要：[キッチンが化学実験室]

料理は素材を切ったり砕いたり、加熱したりして、素材を美味しく変質させる技術である。キッチンは化学実験室であり、料理人はそこで、さまざまな化学反応を司る。煮る、焼くは熱化学反応であり、膾・ピクルスは酸・塩基の反応によって作られる。発酵は生化学反応、干物は光化学反応によって出来上がる。このように、料理を化学の眼で見えてみることをコンセプトにご講演いただいた。



17. 科学実験ショー / やさしい科学機器入門 / DVD 上映

展示会場7ホールイベントスクエア内サイエンスステージでは、若手研究者、商社、営業マン、メーカーの新入社員といった方々を対象にした企画を実施した。2日間にわたる科学機器の基礎講座「やさしい科学機器入門」、及び公益財団法人日本科学技術振興財団（科学技術館）による科学実験ショーを開催し、好評を博した。また、公益社団法人日本分析化学会のご協力の下、分析化学教育用DVDを上映した。プログラムと聴講者数は以下のとおりである。

◆やさしい科学機器入門

日時	テーマ	聴講者数	
9月5日(水)	13:30～14:00	信頼性概論 - 信頼性の基礎と環境試験器 -	38名
	14:05～14:35	塩水噴霧試験機	
	14:40～15:10	振動試験機	
9月7日(金)	13:30～14:00	土壤環境測定機器	54名
	14:05～14:35	培養装置関連	
	14:40～15:10	真空ポンプ	

協力会社：エスペック（株）、スガ試験機（株）、エミック（株）、大起理化工業（株）、（株）丸菱バイオエンジ、佐藤真空（株）

◆科学実験ショー「基盤実装型センサと遠隔測定」 - 公益財団法人日本科学技術振興財団（科学技術館） -

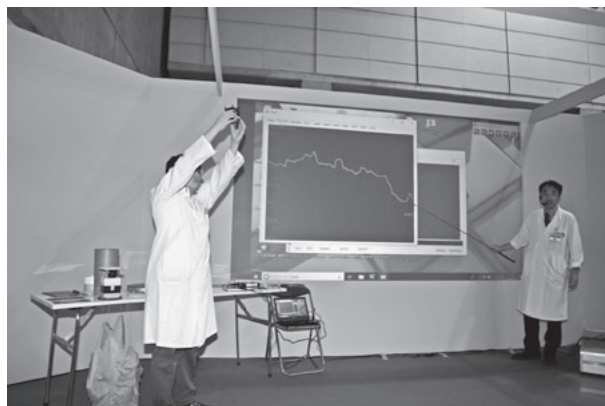
日時	テーマ	聴講者数	
9月7日(金)	13:00～14:00	「基盤実装型センサと遠隔測定」	26名
	15:00～16:00	同上（再演）	38名

◆分析化学教育用DVDの放映

日時	テーマ	
9月5日(水)	10:20～10:53	分析および分析値の信頼性 - 信頼性保証の確立に向けて -
9月6日(木)	10:55～11:28	高速液体クロマトグラフィー HPLC
9月7日(金)	11:30～12:04	高速液体クロマトグラフィー質量分析法 LC/MS



イベントスクエア



科学実験ショー

18. 「科学・分析機器総覧 2018」、「分析機器の手引き」の配布

科学・分析機器総覧 2018 発行・製作部数と「JASIS 2018」での配布数実績

掲載会社数	358 社
掲載スペース数	3,633 スペース
発行・製作部数	印刷版 15,100 冊 DVD 版 9,000 枚
「JASIS 2018」での配布数	印刷版 7,263 冊 DVD 版 4,000 枚



分析機器の手引き

ページ数	300 ページ
配布数	1,500 部

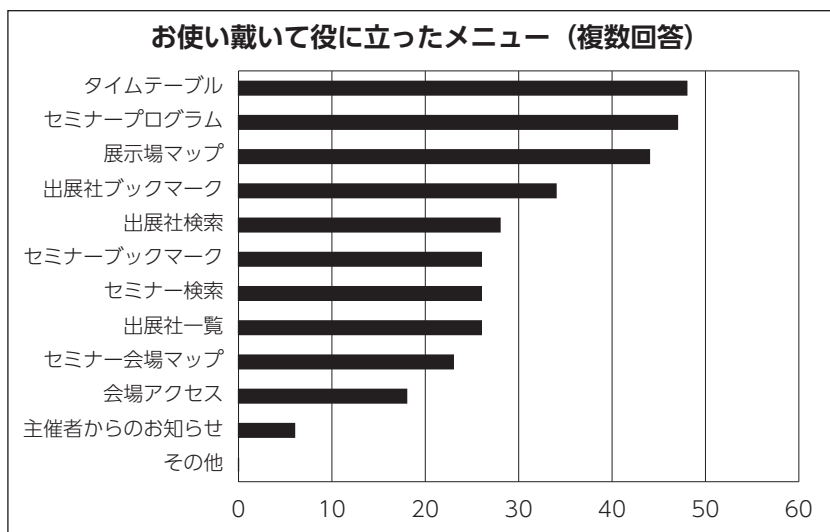
19. スマートデバイス向けアプリ

来場者向けに展覧社・小間位置検索、セミナー検索アプリを導入した。

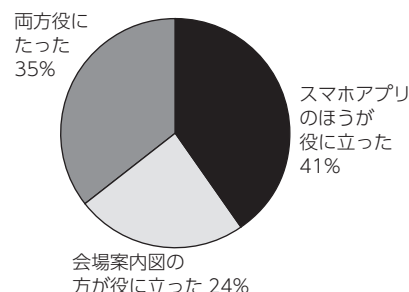
アプリダウンロード数推移

内容	JASIS 2018			JASIS2017			JASIS2016		
	アプリダウンロード数	アプリダウンロード数 / 来場者数	来場者数	アプリダウンロード数	アプリダウンロード数 / 来場者数	来場者数	アプリダウンロード数	アプリダウンロード数 / 来場者数	来場者数
iOS	2,288	9.66%	23,697	2,606	10.48%	24,856	2,324	9.53%	24,381
Android	1,079	4.55%		946	3.81%		1,319	5.41%	
合計	3,367	14.21%		3,552	14.29%		3,643	14.94%	

アプリアンケート集計抜粋



アプリと会場案内図のどちらが役に立った



アンケート回答数：79 を 100% として比率を計算しています。

JASIS 2018 結果報告書

平成 30 年 12 月

JASIS 委員会事務局

一般社団法人日本分析機器工業会内

東京都千代田区神田錦町 1 丁目 12 - 3 第一アマイビル 3 階

TEL : 03 (3292) 0642 FAX : 03 (3292) 7157

URL : <https://www.jasis.jp>

